

わかる、できる、役に立つ!! ①

来ずにね! 接続と準備



最初に電源を入れるときの、必読書

接続に迷ったときは、

はじめNECインターネッツも、111を111スタート

PC98-NX SERIES

VALUE STAR NX

# マニュアルを

## 使いこなす

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。

添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

TVモデルではこの他に、『TVモデルガイド』が添付されています。

1  
まずこれ!

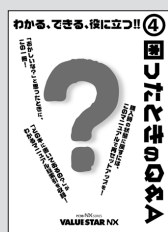


2

準備ができたら



3



パソコンの画面で見るマニュアル「サポートセンタ」にもアプリケーションの説明、マニュアルの紹介などの便利な情報があります。

## やりたいこと別マニュアルガイド

|                                              |                        |
|----------------------------------------------|------------------------|
| パソコンの接続とセットアップをしたい .....                     | まずこれ! 接続と準備            |
| CD-ROM や DVD-ROM (DVD-ROM モデルのみ) を使いたい ..... | まずこれ! 接続と準備            |
| マウスの使い方を知りたい .....                           | 練習! パソコンの基本            |
| キーボードで文字を打ってみたい、ワープロを使いたい .....              | 練習! パソコンの基本            |
| バックアップを取りたい .....                            | 練習! パソコンの基本、困ったときの Q&A |
| どんなアプリケーションが入っているか知りたい .....                 | 練習! パソコンの基本、サポートセンタ    |
| 音声でパソコンを操作したい .....                          | 練習! パソコンの基本、サポートセンタ    |
| インターネットや電子メールを利用したい .....                    | たのしもう! インターネット、サポートセンタ |
| アプリケーションを追加したい、削除したい .....                   | サポートセンタ                |
| FAX を送受信したい .....                            | サポートセンタ                |
| 年賀状やあいさつ状を作りたい .....                         | サポートセンタ                |
| パソコン用語の意味を知りたい .....                         | サポートセンタ                |
| パソコンが思うように動かない .....                         | 困ったときの Q&A、サポートセンタ     |
| マニュアル総索引を使いたい .....                          | 困ったときの Q&A             |
| 再セットアップしたい .....                             | 困ったときの Q&A             |
| プリンタやオプション機器を取り付けたい .....                    | 拡張! 活用! バリュースター        |
| このパソコンの機能について詳しく知りたい .....                   | 拡張! 活用! バリュースター        |
| テレビや地上波データ放送を見たい (TV モデルのみ) .....            | TV モデルガイド              |



## はじめに

この本は、パソコンを買ったら最初にしなければならない、接続と準備について説明します。はじめてパソコンに触れる人でも、迷ったりすることなく、まちがえずに操作を進めていけるように作られています。

パソコンの置き場所や接続のしかた、パソコンを使えるようにするための準備作業などについて、ていねいに説明しています。また、インターネット無料体験や、パソコン本体の基本的な操作など、このパソコンを使い始めるときに役立つ、さまざまな説明があります。すでにパソコンを使ったことがある方も、この本は、必ず読んでください。

2000 年 1 月 初版

## このマニュアルの表記について

### 手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

### このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



**警告**

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



**注意**

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

### このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



**チェック!!**

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



ポイント

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

## このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

|             |                                                                                               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【 】         | 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。                                                                   |
| プリンタ、コネクタなど | 「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。 |
| CD-ROMドライブ  | CD-RWモデルでは、CD-RWドライブのことを、DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを指します。                                    |

## このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

|                 |                                                |
|-----------------|------------------------------------------------|
| このパソコン          | 表の各モデル(機種)を指します。                               |
| CRTディスプレイセットモデル | CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。                   |
| 液晶ディスプレイセットモデル  | 液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。                    |
| DVD-ROMモデル      | DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。                    |
| CD-RWモデル        | CD-RWドライブを搭載しているモデルのことです。                      |
| TVモデル           | テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。 |
| ジャストホームモデル      | Justsystem Homeがあらかじめインストールされているモデルのことです。      |
| 一太郎モデル          | Voice一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。   |
| Office 2000モデル  | Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。 |

| 型 名         | 型 番           | 表記の区分    |                   |                                 |                |
|-------------|---------------|----------|-------------------|---------------------------------|----------------|
|             |               | 本体の形状    | DVD-ROM<br>/CD-RW | ディスプレイ                          | 添付アプリケーション     |
| VC750J/2GD1 | PC-VC750J2GD1 | コンパクトタイプ | CD-RWモデル          | 液晶ディスプレイセットモデル<br><br>(15型液晶)   | Office 2000モデル |
| VC600J/2FD1 | PC-VC600J2FD1 |          |                   |                                 | 一太郎モデル         |
| VC550J/2FC1 | PC-VC550J2FC1 |          |                   |                                 |                |
| VC550J/2FD1 | PC-VC550J2FD1 |          |                   |                                 | Office 2000モデル |
| VC500J/2FC1 | PC-VC500J2FC1 |          | DVD-ROMモデル        |                                 | 一太郎モデル         |
| VC500J/2FD1 | PC-VC500J2FD1 |          |                   |                                 | Office 2000モデル |
| VC500J/2FC2 | PC-VC500J2FC2 |          |                   |                                 | 一太郎モデル         |
| VC500J/2FD2 | PC-VC500J2FD2 |          |                   |                                 | Office 2000モデル |
| VC500J/2XD1 | PC-VC500J2XD1 |          |                   | 液晶ディスプレイセットモデル<br><br>(14型液晶)   | ジャストホームモデル     |
| VC500J/2XD2 | PC-VC500J2XD2 |          |                   |                                 |                |
| VC500J/2XB1 | PC-VC500J2XB1 |          |                   |                                 |                |
| VC500J/2XB2 | PC-VC500J2XB2 |          |                   |                                 |                |
| VE500J/27C  | PC-VE500J27C  |          |                   | CRTディスプレイセットモデル<br><br>(17型CRT) | 一太郎モデル         |
| VE500J/27D  | PC-VE500J27D  |          |                   |                                 | Office 2000モデル |
| VE500J/25D  | PC-VE500J25D  |          |                   | CRTディスプレイセットモデル<br><br>(15型CRT) | ジャストホームモデル     |
| VE500J/25B  | PC-VE500J25B  |          |                   |                                 |                |
| VT550J/2FD  | PC-VT550J2FD  | TVモデル    |                   | 液晶ディスプレイセットモデル(15型液晶)           | Office 2000モデル |
| VT550J/27D  | PC-VT550J27D  |          |                   | CRTディスプレイセットモデル(17型CRT)         |                |

購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確認してください。

## 本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

## このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)

(正式名称)

|                                      |                                                                                                                                         |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Windows、<br>Windows 98               | Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版                                                                             |
| ジャストホーム                              | Justsystem Home(一太郎Home、カラメル、楽々はがき、フォトシアター、デジコレ、キーボードファイター、写真スタジオ、文字スタジオ)                                                               |
| 一太郎                                  | 一太郎Homeまたは、Voice一太郎10                                                                                                                   |
| 一太郎10・花子10パック、<br>Voice一太郎10・花子10パック | Voice一太郎10・花子10パック(Voice一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13、VoiceATOK3、Shuriken2.1V、Sasuke2.0)                                                       |
| Office 2000<br>Personal              | Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic) |
| インターネットエクスプローラ、<br>Internet Explorer | Microsoft® Internet Explorer 5                                                                                                          |

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」「VoiceATOK」「Sasuke」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの登録商標であり、「一太郎Home」「カラメル」「楽々をはぎ」「フォトシアター」「デジコレ」「キーボードファイター」「写真スタジオ」「文字スタジオ」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Justsystem Home」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

VirusScan は、米国法人 Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

BIGLOBE、PC ポータル、SmartVoice は、日本電気株式会社の商標です。

ThumbsStudio は、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

### ■輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

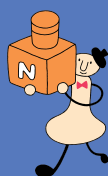
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。



|                      |    |
|----------------------|----|
| はじめに .....           | i  |
| このマニュアルの表記について ..... | ii |

## PART

# 1



## パソコンを置く場所を決めよう ..... 1

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 置き場所を決める .....                    | 2  |
| パソコンを置くのに適した場所 .....              | 2  |
| パソコンを置くのに必要な広さ .....              | 3  |
| インターネットするなら、パソコンは電話の近くに .....     | 4  |
| パソコンはアンテナ線の近くに( TV モデルの場合 ) ..... | 5  |
| パソコンを置くのに適さない場所 .....             | 6  |
| パソコンの近くに置いてはいけないもの .....          | 6  |
| 電源の取り方 .....                      | 8  |
| パソコンに必要な電源 .....                  | 8  |
| パソコンの置き方 .....                    | 9  |
| パソコン本体の梱包箱からの取り出し方 .....          | 9  |
| 液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方 .....        | 9  |
| CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方 .....      | 10 |
| 接続する前に .....                      | 11 |
| パソコンの周囲に添付品を置く .....              | 13 |
| 型名( 型番 )と製造番号を確認する .....          | 14 |

## PART

# 2



## パソコンの接続をする ..... 15

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 接続するときの注意 .....           | 16 |
| パソコンを接続する手順 .....         | 17 |
| パソコン本体にスタビライザを取り付ける ..... | 18 |
| スタビライザを両側に取り付ける .....     | 19 |
| 片側だけスタビライザを取り付ける .....    | 21 |
| キーボードを接続する .....          | 22 |
| 液晶ディスプレイにキーボードを接続する ..... | 23 |
| 本体にキーボードを接続する .....       | 25 |
| キーボードの足を立てる .....         | 27 |
| マウスを接続する .....            | 28 |

## PART

# 3



|                                                                         |    |
|-------------------------------------------------------------------------|----|
| <b>ディスプレイを接続する</b> .....                                                | 29 |
| 液晶ディスプレイを接続する .....                                                     | 29 |
| 17 型CRT ディスプレイを接続する .....                                               | 31 |
| 15 型CRT ディスプレイを接続する .....                                               | 33 |
| <b>スピーカを接続する(CRT ディスプレイセットモデルのみ)</b> .....                              | 37 |
| 左右のスピーカを接続する .....                                                      | 38 |
| スピーカをパソコン本体に接続する .....                                                  | 39 |
| <b>ヘッドセットマイクを接続する</b> .....                                             | 40 |
| <b>電話回線に接続する</b> .....                                                  | 42 |
| 電話機をパソコンにつなぐ .....                                                      | 43 |
| パソコンを電話回線につなぐ .....                                                     | 44 |
| <b>アースを接続する</b> .....                                                   | 45 |
| <b>CRT ディスプレイとスピーカの電源ケーブルを接続する</b><br><b>(CRT ディスプレイセットモデルのみ)</b> ..... | 47 |
| CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する .....                                            | 48 |
| スピーカの AC アダプタを接続する .....                                                | 49 |
| <b>パソコン本体の電源ケーブルを接続する</b> .....                                         | 50 |
| <br><b>電源を入れてパソコンを使えるようにする</b> ....                                     | 55 |
| <b>電源を入れる</b> .....                                                     | 56 |
| <b>名前を打ち込む</b> .....                                                    | 60 |
| マウスを動かしてみる .....                                                        | 60 |
| 自分の名前をローマ字で打ち込む .....                                                   | 61 |
| 「次へ」をクリックする .....                                                       | 63 |
| <b>セットアップを完了させる</b> .....                                               | 65 |
| 使用許諾契約に同意する .....                                                       | 65 |
| このパソコンの機能を使えるようにする .....                                                | 68 |
| 「スタート」からパソコンの電源を切る .....                                                | 70 |
| パソコンの電源を入れ直して確認する .....                                                 | 73 |
| <b>インターネットに接続できることを確認する</b> .....                                       | 75 |
| ボタンひとつでインターネットに接続 .....                                                 | 75 |
| インターネットを終了する .....                                                      | 78 |
| もう一度、パソコンの電源を切る .....                                                   | 79 |
| <b>正規ユーザーの登録を行う</b> .....                                               | 82 |

PART

4



## パソコン本体の操作を覚える ..... 83

各部の名称と役割を覚えよう ..... 84

電源の入れ方と切り方 ..... 86

電源を入れる ..... 86

電源を切る ..... 87

一時的に作業を中断する(スタンバイ) ..... 89

パソコンをスタンバイ状態にする ..... 89

スタンバイ状態から復帰する ..... 89

デスクトップってなに? ..... 90

音量を調節する ..... 92

CD-ROM などの扱い方 ..... 93

このパソコンの CD-ROM ドライブで使えるディスク ..... 93

CD-ROM、DVD-ROM、CD-RW の取り扱い上の注意 ..... 93

CD-ROM の入れ方と出し方 ..... 94

フロッピーディスクの扱い方 ..... 98

このパソコンで使えるフロッピーディスク ..... 98

フロッピーディスクの取り扱い上の注意 ..... 99

フロッピーディスクの入れ方と出し方 ..... 100

他のマニュアルに進んでみる ..... 102

サポートセンタを見てみよう ..... 104

サポートセンタを始める ..... 104

「パソコンを使いこなそう」を見る ..... 106

「困ったときの Q&A」を見る ..... 109

「サービス & サポート」を見る ..... 111

## 付 録 ..... 113

こんなときは ..... 114

ローマ字つづり一覧 ..... 119

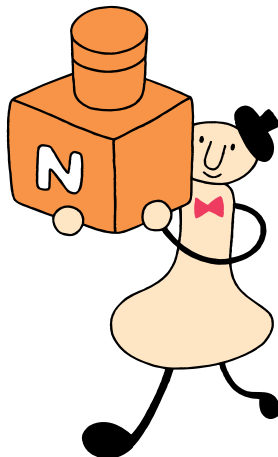
## 索 引 ..... 121

P A R T

# 1

## パソコンを置く場所を決めよう

まず最初にパソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。説明をよく読んで置き場所を決めたら、梱包箱からパソコンを取り出します。



## 置き場所を決める



まず、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

### ⚠ 注意



感電注意

液体がかかる場所や湿気の多い場所に置かないでください。

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気がかかる場所、湿気の多い場所に置くと、感電の原因になります。



感電注意

パソコンを屋外に置かないでください。

また、船舶、車輛などの内部では使用しないでください。



発火注意

感電、火災の原因になります。

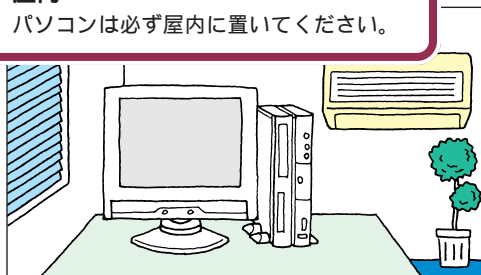


## パソコンを置くのに適した場所

1

### 屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。



2

温度 10℃ ~ 35℃ (結露しないこと)

湿度 20% ~ 80%

温度や湿度は、それほど気にする必要はありません。一応の目安として考えてください。

3

### 平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適当な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

4

### ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

### 用語

#### 結露

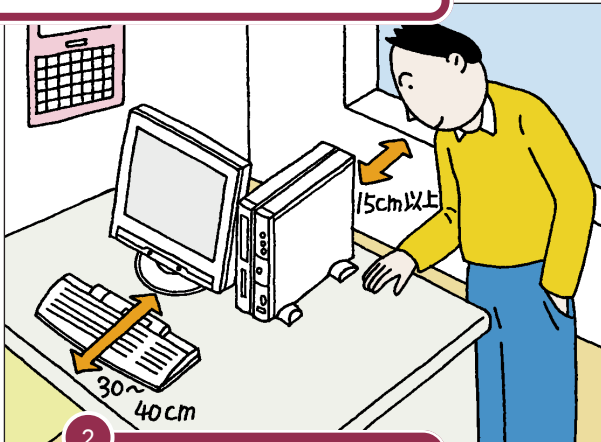
空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

## パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置する時には、キーボードやマウスを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

1

パソコン本体の後ろ側に約 50 cm (最低 15 cm 以上)

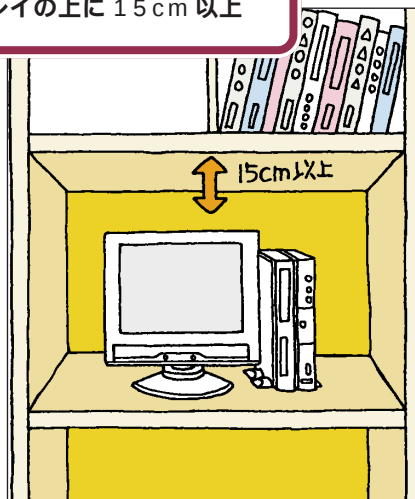


2

パソコン本体の前側に  
約 30 ~ 40 cm

3

ディスプレイの上に 15 cm 以上



### ✓ チェック!!

CRTディスプレイセットモデルの場合は、スピーカを置く場所も必要になります。

本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも 15 cm 離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50 cm 程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

キーボードを置くためには、約 20 cm が必要です。その上、ゆったりとキーを打つためには、さらに約 10 ~ 20 cm の余裕があったほうがよいでしょう。

意外に忘れがちなのが、パソコンの上の空間です。ディスプレイの上側にも通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも 15 cm あけてください。また、ディスプレイの上に物を置かないようにしてください。

また、パソコン本体を壁などの安定した場所に接しておけば、スタビライザを片側に取り付けるだけで、転倒防止できます。

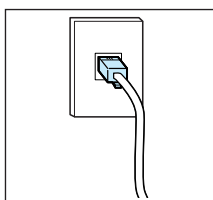
パソコン本体を横置きにしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約 20 Kg までです。

## インターネットするなら、パソコンは電話の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電話回線に接続する必要があります。あらかじめ、ケーブルが電話回線の接続口が届く場所に、パソコンを設置しておくことをお勧めします。また、電話回線の接続口によっては、パソコンを接続できない場合があるので確認しておきましょう。

1

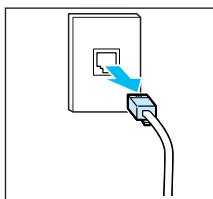
現在使っている電話機の  
電話線接続口を調べる



2

電話線のプラグが簡単に  
抜けることを確かめる

プラグを抜いたら、すぐに戻して  
おくようにしてください。



### ⚠ 注意

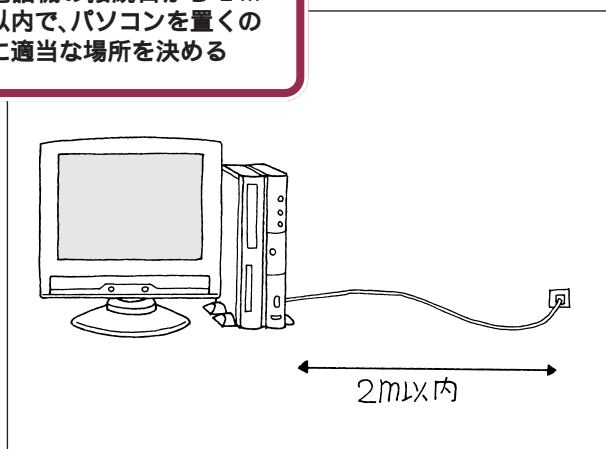


感電注意

モジュラーケーブル(電話線)を取り外したり、接続する  
ときには、プラグの端子部分に触れないでください。  
感電の原因になります。

3

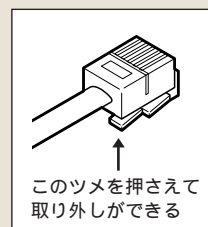
電話機の接続口から 2 m  
以内で、パソコンを置くの  
に適切な場所を決める



このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2 m の長さのものが添付されています。

電話機の本体から電話線をたどっていくと、電話回線の接続口を見つけることができます。図のように電話回線を簡単に取り外せるような接続口(モジュラーコンセントと呼びます)になっていない場合、電話工事が必要になることがあります。詳しくは、お近くの電話工事店または NTT にお問い合わせください。

電話線のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



このツメを押さえて  
取り外しができる

### 用語

#### モジュラーケーブル

通常は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)と電話機を接続するのに使われるケーブルです。パソコンを電話回線の接続口につなぐときも、同じケーブルを使います。電器店などで購入できます。

## モジュラーケーブルが電話回線の接続口に届かないときは

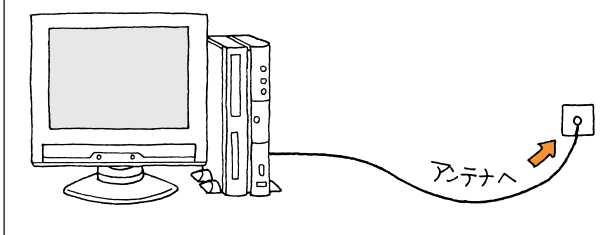
電話回線の接続口から 2 m 以上離れた場所にパソコンを設置する場合は、添付のモジュラーケーブルでは長さが足りなくなります。お近くの電器店またはパソコン販売店などで、必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

## パソコンはアンテナ線の近くに(TV モデルの場合)

TVモデルでは、本体にアンテナ線をつなぐと、テレビや地上波データ放送を見ることができます。あらかじめアンテナ線の長さや配置を考慮してパソコンを設置することをお勧めします。

1

アンテナ線の先がとどく範囲で、パソコンを置くのに適当な場所を決める



アンテナ線の接続は、『TV モデルガイド』で説明しています。アンテナ線の接続は、必ずこのマニュアルのPART3からのセットアップ作業が終わってからにしてください。

### 参照

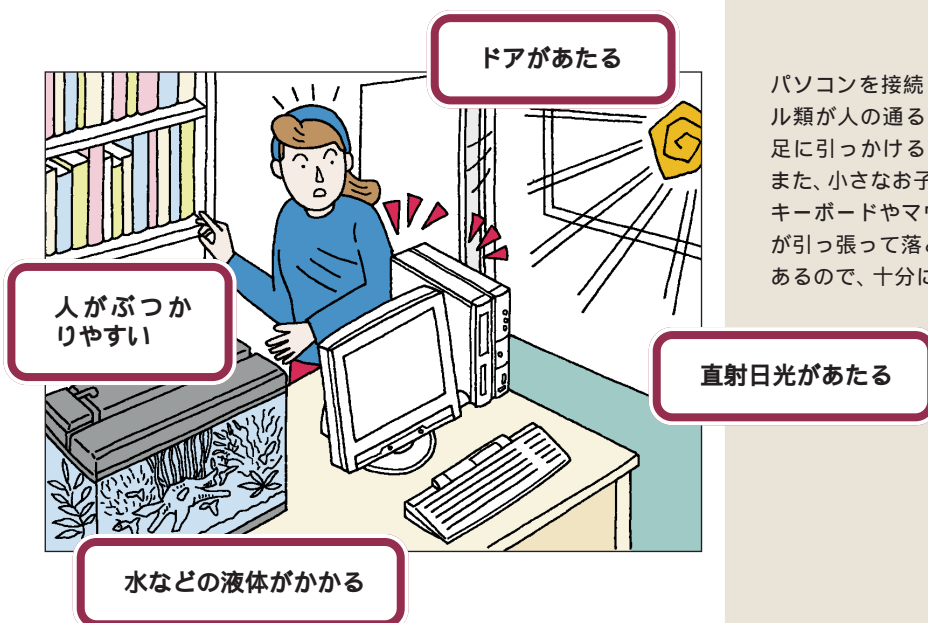
アンテナ線の接続 → 『TV モデルガイド』PART1 の「テレビを見る準備をする」

TVモデルには、ビデオデッキなども接続できます。これらの機器を接続する場合には、ケーブルの長さを考慮して置き場所を決めましょう。ただし、これらの機器はこのマニュアルのPART3からのセットアップ作業が終わってから接続してください。

### 参照

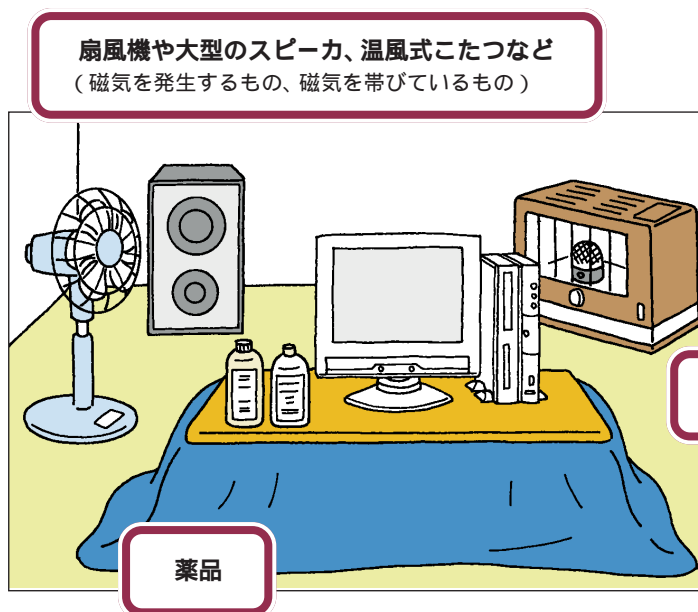
外部ビデオ機器を接続するには → 『TVモデルガイド』の「PART4 映像を取り込んでみよう」

## パソコンを置くのに適さない場所



パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどして危険です。また、小さなお子さんがある場合は、キーボードやマウスなどをお子さんが引っ張って落としてしまうこともあるので、十分にご注意ください。

## パソコンの近くに置いてはいけないもの

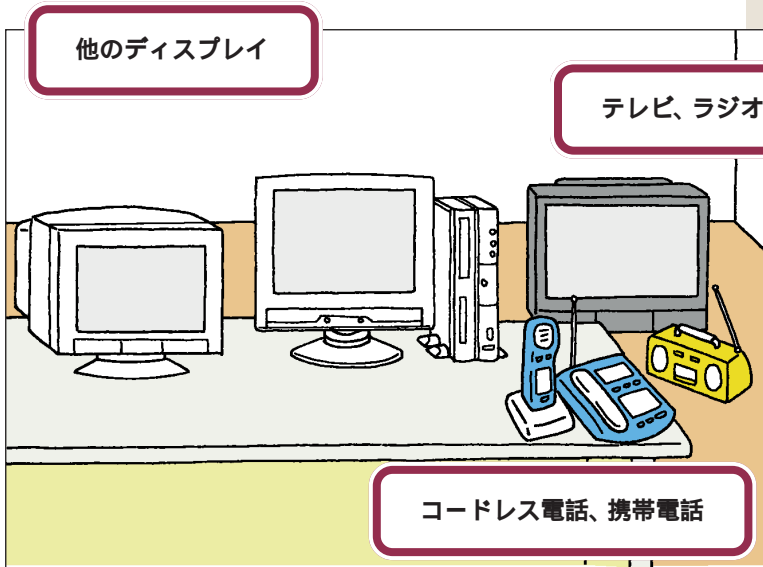


パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。パソコン用スピーカなど、磁気をもたない(防磁設計)スピーカは近くに置いても構いません。温風式こたつも磁気を発生するので、パソコンを温風式こたつの上に置かないでください。

### ストーブなどの暖房器具

暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。

薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。

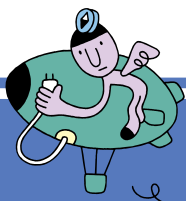


他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。

# 電源の取り方



パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

## ⚠ 注意



感電注意



発火注意

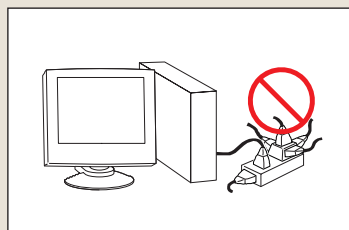
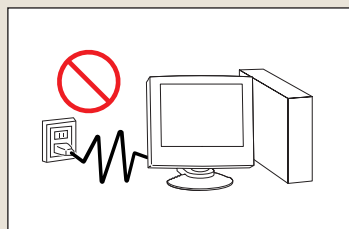
- 電源ケーブルが折れ曲がった状態で使用しないようにしてください。

電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

- AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置いてください。

・AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用する  
と、感電、発煙、火災の原因となります。

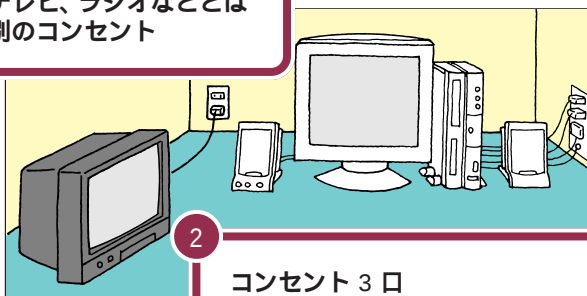
・タコ足配線にならないように、コンセントから直接電源が取れる場所に置いてください。電源ケーブルをタコ足配線にすると、コンセントが過熱して火災の原因になります。



## パソコンに必要な電源

1

テレビ、ラジオなどとは別のコンセント



2

**コンセント 3 口**  
(CRT ディスプレイセットモデルの場合)

- ・パソコン本体用
- ・ディスプレイ用
- ・スピーカー用 AC アダプタ用

**コンセント 1 口**  
(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

- ・パソコン本体用

**アース端子**

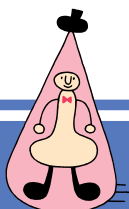
本体のアース線を接続する

テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。

パソコン本体の電源、ディスプレイの電源、スピーカの電源を取ります。液晶ディスプレイセットモデルの場合はディスプレイにスピーカが内蔵されており、ディスプレイの電源はパソコン本体から供給するので、パソコン本体の電源のみを取ります。電源はコンセントから直接取ってください。コンセントが不足、パソコン用のテーブルタップ等を使う場合も、コンセントとテーブルタップの電流容量を必ず守ってください。

コンセントにアース端子がない場合は、他の方法でアースを取っても構いませんが、その場合は必ずお近くの電器店など電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

# パソコンの置き方



パソコンを箱から取り出すときは、2人で作業してください。持ち運んだり置いたりするときは慎重に。

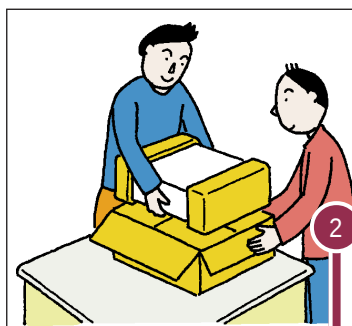
## 注意



パソコン本体を取り出すときは、パソコン本体を持って取り出してください。

パソコン本体を持たずに、衝撃吸収用の段ボールを持って取り出すと、パソコン本体が抜け落ち、けがやパソコン本体の破損の原因となります。

## パソコン本体の梱包箱からの取り出し方



1

パソコン本体の箱から、パソコン本体をしっかりと持って、衝撃吸収用の段ボールごと、ゆっくり上に引き出す

2

パソコン本体を静かに置く

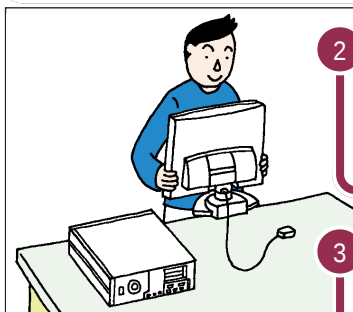
パソコン本体を取り出したら、衝撃吸収用の段ボールを引き抜きます。次に、ビニール袋から取り出すときも、パソコン本体に衝撃を与えないよう、2人で慎重に行ってください。

机の上やパソコンラックなど、あらかじめ決めておいた設置場所に置いてください。あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

## 液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイを、慎重に箱から取り出す



2

ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、ディスプレイの左右の端をしっかり持つ

3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

## チェック!!

取り出すときには、ディスプレイの液晶パネルの表面や外枠を強く押さないように注意してください。画面に干涉縞が発生するなど、表示異常の原因になります。

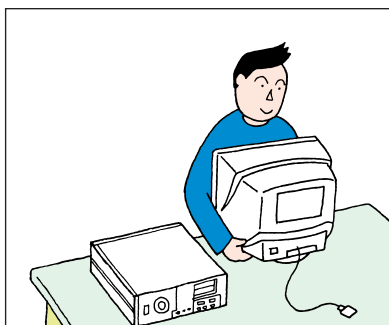
## CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイも、2人で慎重に箱から取り出す

2

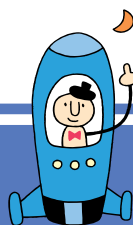
ディスプレイの画面が見えるように立ち、ディスプレイの下に左右から手を差し込んでしっかり持つ



3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

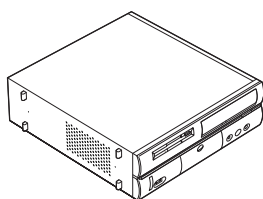
## 接続する前に



接続を始める前に、必要な機器が揃っているか確認しておきましょう。ここでは、添付品のうち、接続に使用するものだけを記載しています。

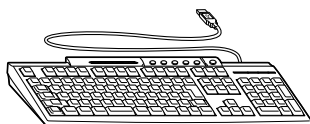
1

パソコン本体



2

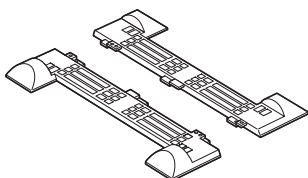
キーボード



● 添付品収納箱に入っているもの

1

スタビライザ



2

スタビライザ取付け用ネジ



ビニール袋に2本入っています。  
スタビライザと一緒に収納されています。

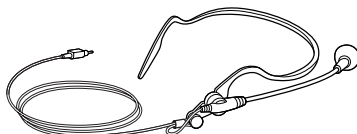
3

マウス



4

ヘッドセットマイク



5

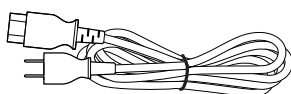
アース線



緑色の電線です。

6

本体電源ケーブル



7

モジュラーケーブル



他に、プラスドライバーを準備してください。スタビライザの取り付け、アース線の接続に必要です。

TVモデルの場合は、この他にアンテナと本体、LINEケーブルの接続をします。これらの接続方法は『TVモデルガイド』で説明しています。

参照

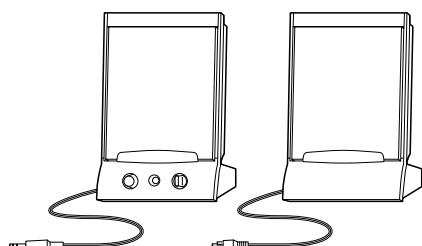
アンテナ線、LINEケーブルの接続→『TVモデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

● スピーカセットの梱包箱に入っているもの

< CRT ディスプレイセットモデルのみ >

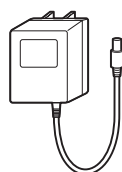
1

スピーカ



2

AC アダプタ

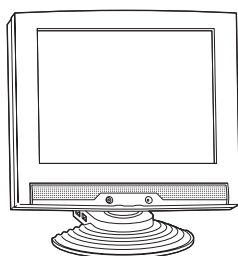


● ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< 液晶ディスプレイセットモデルの場合 >

1

液晶ディスプレイ

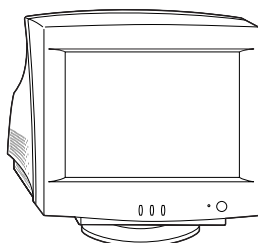


● ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< CRT ディスプレイ ( 17 型 CRT ) セットモデルの場合 >

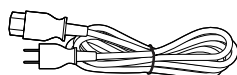
1

CRT ディスプレイ



2

ディスプレイ用電源ケーブル



✓ チェック!!

液晶ディスプレイセットモデルには、スピーカセットは添付されていません。液晶ディスプレイにステレオスピーカが内蔵されています。

✓ チェック!!

液晶ディスプレイの形状は、モデルによって異なります。

✓ チェック!!

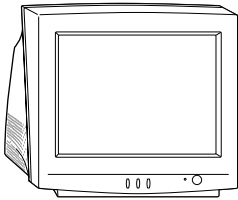
CRT ディスプレイの形状は、モデルによって異なります。

● ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< CRT ディスプレイ (15 型 CRT) セットモデルの場合 >

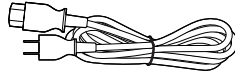
1

CRT ディスプレイ



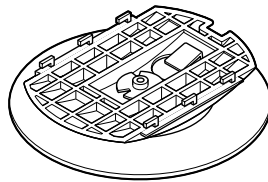
2

ディスプレイ用電源ケーブル



3

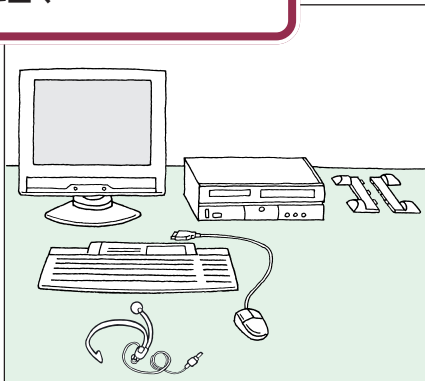
回転台



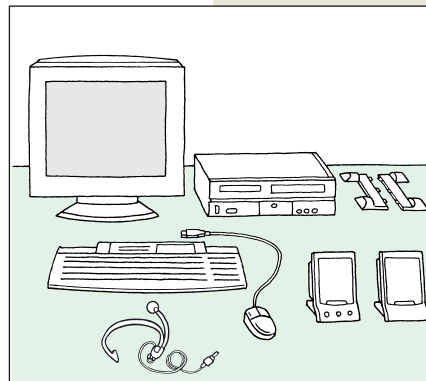
パソコンの周囲に添付品を置く

1

下のイラストのように、  
添付品をパソコンの周囲  
に置く



液晶ディスプレイセットモデルの場合



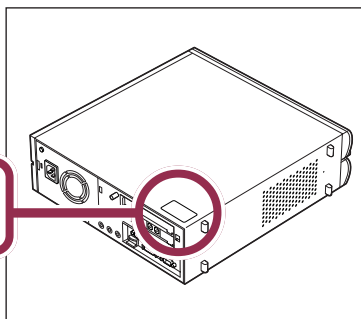
CRT ディスプレイセットモデルの場合

だいぶパソコンらしい姿になってきましたね。それぞれの接続方法については、次の PART で説明しています。

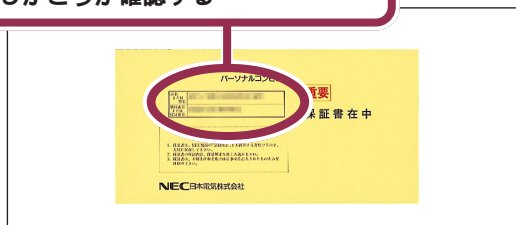
あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

## 型名(型番)と製造番号を確認する

- 1 本体左側面の型名(型番)と製造番号を確認する

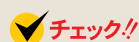


- 2 保証書の記載と 1 で確認した番号と同じかどうか確認する



- 3 ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を同様に確認する

液晶ディスプレイの製造番号は底面に、CRTディスプレイの製造番号は背面に記載されています。



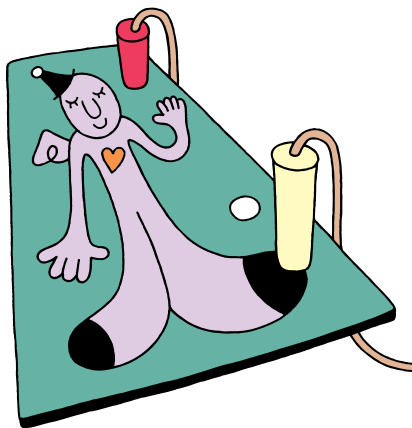
本体左側面と保証書の記載が異なっていた場合は、ご購入元に連絡してください。

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

## 2

## パソコンの接続をする

キーボードやディスプレイなど、必要な機器を接続しないと、パソコンは動いてくれません。テレビやビデオと違って、いろいろなデータを扱うことができるパソコンの場合、ケーブルの接続口も独特の形のものが使われています。このあとの説明をよく読んで慎重に接続していきましょう。



## 接続するときの注意



機器を接続するときに守っていただく注意事項と、このパソコンを安全にお使いいただくための注意事項です。

### ⚠ 警告



感電注意

雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ディスプレイのケーブル、ACアダプタ、モジュラーケーブル(電話線)、USBケーブル(キーボード、マウスのケーブル)の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

### ⚠ 注意



感電注意

必ず本体にアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因になります。



感電注意

アース線を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



感電注意

周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



発火注意

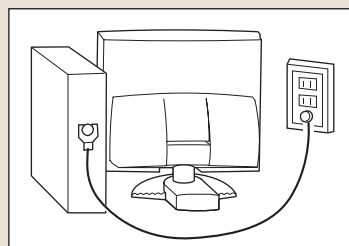
電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



けが注意

ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。



### ✓ チェック!!

TVモデルには、アンテナ線とLINEケーブルを接続します。これらの接続も、「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」のあとで行ってください。

### 📖 参照

アンテナ線、LINEケーブルの接続(TVモデルの場合)→『TVモデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

### プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『拡張!活用! パリユースター』をご覧ください。接続と設定を行ってください。



# パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。

パソコン本体にスタビライザを取り付ける

取り付けにはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。

キーボードを接続する

マウスを接続する

ディスプレイを接続する

スピーカを接続する

（CRTディスプレイセットモデルのみ）

音声入力機能を利用したい方は

ヘッドセットマイクを  
接続する

インターネットや  
FAXを利用したい方は

電話回線に接続する

アースを接続する

接続にはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。

CRTディスプレイと  
スピーカの電源ケーブルを  
接続する

（CRTディスプレイセットモデルのみ）

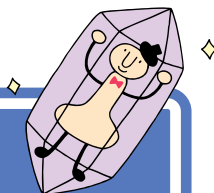
パソコン本体の電源ケーブルを接続する

次ページから記載されている手順に従って、接続を行ってください。疲れたら途中で休憩しても構いません。接続するときは、パソコン本体のコネクタにあるマーク（など）の色と、ケーブルのプラグの色を合わせて接続してください。接続がすべて終わったら、p.52、p.53の接続完成図で、正しく接続されているか確認してみましょう。



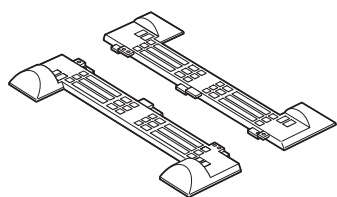
接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

# パソコン本体に スタビライザを取り付ける



本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。

## 用意するもの



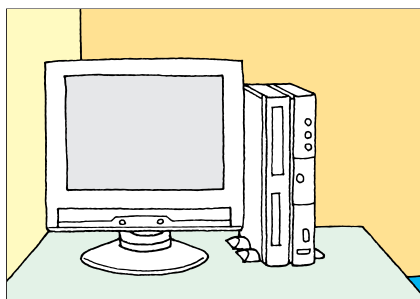
スタビライザ(2個)



スタビライザ  
取付け用ネジ(2個)

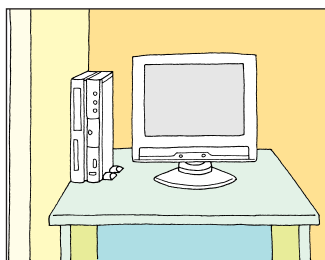
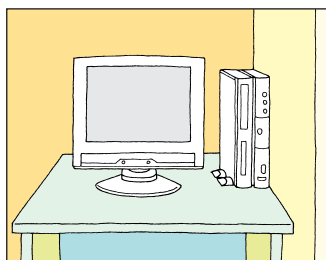
スタビライザの取り付け方には、2通りの方法があります。

### ●両側に取り付ける(→ p.19)



### ●片側だけに取り付ける(→ p.21)

下のイラストのように、スタビライザを片方だけ取り付けることで、壁などの安定した場所に接して置くこともできます。



## パソコン本体を横置きにする場合

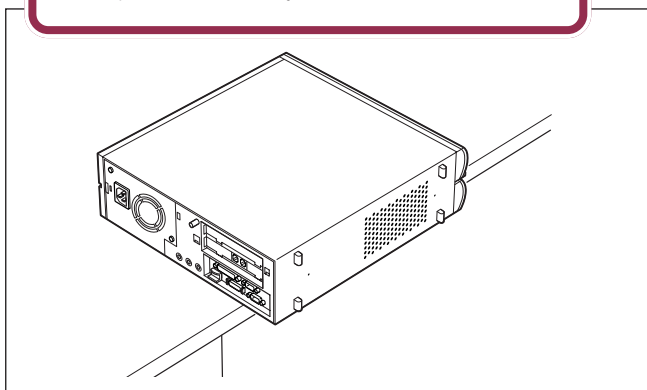
パソコン本体を横置きにする場合は、ゴム足の付いている面(右側面)を下にして置きます。このときは、スタビライザは取り付ける必要はありません。

パソコン本体を横置きしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約20kgまでです。

## スタビライザを両側に取り付ける

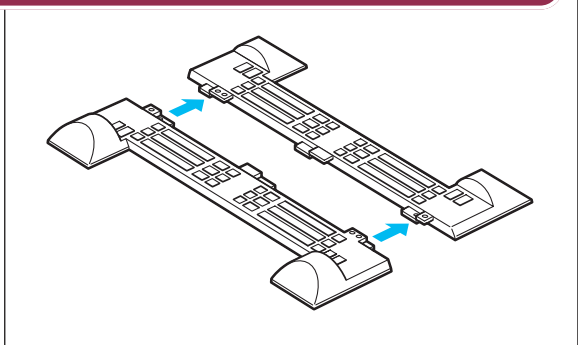
1

パソコン本体を、底面がはみ出るように、机の端などに置く  
その際は、スタビライザの高さの分くらい、はみ出るようにしてください。



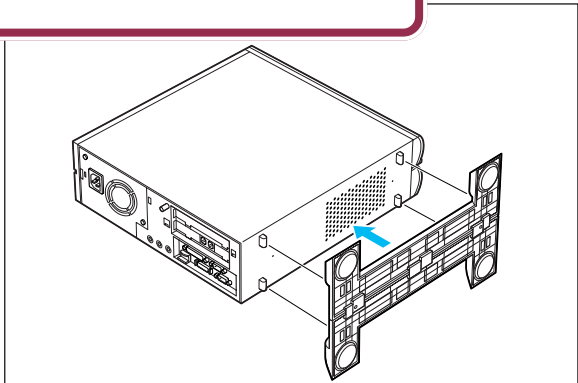
2

2つのスタビライザを組み合わせる  
スタビライザを組み合わせても固定はされませんので、落とさないように必ず両方を持つようにしてください。



3

パソコン本体の底面の突起に、組み合わせたスタビライザをはめる

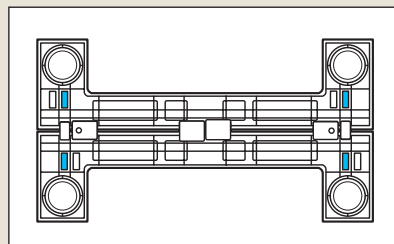


### ✓ チェック!!

本体を横に倒すときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

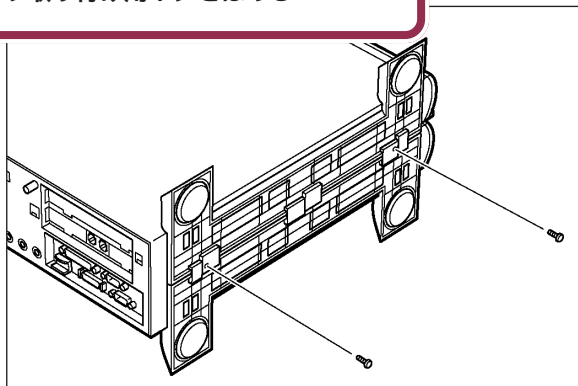
本体にスタビライザをはめたら、落ちないように片手で押さえてください。

図の青い部分に本体底面の突起がはまります。



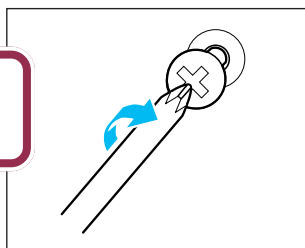
4

スタビライザのネジ穴にスタビライザ取り付け用ネジをはめる



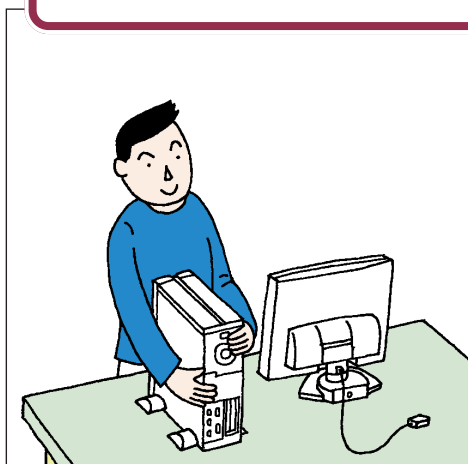
5

ネジを右へ回して取りつける  
(2カ所)



6

パソコン本体を持ち、静かに縦に置く



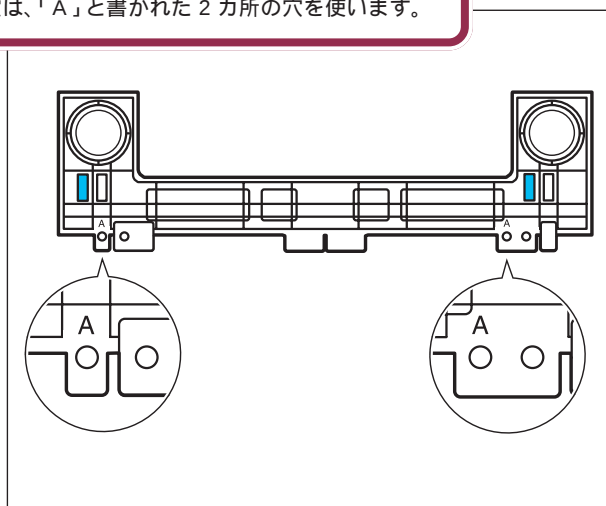
ネジは必ず添付されているものを使ってください。またドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

## 片側だけスタビライザを取り付ける

1

**パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する**

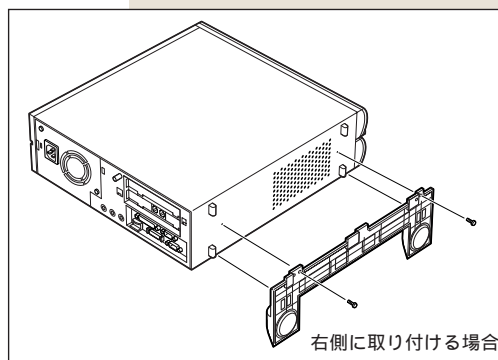
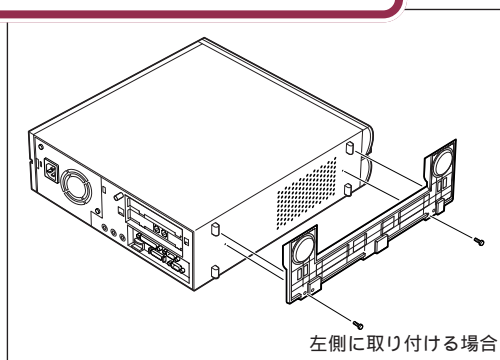
青い部分に本体底面の突起がはまります。ネジ穴は、「A」と書かれた2カ所の穴を使います。



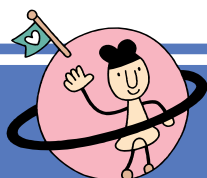
どちらのスタビライザを使用しても同じです。

2

**パソコン本体底面の突起にスタビライザを片方だけはめて、2本のネジで取り付ける**

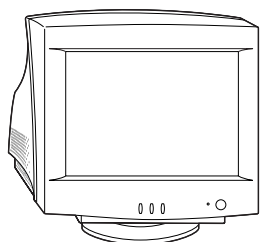


# キーボードを 接続する



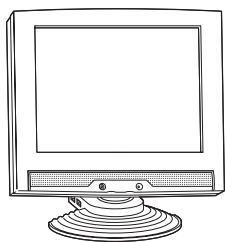
液晶ディスプレイセットモデルの場合は液晶ディスプレイに、CRTディスプレイセットモデルの場合は本体背面に、キーボードを接続します。

モデルによって、キーボードの接続のしかたは異なります。  
モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。



**CRT ディスプレイ  
セットモデルの場合は**

**p.25 に進む**



**液晶ディスプレイ  
セットモデルの場合は**

**次のページから始める**

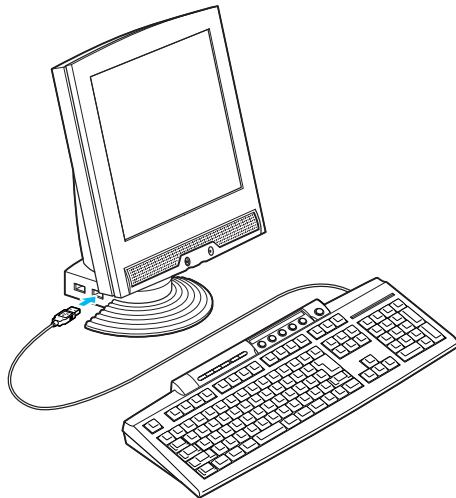
## 用語

### キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボードの一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

## 液晶ディスプレイにキーボードを接続する

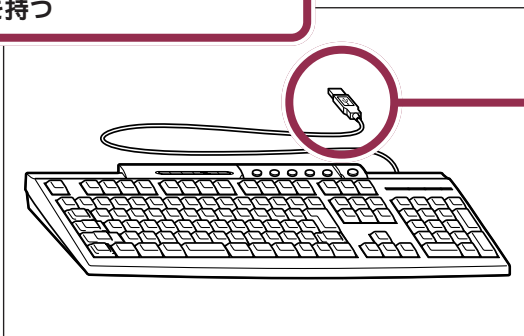
キーボードの接続のしかた(液晶ディスプレイセットモデルの場合)



キーボードを液晶ディスプレイ側面に接続します。  
詳しくは次の手順をご覧ください。

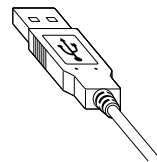
1

キーボードのプラグ(黒色)  
を持つ



2

の見えるほうが  
上になるようにする

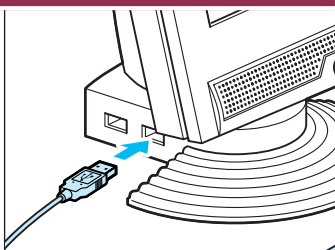


3

液晶ディスプレイの左側面を見る



4

 の付いたコネクタにプラグを差し込む

 の付いた面を上側にして差し込む

「キーボードの足を立てる」(p.27)へ進む

液晶ディスプレイの側面には、 の付いたコネクタが2つあり、どちらにつないでも構いません。

#### ✓ チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

#### パソコン本体のコネクタにも接続できる

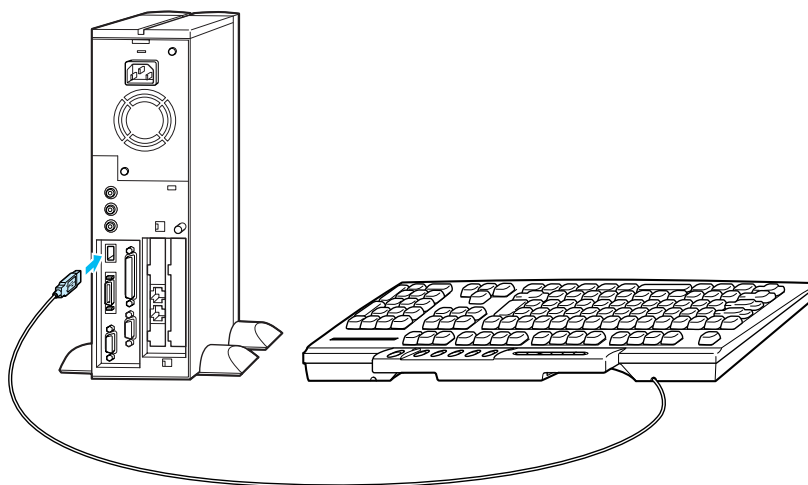
キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面(右下)にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。パソコン本体の前面に接続する場合は、 を左側に向けます。

#### 📖 参照

パソコン本体のコネクタの位置 →  
『拡張!活用! パリユースター』付録の  
「本体の各部の名称」

## 本体にキーボードを接続する

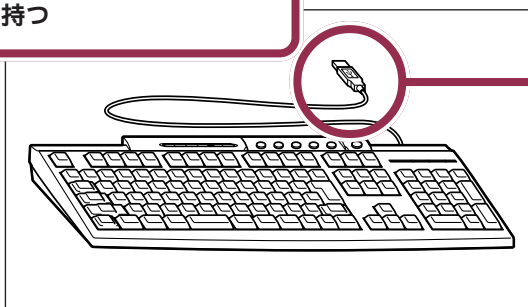
キーボードの接続のしかた (CRT ディスプレイセットモデルの場合)



キーボードのケーブルを本体背面に接続します。  
詳しくは次の手順をご覧ください。

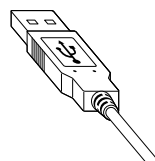
1

キーボードのプラグ (黒色)  
を持つ



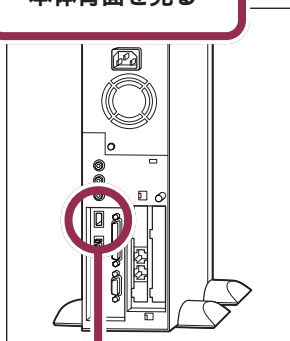
2

の見えるほうが  
右になるようにする

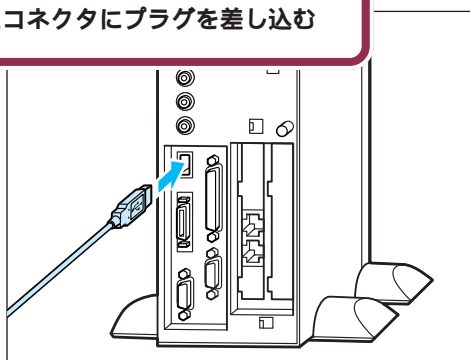


3

本体背面を見る



4

 の付いたコネクタにプラグを差し込む

 の付いた面を右側にして差し込む

### ✓ チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

### 前面のコネクタにも接続できる

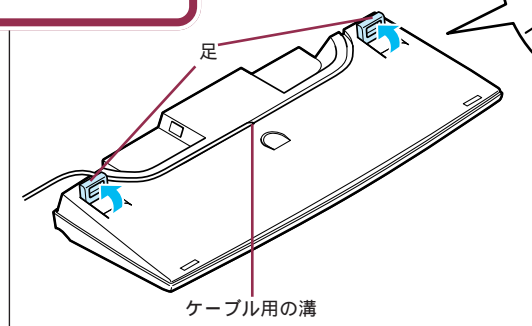
キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面(右下)にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面のコネクタに接続するときは、 の見える方を左に向けます。

## キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードがしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。

1

キーボードを裏返し、  
足(2カ所)を立てる



キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

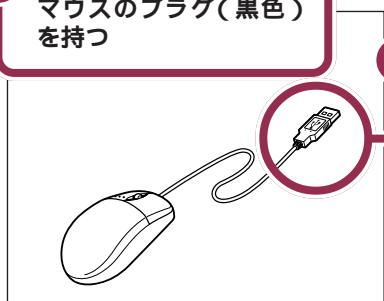
# マウスを接続する



キーボードの裏側にマウスを接続します。今度も、プラグの向きに注意してください。

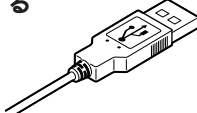
1

マウスのプラグ(黒色)を持つ



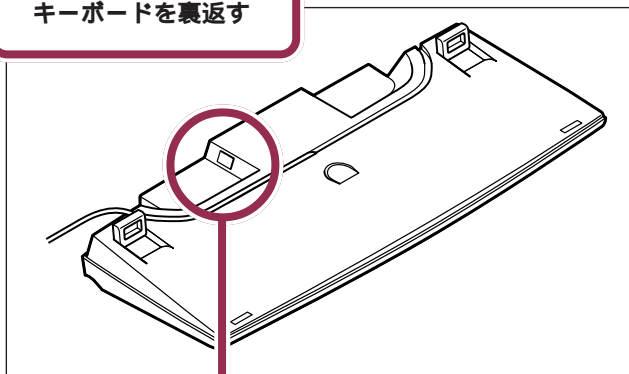
2

マウスのプラグの向きが上になるようにする



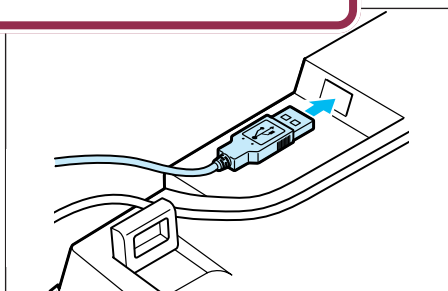
3

キーボードを裏返す



4

キーボード裏側のマウスのプラグの付いたコネクタにプラグを差し込む



## ✓ チェック!!

マウスの接続手順は、液晶ディスプレイセットモデル / CRT ディスプレイセットモデルのどちらでも同じです。

## 用語

### マウス

パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使う小さな道具で、ケーブルがしっぽのように見えるところから、マウス(ねずみ)と呼ばれます。

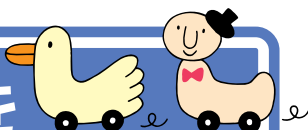
キーボード底面には、マウスの付いたコネクタが2つあります。マウスの操作がやりやすい方のコネクタを選んで接続してください。

## ✓ チェック!!

マウスのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

# ディスプレイを 接続する

ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。接続するディスプレイによっては、プラグのネジを回して固定する必要があります。



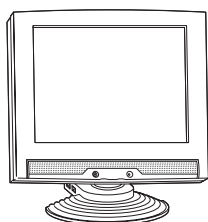
## 用語

### ディスプレイ

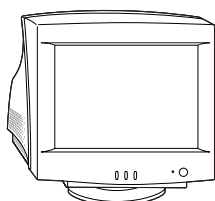
パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしていますが、絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているため、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

モデルによって、ディスプレイの接続のしかたは異なります。モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。

### 液晶ディスプレイ セットモデルの場合は

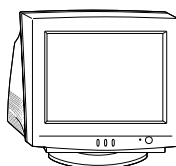


このページから始める



### CRT ディスプレイ (17 型)セットモデルの場合は

p.31 に進む

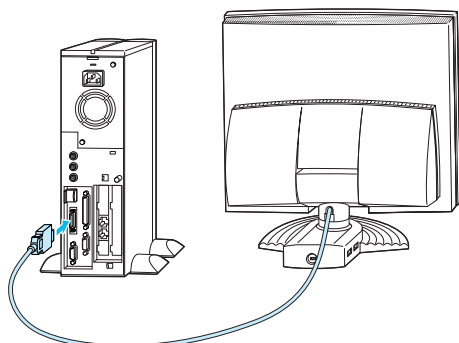


### CRT ディスプレイ (15 型)セットモデルの場合は

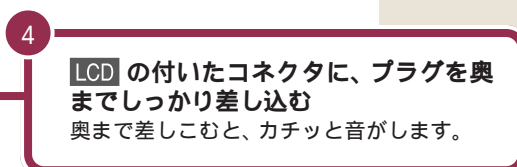
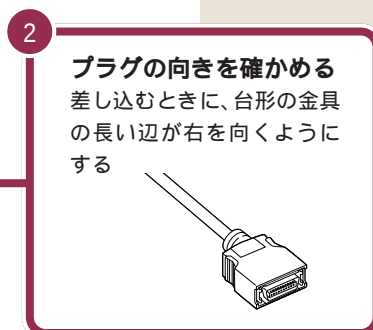
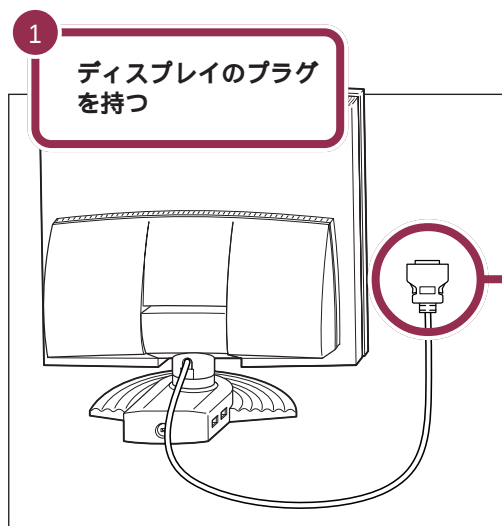
p.33 に進む

## 液晶ディスプレイを接続する

### ディスプレイの接続のしかた



ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグを奥までしっかり差し込みます。詳しくは次の手順をご覧ください。



台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

#### ✓ チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向（左右の向き）を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

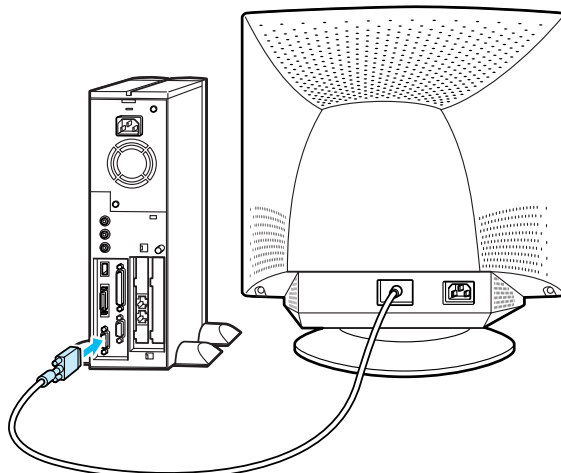
### ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。

液晶ディスプレイセットモデルの場合、ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。ディスプレイのケーブルをパソコン本体に接続するだけで、パソコン本体から電源が供給され、ディスプレイとキーボードが使えるようになります。

「ヘッドセットマイクを接続する」(p.40)に進む

## 17 型 CRT ディスプレイを接続する

### ディスプレイの接続のしかた

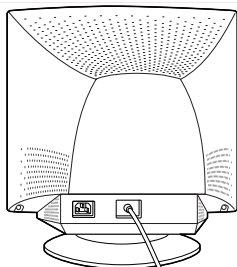


ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。  
詳しくは次の手順をご覧ください。

ディスプレイの形状は、モデルによって異なります。

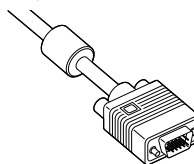
1

#### ディスプレイのプラグを持つ



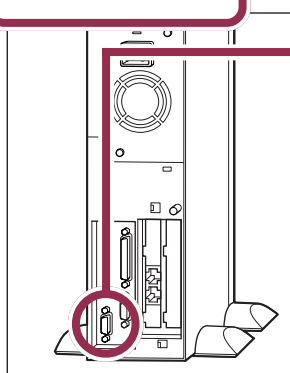
2

**プラグの向きを確かめる**  
台形の金具の長い辺が右を向くようにする



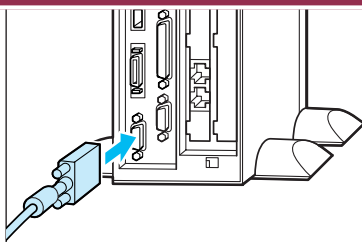
3

本体背面を見る



4

 の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



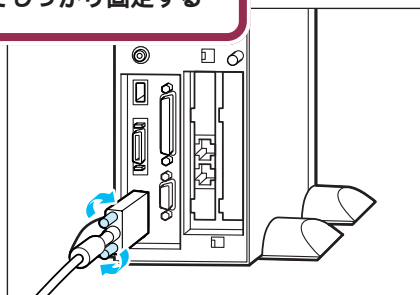
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

✓ **チェック!!**

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。

5

ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



✓ **チェック!!**

- ・ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

**ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。**



スピーカや電話回線などを先に接続する必要があります。ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの「CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する」(p.48)をご覧ください。

「スピーカを接続する(CRT ディスプレイ  
セットモデルのみ)」(p.37)に進む

## 15 型 CRT ディスプレイを接続する

### ⚠ 注意

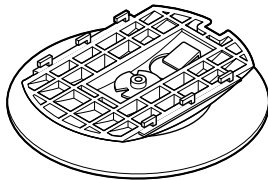


発火注意

必ず回転台を取り付けて使用してください。

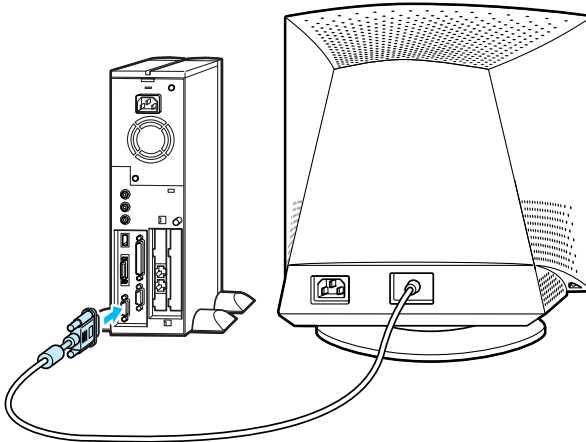
回転台を取り付けずに使用すると、火災等の原因となる可能性があります。

### 用意するもの



回転台

### ディスプレイの接続のしかた



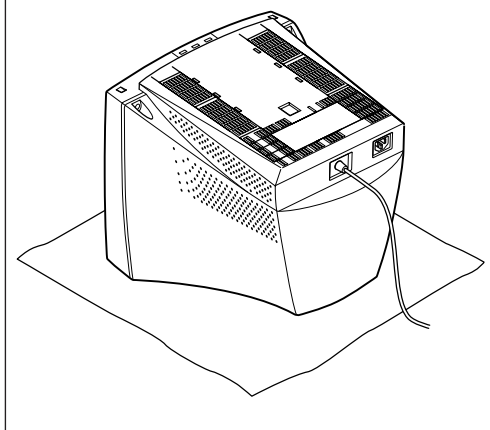
CRTディスプレイの底面に回転台を取り付けて、その後にディスプレイのケーブルをパソコン本体に取り付けます。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。詳しくは次の手順をご覧ください。

## ● ディスプレイに回転台を取り付ける

ディスプレイ底面に回転台を取り付けます。

1

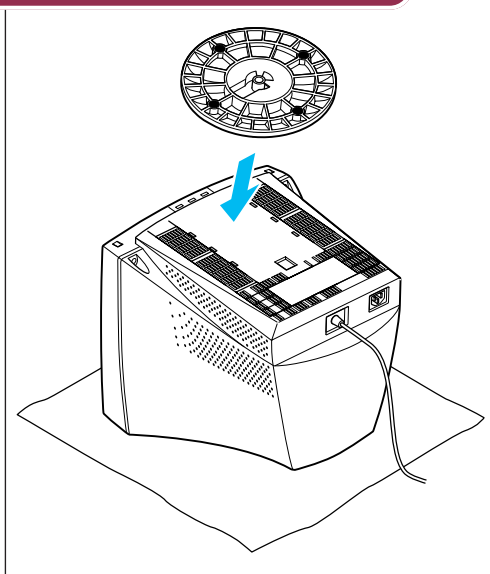
ディスプレイの底面が上になるようにして置く



2

ディスプレイ底面の取り付け穴に、回転台を取り付ける

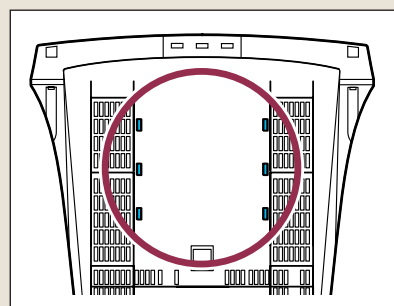
回転台のツメが、ディスプレイの画面側を向くようにして差し込みます。



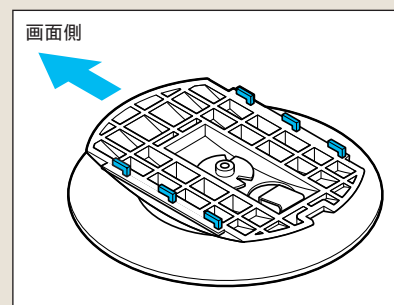
## ✓ チェック!!

- ・ この作業は、十分な広さの安定した台の上や、床で行ってください。
- ・ ディスプレイに傷などがつかないように、下に厚手の布や紙などを敷いて作業してください。

ディスプレイの底面に、回転台用の取り付け穴があります。

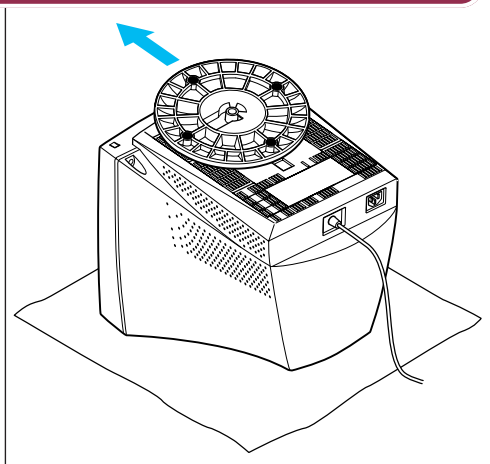


下の図の青い部分が、回転台のツメです。



3

回転台を、ディスプレイの画面側にずらす  
「カチッ」と音がして、固定されるまでずらしません。



ディスプレイが動かないように、押さえながら作業してください。

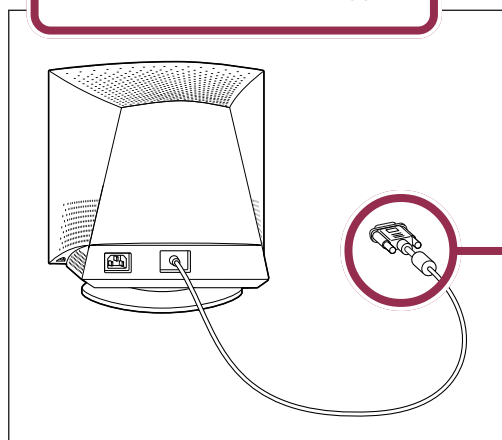
4

ディスプレイを慎重に起こす

# • パソコン本体と CRT ディスプレイを接続する

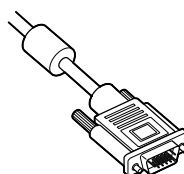
1

ディスプレイのプラグを持つ



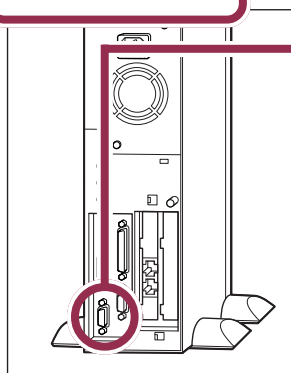
2

プラグの向きを確かめる  
台形の金具の長い辺が右を  
向くようにする



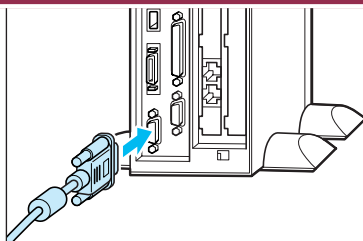
3

本体背面を見る



4

 の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



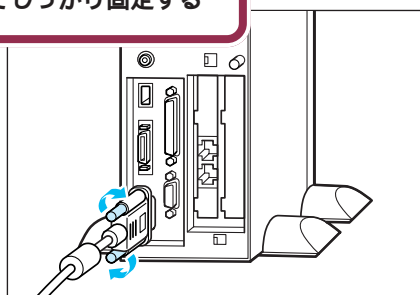
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

✓ **チェック!!**

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。

5

ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



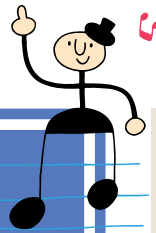
✓ **チェック!!**

- ・ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

**ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。**



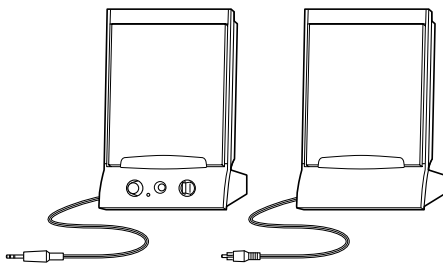
スピーカーや電話回線などを先に接続する必要があります。  
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの「CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する」(p.48)をご覧ください。



## スピーカを接続する (CRTディスプレイセットモデルのみ)

パソコンから音を出すために、スピーカを接続します。

### 用意するもの

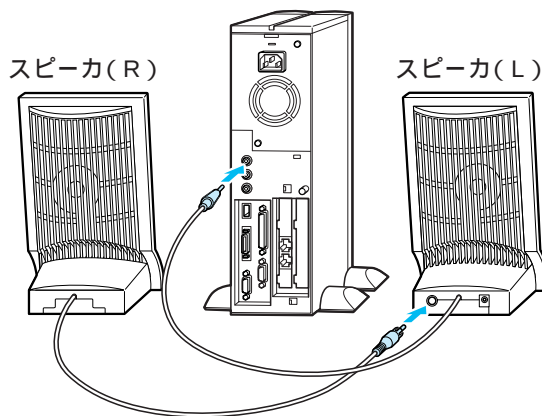


スピーカ(L)      スピーカ(R)

電源スイッチやボリュームのついている方が、スピーカ(L)です。  
もう一方が、スピーカ(R)です。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディスプレイにステレオスピーカが内蔵されています。

### スピーカの接続のしかた

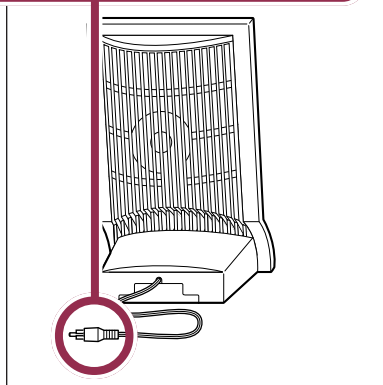


スピーカ(R)のケーブルをスピーカ(L)に接続し、スピーカ(L)のケーブルを本体に接続します。  
詳しくは次の手順をご覧ください。

## 左右のスピーカを接続する

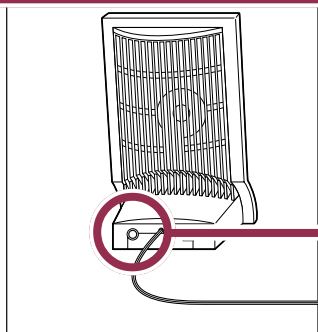
1

スピーカ(R)のプラグを持つ



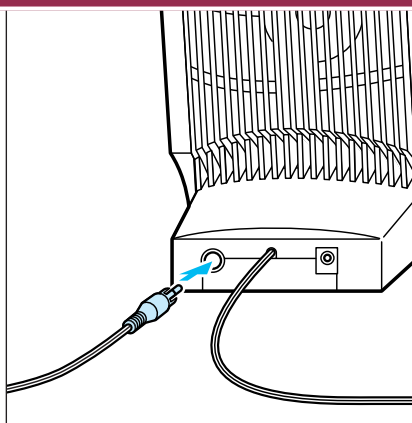
2

スピーカ(L)の背面を見る



3

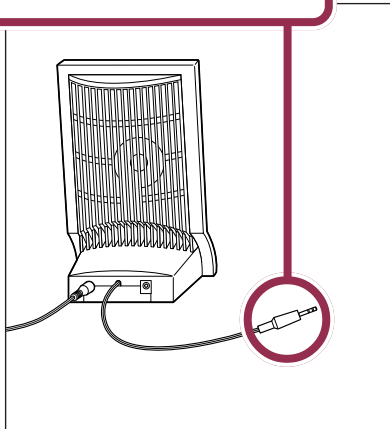
🔊 の付いたコネクタに、スピーカ(R)のプラグを差し込む



## スピーカをパソコン本体に接続する

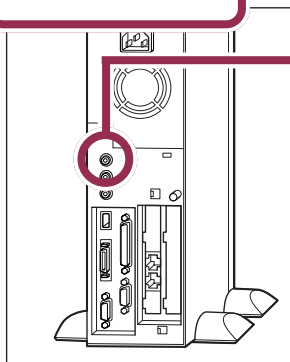
1

スピーカ(L)のプラグを持つ



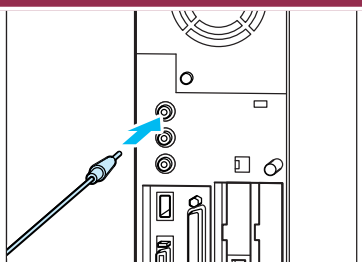
2

本体背面を見る



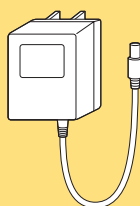
3

スピーカ(L)のプラグを  の付いたコネクタ (3つのコネクタのうちいちばん上) に差し込む



**スピーカの AC アダプタは、  
まだ接続しないでください。**

電話回線などを先に接続する必要があります。  
スピーカの AC アダプタを接続する場合はこの  
PART の「スピーカの AC アダプタを接続す  
る」(p.49)をご覧ください。

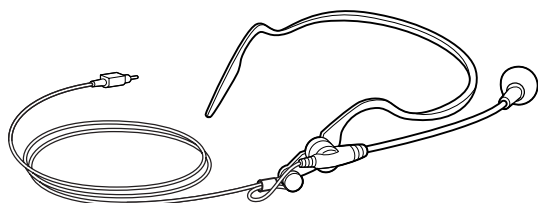


# ヘッドセットマイク を接続する



パソコンに音声を入力するために、ヘッドセットマイクを接続します。

## 用意するもの



ヘッドセットマイク

## ✓ チェック!!

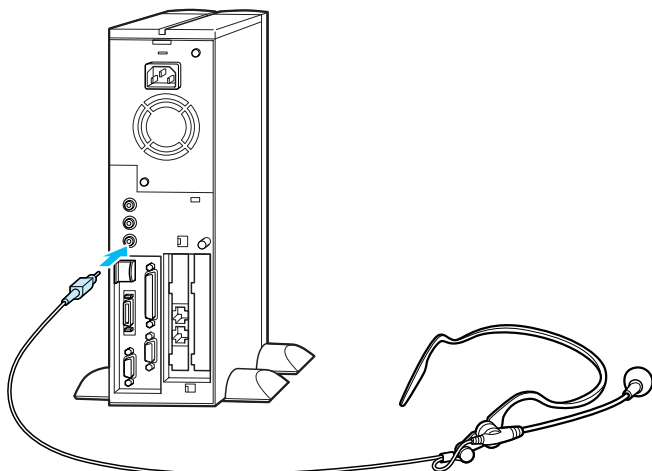
ヘッドセットマイクの接続手順は、液晶ディスプレイセットモデル / CRTディスプレイセットモデルのどちらでも同じです。

ヘッドセットマイクは、音声で文字を入力するときなどに、耳にかけて使うものです。

## 📖 参照

装着のしかた→ヘッドセットマイクのビニール袋に入っている説明書  
ヘッドセットマイクを使う→『練習! パソコンの基本』PART7の「あなたの声でパソコンを操作してみる」

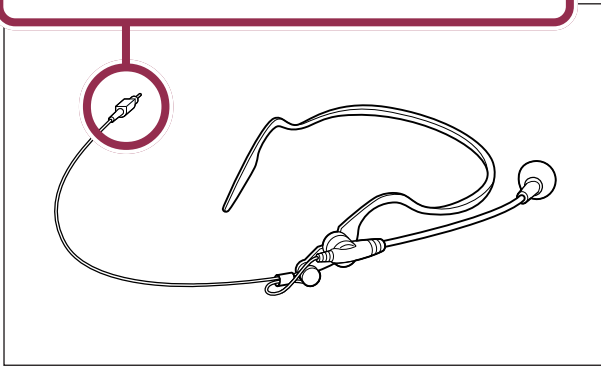
## ヘッドセットマイクの接続のしかた



ヘッドセットマイクのケーブルを、本体背面に接続します。  
詳しくは次の手順をご覧ください。

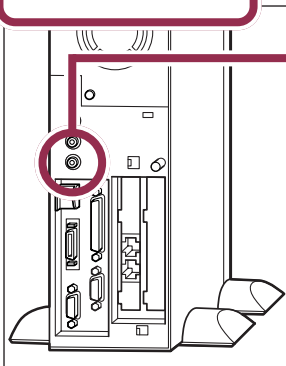
1

ヘッドセットマイクのプラグ(ピンク)を持つ



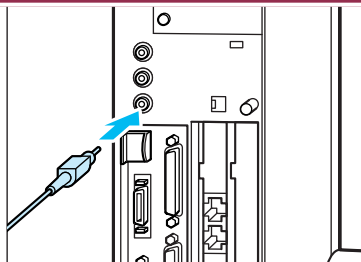
2

本体背面を見る

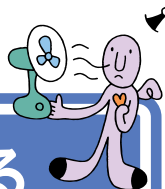


3

ヘッドセットマイクのプラグを  の付いたコネクタ(3つのコネクタのうちいちばん下)に差し込む



## 電話回線に接続する



インターネットを利用する場合や、このパソコンでFAXを送ったりする場合には、電話回線に接続する必要があります。最初に、いまお使いの電話機を取り外してからパソコンにつなぎ換えます。次に、パソコンを直接電話回線に接続します。この操作を行っても、電話機はいままで通り使えます。

### ⚠ 注意



モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因となります。

### 用意するもの



モジュラーケーブル

### ✓ チェック!!

電話回線の接続手順は、液晶ディスプレイセットモデル / CRT ディスプレイセットモデルのどちらでも同じです。

「インターネット無料体験」を利用するときにも、電話回線への接続は必要です。

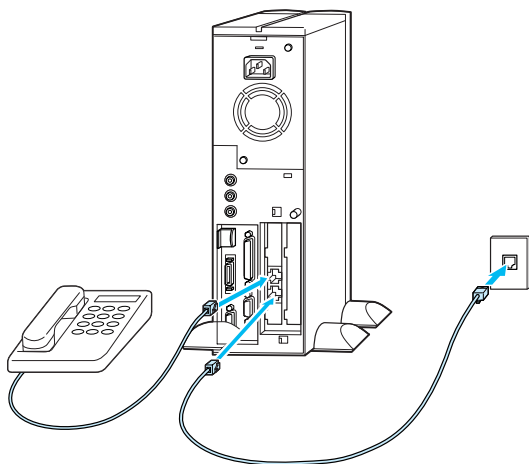
### ✓ チェック!!

- ・ パソコンを電話回線に接続するには、電話回線の接続口がモジュラーコンセントになっている必要があります。
- ・ 添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合は、電器店などで必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

### 📖 参照

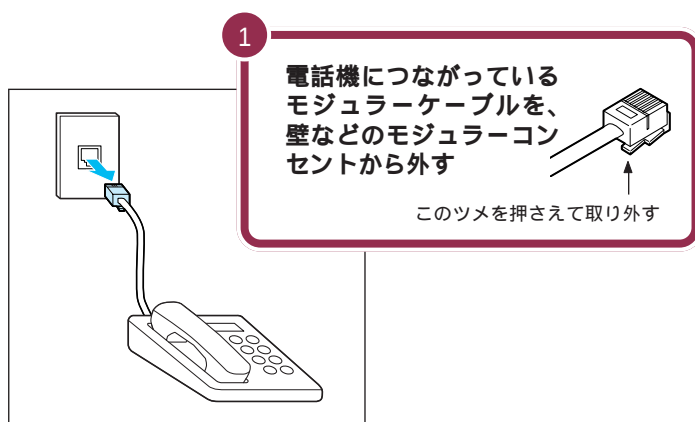
モジュラーコンセント、モジュラーケーブル → PART 1 の「インターネットするなら、パソコンは電話の近くに」(p.4)

### 電話回線の接続のしかた



電話機のケーブルをモジュラーコンセントから外して本体に接続します。次に、添付のモジュラーケーブルを使って、本体とモジュラーコンセントを接続します。詳しくは次の手順をご覧ください。

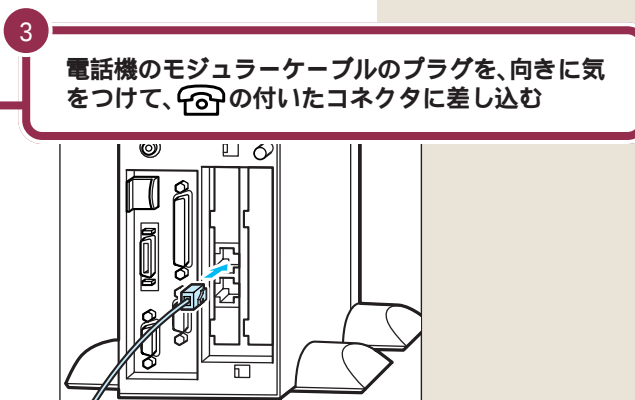
## 電話機をパソコンにつなぐ



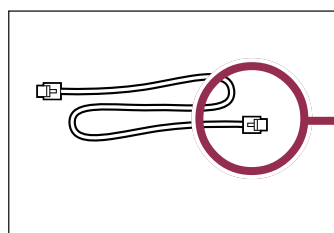
モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。

### ✓ チェック!!

電話機のモジュラーケーブルを取り外すと、パソコンを電話回線に接続するまでの間、電話機は使用できなくなります。



## パソコンを電話回線につなぐ

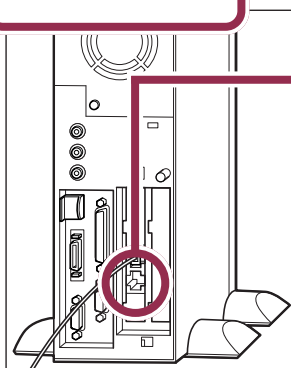


1

添付のモジュラーケーブルのプラグを持つ  
どちらのプラグでも構いません。

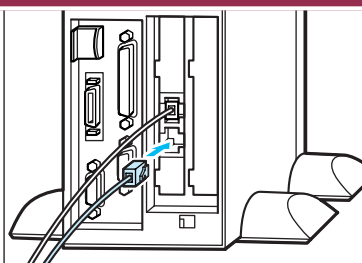
2

本体背面を見る



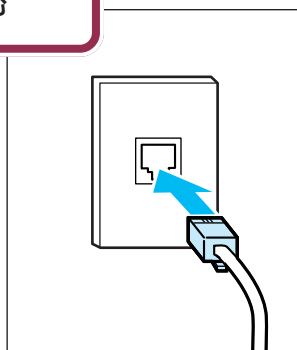
3

プラグの向きに気をつけて、の付いたコネクタに  
差し込む



4

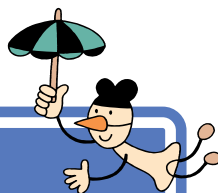
もう一方のプラグを壁  
などのモジュラーコン  
セントに差し込む



パソコンを電話回線に接続すると、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

### ✓ チェック!!

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルや、電話機とパソコンをつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。うまく配線できないときは、お近くの電話工事店やパソコンのご購入元などにご相談ください。



## アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

### ⚠ 注意



アース線は、絶対にガス管につながないでください。  
火災の原因になります。



アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



### ✓ チェック!!

アースの接続手順は、液晶ディスプレイセットモデル / CRT ディスプレイセットモデルのどちらでも同じです。

### 用語

#### アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

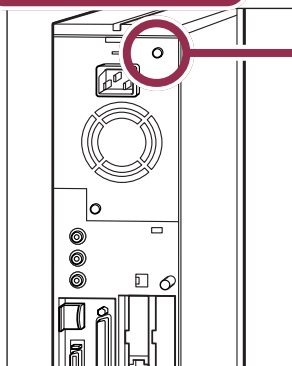
### 用意するもの



アース線 (緑色の電線です。)

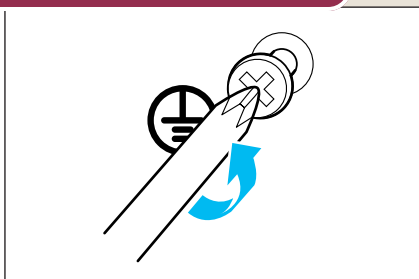
1

本体背面を見る



2

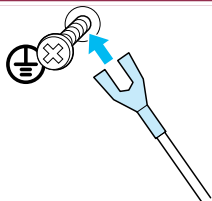
⚡の付いたネジをゆるめる



ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

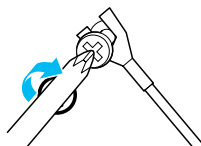
3

アース線の端子を  
すき間に差し込む



4

ネジをしめる



5

アース線のもう一方をコ  
ンセントのアース端子に  
接続する

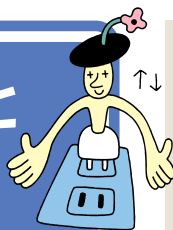


アース線

### ✓チェック!!

- ・アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- ・アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

# CRT ディスプレイと スピーカの電源 ケーブルを接続する



(CRTディスプレイセットモデルのみ)

CRTディスプレイに電源ケーブルを、スピーカにACアダプタを接続します。コンセントからそれぞれ、電源を取る必要があります。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、パソコン本体の電源ケーブルのみ接続します。スピーカは液晶ディスプレイに内蔵されており、ディスプレイの電源はパソコン本体から供給されます。

## ⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。



発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



感電注意

スピーカのACアダプタは、添付のスピーカ専用ACアダプタを使用してください。



発火注意

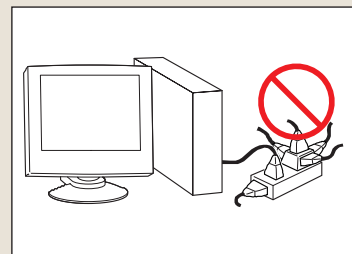
添付以外のACアダプタを使用すると、感電、発煙、発火の原因となります。



発火注意

スピーカのACアダプタの、ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げないでください。

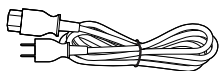
壁に押しつけて曲がった状態など、ケーブルのつけ根部分を圧迫するような状態で使用すると、発煙、火災の原因となります。



## CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する

### 用意するもの

ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイの箱に入っていたものをお使いください。



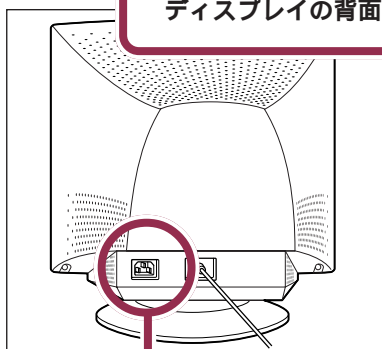
CRTディスプレイ用電源ケーブル



プラグの形状

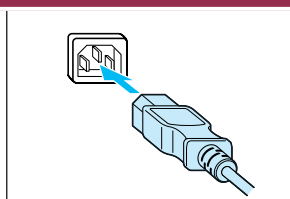
1

### ディスプレイの背面を見る



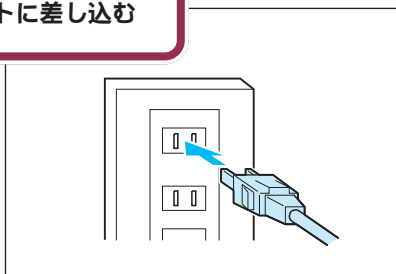
2

### ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



3

### 電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

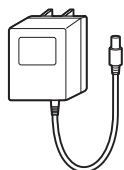


ディスプレイの形状は、モデルによって異なります。

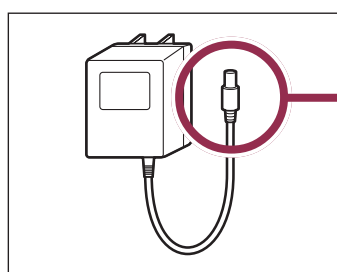
## スピーカの AC アダプタを接続する

### 用意するもの

スピーカ用ACアダプタは、スピーカセットの梱包箱に入っていたものをお使いください。



スピーカ用ACアダプタ

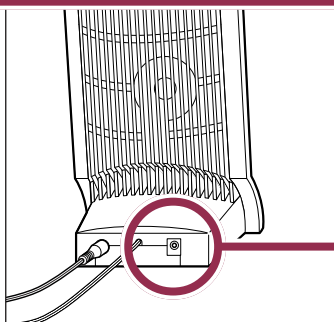


1

AC アダプタの  
プラグを持つ

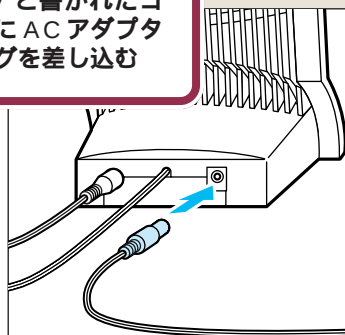
2

スピーカ(L)の背面を見る



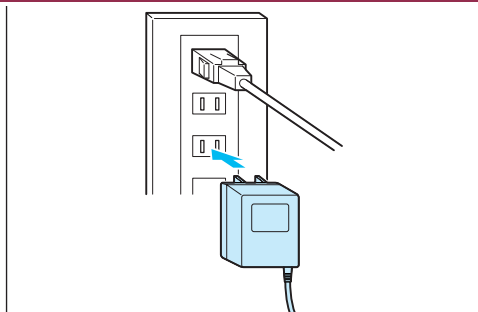
3

DC 9V と書かれたコ  
ネクタに AC アダプタ  
のプラグを差し込む

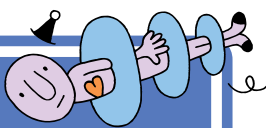


4

ACアダプタを壁などのコンセントに差し込む



# パソコン本体の 電源ケーブルを 接続する



最後に、パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

## ✓ チェック!!

パソコン本体の電源ケーブルの接続手順は、液晶ディスプレイセットモデル / CRT ディスプレイセットモデルのどちらでも同じです。

## ⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



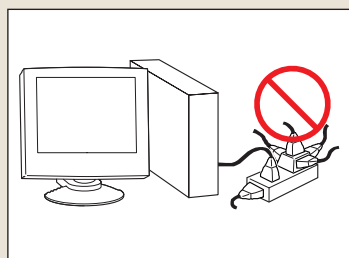
感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。



発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



## 用意するもの

パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。



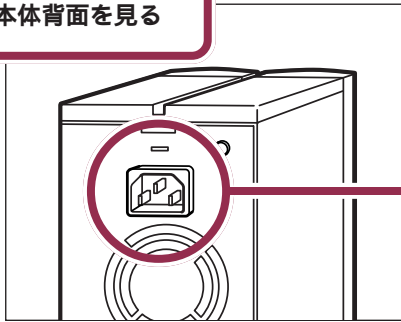
パソコン本体用電源ケーブル



プラグの形状

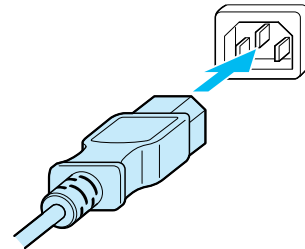
1

本体背面を見る



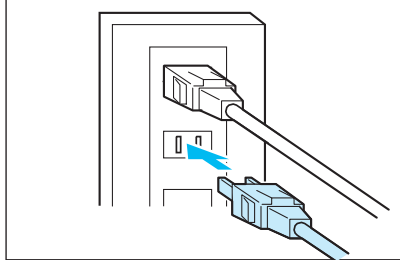
2

電源ケーブルの片方の端を、  
奥までしっかり差し込む



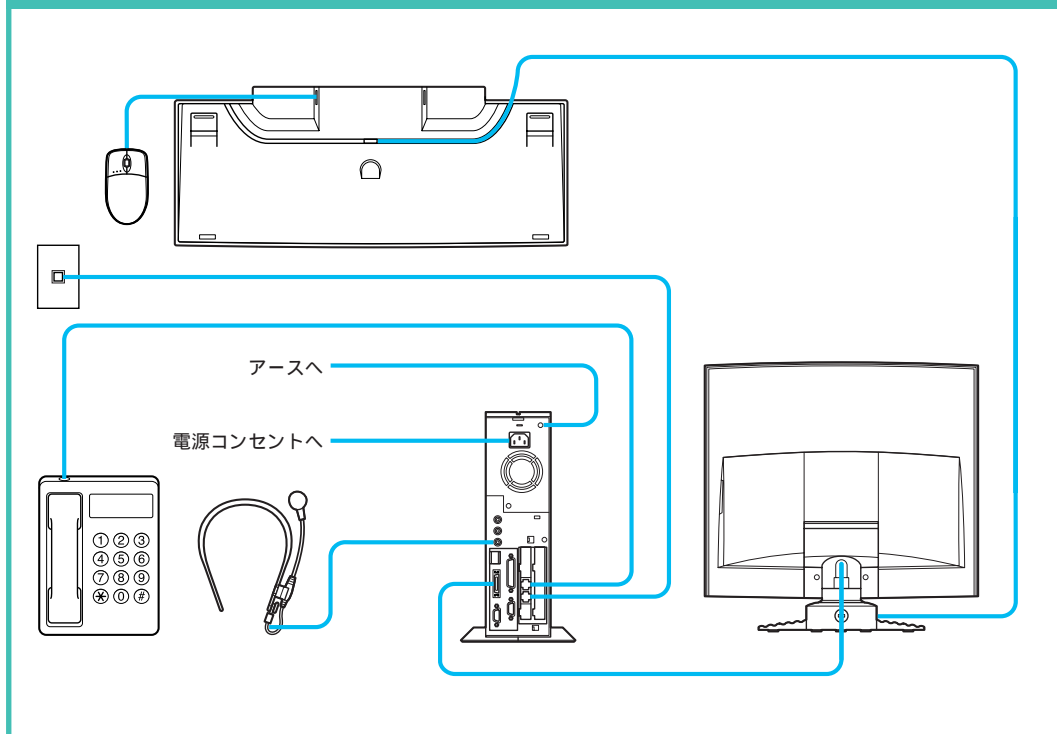
3

電源ケーブルのもう一方のプラグ  
を壁などのコンセントに差し込む

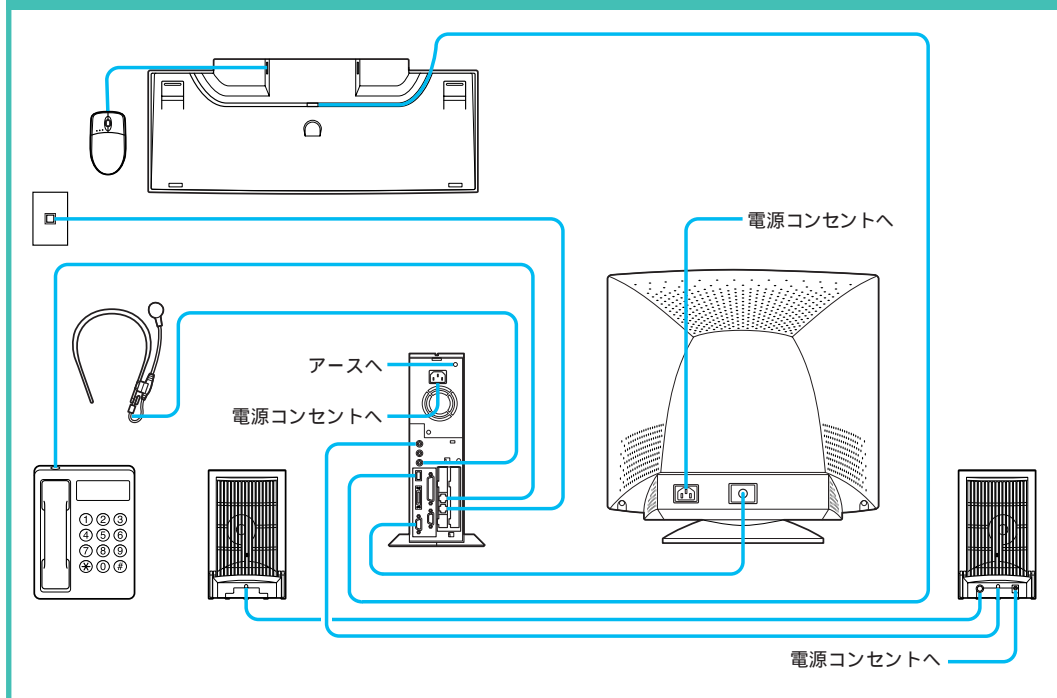


これで接続は完了です。

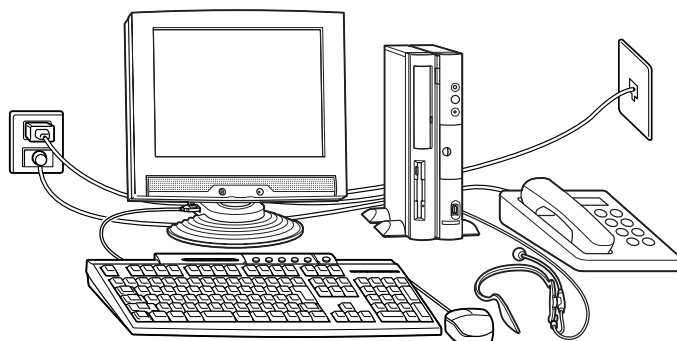
接続完成図(背面)—液晶ディスプレイセットモデルの場合



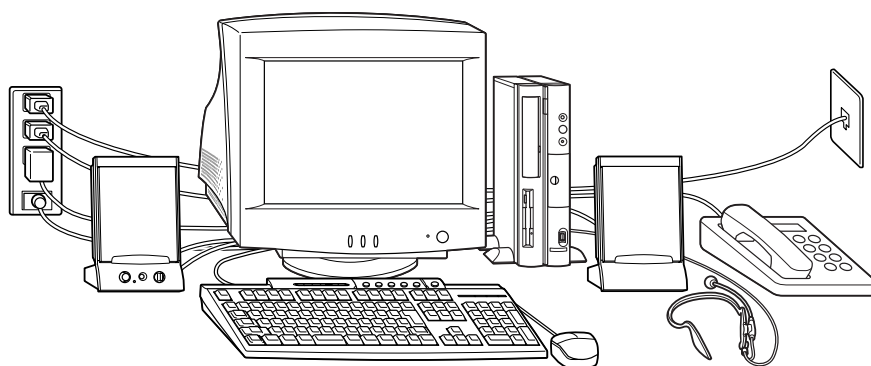
接続完成図(背面)—CRTディスプレイセットモデルの場合



接続完成図(前面)—液晶ディスプレイセットモデルの場合



接続完成図(前面)—CRTディスプレイセットモデルの場合



### まだ、電源スイッチを押さないでください。

電源を入れる操作については、このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で説明しています。

### プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『拡張!活用! パリユースター』をご覧になり、接続と設定を行ってください。

### ✓チェック!!

電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

### ✓チェック!!

TV モデルには、アンテナ線とLINE ケーブルを接続します。これらの接続も、「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」のあとで行ってください。

### 📖 参照

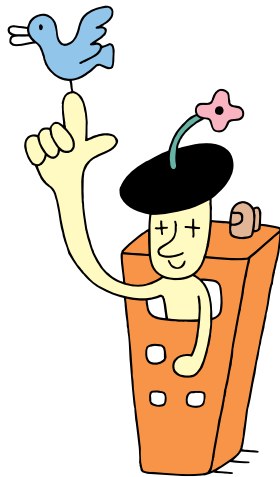
アンテナ線、LINE ケーブルの接続 → 『TV モデルガイド』PART1 の「テレビを見る準備をする」



## 3

## 電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、  
いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れる  
ときは、自分の名前などを登録するセットアッ  
プ作業が必要です。この作業が終わらないと、パ  
ソコンは使えるようになりません。このあとの  
説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してく  
ださい。



# 電源を入れる



ディスプレイ、スピーカ、パソコンの順に電源スイッチを押していきます。電源を入れてから、パソコンをできるようにするための準備が完了するまで、約30分程度かかります。

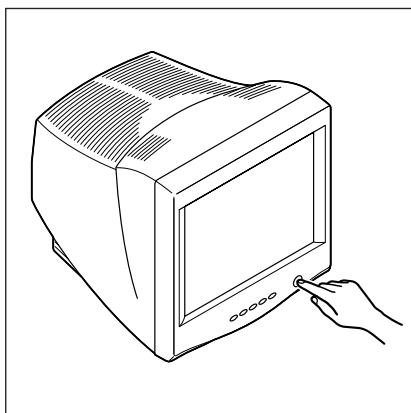
1

パソコンのユーザー名を決めて、61ページの記入欄にローマ字(小文字)でメモしておく(文字数は28文字まで)

2

CRTディスプレイセットモデルの場合は、ディスプレイの電源スイッチを押す

CRTディスプレイの電源ランプが点灯する



## ユーザー名について

このあとの手順で、キーボードを使って名前を打ち込む必要があります。そのときに迷わないように、いまから決めておきましょう。通常は、ユーザー名とは、あなたの名前のことです。このパソコンを複数のかたが使う場合は、代表になる人の名前が良いでしょう。

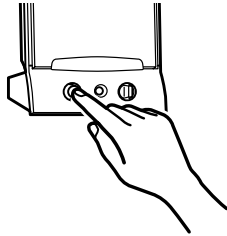
## ✓チェック!!

液晶ディスプレイの場合、ディスプレイに電源スイッチはありません。パソコン本体の電源を入れると、自動的にディスプレイの電源も入ります。

3

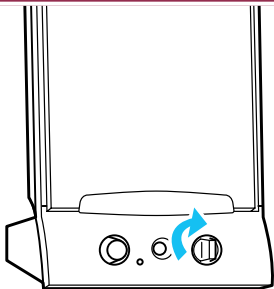
**CRT ディスプレイセットモデルの場合は、スピーカの電源スイッチを押す**

スピーカの電源ランプ  
が点灯する



4

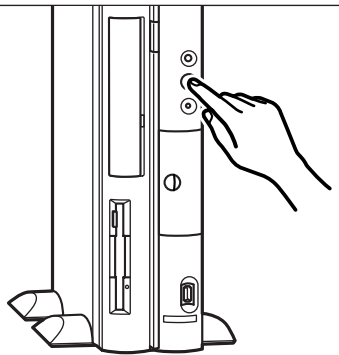
**CRT ディスプレイセットモデルの場合は、スピーカのボリュームつまみを回す**



5

**パソコン本体の電源  
スイッチを押す**

パソコン本体の電源ラ  
ンプが緑色に点灯する



**✓チェック!!**

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディスプレイにステレオスピーカが内蔵されています。パソコン本体の電源を入れると、自動的にディスプレイの電源が入り、スピーカも機能するようになります。

購入時はスピーカの音量が最小になっています。ボリュームつまみを右側に回して、音が出るようにしておきます。ここでは、真ん中くらいにしておきましょう。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、購入時に音が出るように設定されています。

**✓チェック!!**

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディスプレイの電源も自動的に入ります。液晶ディスプレイの電源ランプが点灯します。

## 操作の途中で電源を切らない!!

このPARTの操作がすべて終わるまでに、約30分かかります。p.70の手順が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。

なお、p.70の手順が完了するまでは、誤操作を防止するために、電源スイッチを押しても電源が切れないように設定されています。

6

### 次の画面が表示されるのを待つ

この度は当社のパーソナルコンピュータをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

Windows98 セットアップでは、次のものが必要となりますので用意しておいてください。

- ・『まずこれ! 接続と準備』マニュアル  
(PART3 『電源を入れてパソコンをできるようにする』の部分に従ってセットアップしてください)
- ・使用する人の名前(ユーザ情報として名前を登録します)

< 注意 >  
Windows98 セットアップには約30分かかります。セットアップが完了しWindows98 が起動するまで、絶対に電源をOFFにしたりしないでください。Enter キーを押すと、Windows98 セットアップを開始します。

### パソコンの操作はあわてずに!

パソコンを使っているときに、画面が次に切り替わるまで、少し時間がかかることがよくあります。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。「しばらくお待ちください」といったメッセージやが出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度も押ししたりしないでください。



ポイント

「しばらくお待ちください」といったメッセージや (砂時計) が表示されているときは、パソコンが内部で処理を行っている。これらが表示されている間は、何も操作せずに待つ。

最初の30秒ぐらいは、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化します。左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

### 用語

#### セットアップ

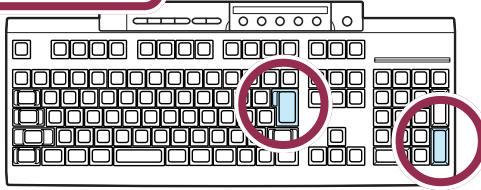
パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、インターネット、ワープロ、表計算、ゲームなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

### チェック!

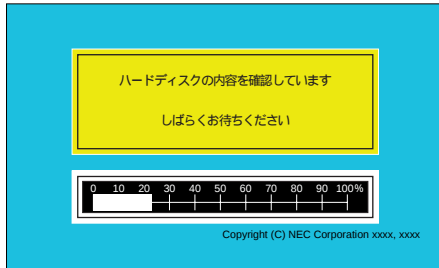
上の画面が表示されなかったり、停電やコンセントが抜けたなどの理由で電源が切れてしまった場合は、『困ったときのQ&A』PART1の「はじめて電源を入れたら...」や「電源を入れたが/切ろうとしたが...」をご覧ください。

7

キーボードの  を押す



このような画面が  
1 ~ 2 分ほど出たあと、



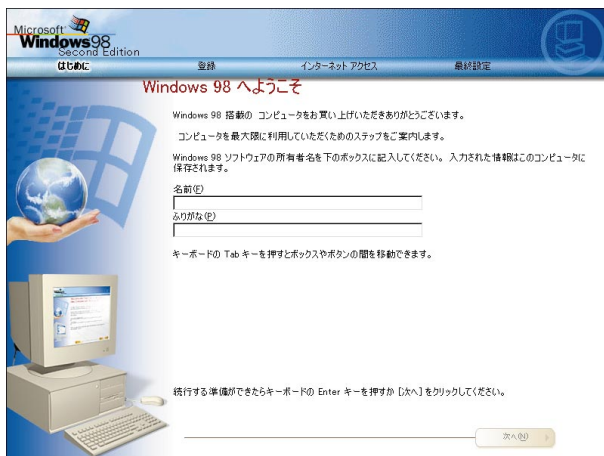
この画面に変わる



8

キーボードの  を押す

数分ほどで、  
この画面に変わる



左の図のように【Enter】は、2 カ所  
にあります。どちらのキーを押して  
も構いません。

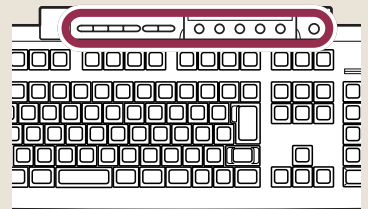
用語

 (Enter キー)

キーボードのキーの中で、一番よく使うキーです。「エンター」と読みます。エンター(Enter)とは、「入れる」という意味。「次に進め」という命令をパソコンに入れたときに押すものが、Enter キーだと思ってください。

チェック!!

キーボードの上に並んでいるボタンは、まだ押さないようにしてください。これらのボタンの使い方は、PART4 や他のマニュアルで説明しています。



左の画面が出るまで、途中で画面が暗くなったり、何度か画面の表示が変化することがありますが、左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

# 名前を打ち込む

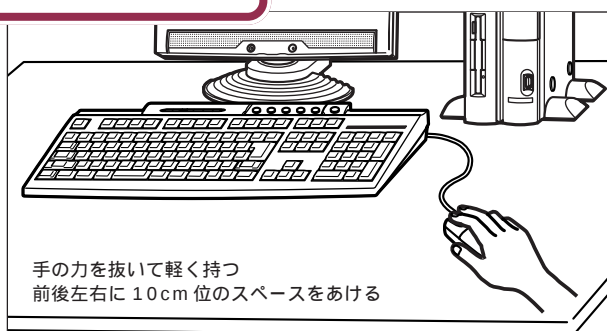


このパソコンをあなたのパソコンとして登録します。それには、画面の中の決められた欄に、ローマ字で名前を打ち込みます。でも、その前にマウスに触れてみましょう。

## マウスを動かしてみる

1

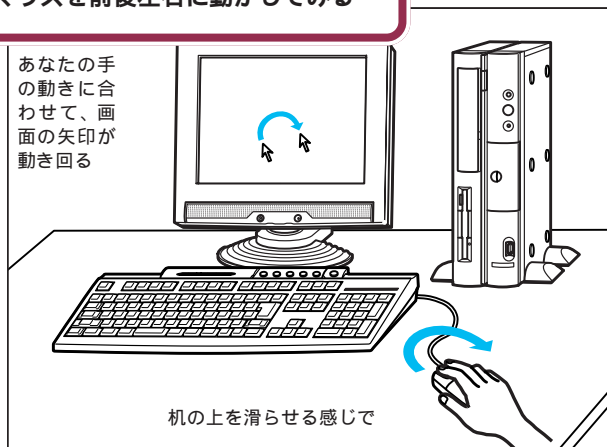
### 右手でマウスを持つ



手の力を抜いて軽く持つ  
前後左右に10cm位のスペースをあける

2

### マウスを前後左右に動かしてみる



あなたの手の動きに合わせて、画面の矢印が動き回る

机の上を滑らせる感じで

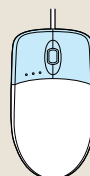


ポイント

マウスは軽く持って、机の上を滑らすように動かす。  
マウスの動きに応じて、画面の矢印が動く。

### ✓ チェック!!

マウスの上にある3つのボタンは、まだ押さないでください。



マウスを動かすために、マウスの前後左右に10cm位のスペースをあけておいてください。

マウスは、親指と薬指で軽くつかんで机の上を滑らせるように動かします。肩の力を抜いて、手首だけで動かすようにすることがコツです。

## 自分の名前をローマ字で打ち込む

### ● 名前に大文字のローマ字を使いたい方は

次の説明では、名前は「ichirou mita」のようにすべて小文字で入力していきます。

「Ichirou Mita」「ICHIROU MITA」のように大文字を使って入力したい方は、『練習! パソコンの基本』の「キーボードで文字を打って見よう」の「数字やアルファベットは半角で」をご覧ください。

### ● 日本語入力に慣れている方は

すでにパソコンを使って、日本語入力の操作に慣れているなら、ローマ字で名前を入力する必要はありません。日本語入力をオン(【半角/全角】を押す)にして、自分の名前やふりがなを入力して「次へ」をクリックしたら、p.63の手順3に進んでください。

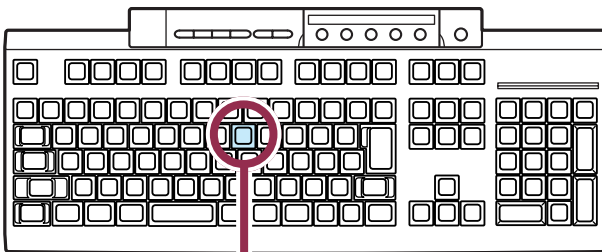
1

下の記入欄でパソコンの使用者名のローマ字つづりを確認する

名前(F)

2

キーボードから最初のアルファベットが書かれたキーを探す



「ichirou」の場合なら、「i」のキーはここ  
(キーに書かれたひらがなは無視する)

3

その文字キーを押す



### ✓ チェック!!

はじめてパソコンを利用される方、ワープロを使った経験のない方は、本書の説明にしたがってローマ字(アルファベット)で名前を入れるようにお勧めします。漢字に変換する方法は、『練習! パソコンの基本』の「キーボードで文字を打ってみよう」の「漢字に変換する」をご覧ください。

アルファベットは全部小文字で入力します。普通は名前、名字の順番ですが、日本式に名字、名前の順番でも構いません(登録できる文字は半角で28文字までです)。

### 📖 参照

ローマ字のつづりがわからないときは→付録の「ローマ字つづり一覧」(p.119)

### ✓ チェック!!

- ・入力したいアルファベットの、大文字のキーを探してください。大文字のキーで、同じ読みの小文字が入力できます。
- ・画面の文字入力欄に「|」が点滅していないと、文字を入れることはできません。「|」が点滅していないときは、マウスで矢印を入力欄に合わせ、左ボタン(→p.63)を一度押してください。「|」が点滅したら文字を入れてください。

名前(F)



## 同じ文字が続けて打ち込まれたとき (間違った文字が入ったとき)

文字のキーは、押したらすぐに離すことが大切です。キーを押したままにしていると、同じ文字が連続して入ってしまいます。そのときは、右の図のキーを押してください。後ろから文字を消すことができます。文字を間違えて打ったときも、このキーで修正できます。

4

同じようにして、自分の名前  
をすべて打つ

Windows 98 ソフトウェアの所有者名を下の  
保存されます。

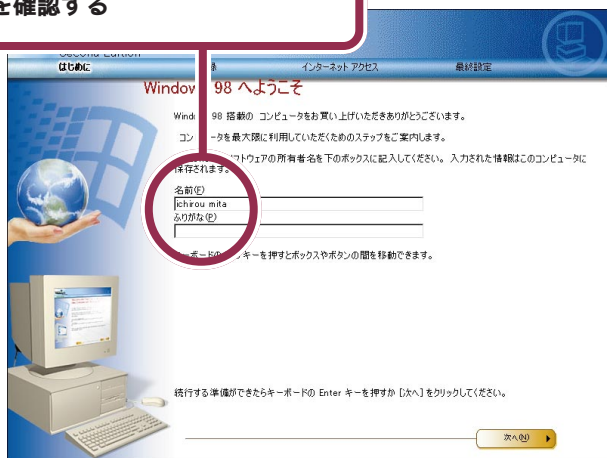
名前(E)

ichirou mita

「ichirou mita」の場合なら、こうになる

5

自分の名前が入力できたこと  
を確認する

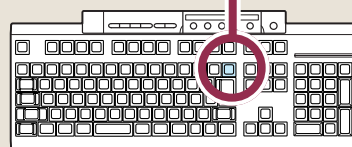


## ローマ字が入力できないとき (ひらがなや漢字が入力されてしまうとき)

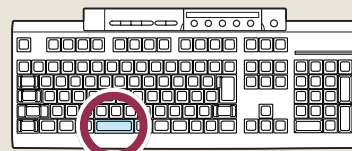
操作しているうちに、ローマ字が入力できなくなってしまうと、画面右下を見てみてください。

「あ 般 般 般 般」が表示されているときは、日本語入力  
がオンになってしまっています。【半角 / 全角】(右の図の  
キー)を押すと、「あ 般 般 般 般」が消えて、ローマ字が  
打てるようになります。

【BackSpace】



名字と名前の間を空けるときは、下  
図のキーを押します。このキーは、空  
白(スペース)を空けるときなどに使  
うので「スペース」キーと呼ばれます。



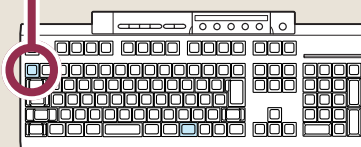
ローマ字で名前を入力した場合、ふ  
りがなの欄には何も入れる必要があ  
りません。

漢字で名前を入れた場合は、ふりが  
なの欄の内側までマウスで矢印を移  
動して、そこでマウスの左ボタンを  
一度押します。次の図のように、ふり  
がなの欄の左端に「|」が点滅するの  
を確認してください。あとは名前と  
同じようにふりがなを入力できます。

ふりがな(P)



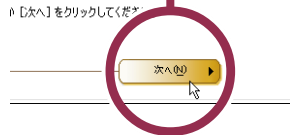
【半角 / 全角】



## 「次へ」をクリックする

1

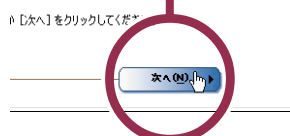
「次へ」に矢印を合わせて、



「次へ」の色が変わる

2

が  に変わったら、マウスの左ボタンを 1 回押す



マウスの左ボタンを押すと、画面が変わる

3

「スキップ」に矢印を合わせて、 に変わったらクリックする

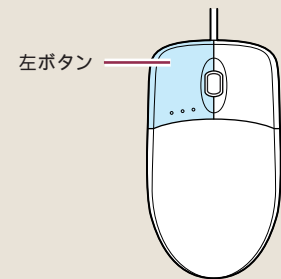


画面が変わる

### 用語

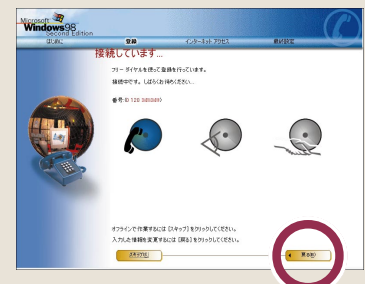
#### クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。「クリック」は、マウスを使うときの最も基本的な操作方法なので、このあとの手順でも同じ操作が何度も出てきます。しっかりマスターしてください。



左の画面は、インターネットに接続するための確認や設定を行うものです。このパソコンでは、この後の「インターネットに接続できることを確認する」でインターネット接続の確認を行いますので、ここでは「スキップ」をクリックしてください。

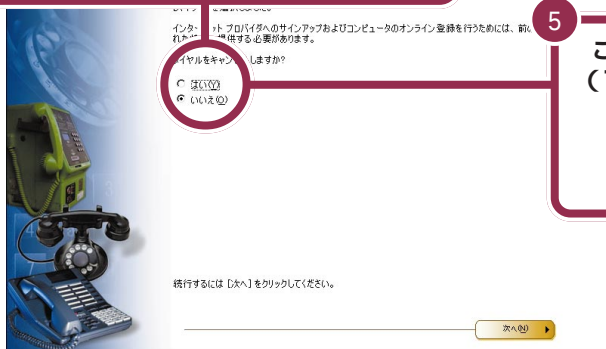
万一、下の画面が表示されてしまった場合は、すぐに「戻る」をクリックしてください。手順 3 の画面に戻ります。



4

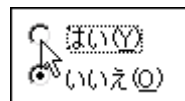
「はい」の左にある ☐ に矢印を合わせる

☐ の内側に矢印の先端が来るように



5

ここで、クリックする  
(マウスの左ボタンを1回押す)



☐ はい(Y) が ☒ はい(Y) になる

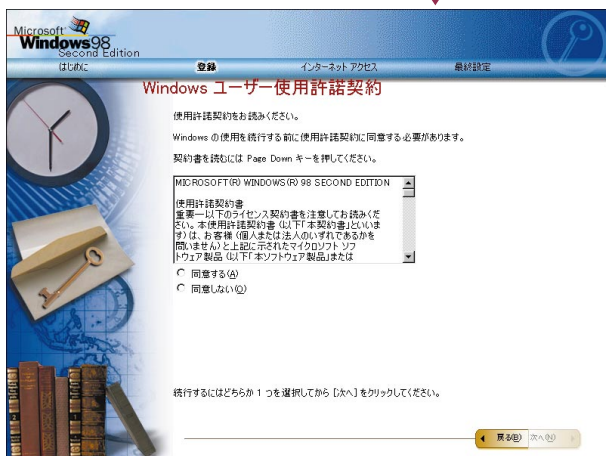
6

「次へ」に矢印を合わせて、 が  に変わったらクリックする

をクリック。

次へ(N) >

画面が変わる



手順 4、5 を行わないまま「次へ」をクリックすると、手順 3 の画面に戻ってしまい、先に進むことができません。必ず、☐ はい(Y) をクリックして ☒ はい(Y) にしてください。

# セットアップを完了させる

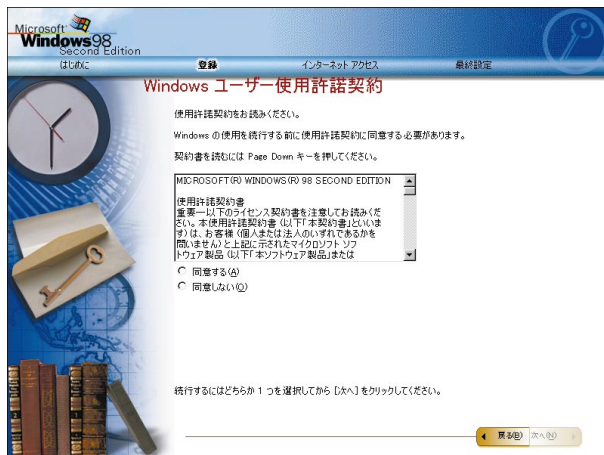


パソコンを使えるようにするための操作を続けましょう。手順説明にしたがって、ゆっくり、確実に操作を進めてください。

## 使用許諾契約に同意する

1

次の画面が表示されていることを確認する



### 使用許諾契約とは？

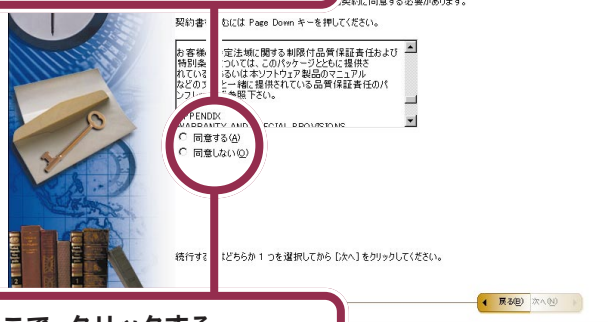
このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に▼があります。この▼の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように、画面に内容の一部だけが表示されている場合に、表示する部分を移動させることを「スクロール」と呼びます。

2

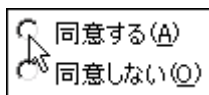
「同意する」の左にある ☐ に  
矢印を合わせる

☐ の内側に矢印の先端が来るように



3

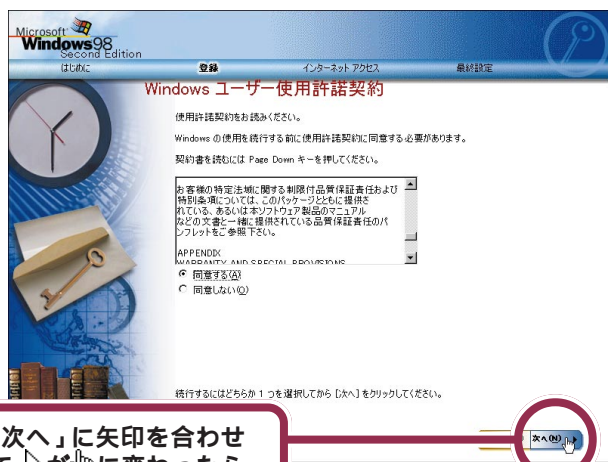
ここで、クリックする  
(マウスの左ボタンを1回押す)



☐ 同意する(A) が ☒ 同意する(A) になる

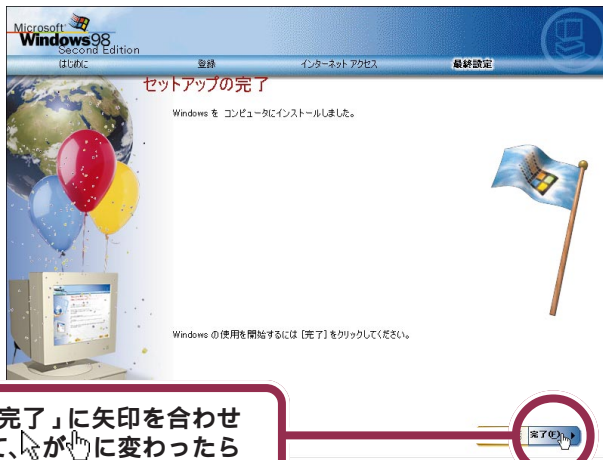
4

「次へ」に矢印を合わせ  
て、 が  に変わった  
らクリックする



画面が変わる





5

「完了」に矢印を合わせて、  
マウスが「完了」に変わったら  
クリックする

6

次ページの画面が出るまで待つ

「完了」をクリックすると、「システムの設定を更新しています」と表示されます。その後何度か画面が変わりますが、「セットアップ中です」のメッセージが消えるまで、何も操作せずに待ってください。モデルによっては、かなり時間がかかる（十数分）こともあります。そのままお待ちください。「セットアップ中です」のメッセージが消えると、次ページの画面が出ます。

**まだセットアップは完了していません。  
続けて、次ページへ進んでください。**

## このパソコンの機能を使えるようにする

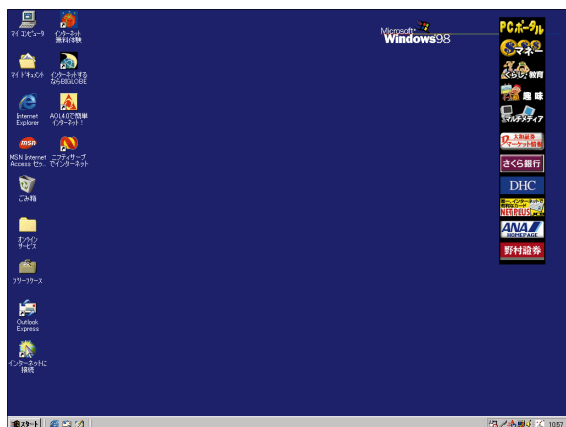
パソコンを使えるようにするための、最後の手順です。

キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押します。

キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押さないと、このパソコンの「ランチ-NX」などの機能が使用できません。

1

この画面が表示されていることを確認する



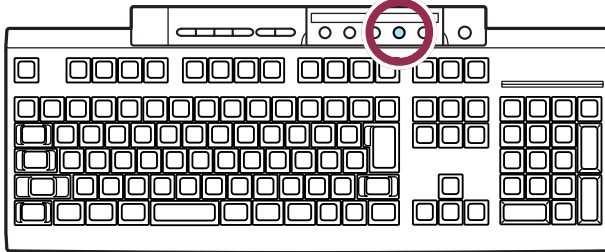
お使いの機種により、一部の表示が異なりますが、違いを気にする必要はありません。

上の画面が表示されたあとは、このマニュアルで説明された部分以外、クリックしないように注意してください。間違っって別の場所をクリックしてしまい、このマニュアルに載っていない画面が表示された場合、次のいずれかの操作を行って、表示された画面を消してください。

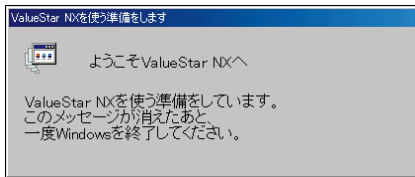
1. キーボードの左上にある【Esc】を押してみる。
2. 「キャンセル」または「いいえ」と書かれたボタンが画面上にあったらマウスでクリックする。
3. 画面の右上に  がある場合、そのボタンをマウスでクリックする。

2

キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押す



この画面が出る



しばらくすると、この画面が出る



次回から、パソコンの電源を入れたら、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。

お使いの機種により、一部の表示が異なりますが、違いを気にする必要はありません。

## 「スタート」からパソコンの電源を切る

パソコンのセットアップ(最初に電源を入れて使えるようにする作業)の最後に、パソコンの電源を切る必要があります。

1

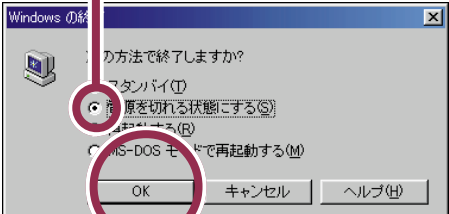
画面左下にある「スタート」をクリックする



2

「Windows の終了」をクリックする



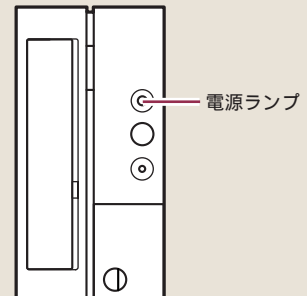
- 3 「電源を切れる状態にする」が  
●になっていることを確かめる
- 
- 4 「OK」をクリックする
- 5 パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったのを  
確認する
- CRT ディスプレイの場合は、ディスプレイの電源ランプの色が変わる  
液晶ディスプレイの場合は、ディスプレイの電源ランプが消えて、自動的に電源  
が切れる
- 6 CRT ディスプレイセットモデルの場合は、  
スピーカの電源スイッチを押す
- スピーカの電源ランプが消える

これでセットアップの作業は完了です。

次ページに進んで、正しくセットアップが完了していること、インター  
ネットに接続できることを確認してください。

「電源を切れる状態にする」が●にな  
っていないときは、「電源を切れる  
状態にする」のすぐ左の○に矢印の  
先端を合わせてクリックすると●に  
なります。

一瞬「しばらくお待ちください」と表  
示されたあと、自動的にパソコン本  
体の電源が切れます。  
パソコン本体の電源が切れると電源  
ランプが消灯します。



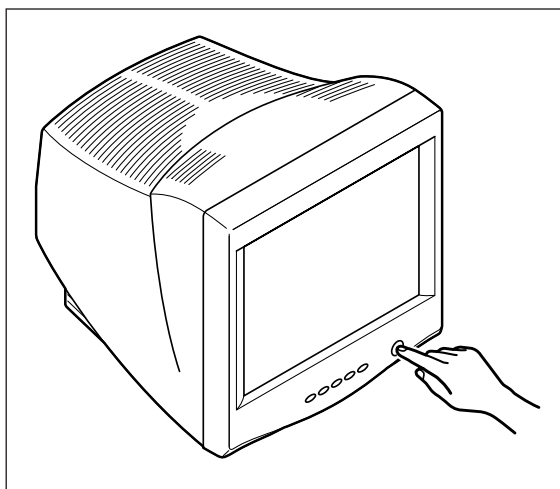
## 電源が切れなくなってしまったときは

「「スタート」からパソコンの電源を切る」(p.70)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコンの電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。

強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「「スタート」からパソコンの電源を切る」(p.70)の手順で正しく電源を切り直してください。

### ● CRT ディスプレイの電源を切る

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、CRT ディスプレイの場合はディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。



### ✓ チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。電源を入れ直したときに、「スキャンディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

### 📖 参照

強制的に電源を切る → 『困ったときのQ&A』PART1の「電源を入れたが / 切ろうとしたが...」

## パソコンの電源を入れ直して確認する

パソコンの電源を入れ直して、正常に動くことを確認しておきましょう。

1

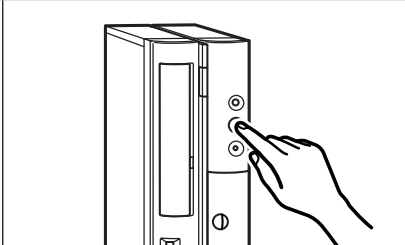
CRTディスプレイセットモデルの場合は、ディスプレイの電源ランプが点灯していることを確かめる

2

CRTディスプレイセットモデルの場合は、スピーカの電源スイッチを押す

3

パソコン本体の電源スイッチを押す

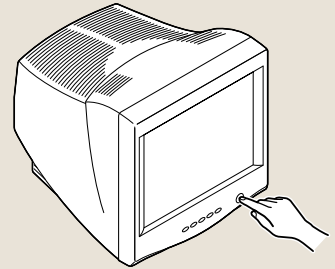


1 ~ 2 分後にこの画面が出る



NEC のマークや Windows のマークなどが出たあと、約 1 ~ 2 分で上の画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、ディスプレイの電源を入れてください。

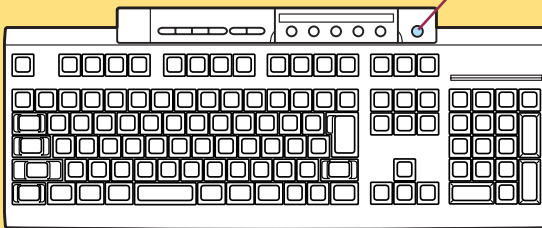


## 20分以上放置すると、画面が真っ暗になる

キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これはディスプレイをつけたままにして無駄な電力を使わないように、省電力機能が働くためです。この場合、次のいずれかの操作をすると、元に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か1つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す

【スリープ】ボタン



 参照

省電力機能→『拡張!活用! パリユースター』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」

# インターネットに接続 できることを確認する

電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続してみることができます。



## 用語

### アクセスポイント

インターネットに接続するための入り口になっている電話番号のことです。インターネットに接続するには、あなたのパソコンからアクセスポイントに電話をかけます。

## ボタンひとつでインターネットに接続

セットアップが終了し、PART2の「電話回線に接続する」で電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続することができます。キーボードの【インターネット】ボタンを押して、1回クリックするだけで、もっとも近いアクセスポイントが自動選択され、インターネットへの接続が始まります。

「インターネット無料体験」を利用するので、アクセスポイントまでの電話料金以外に費用はかかりません。さっそくインターネットに接続してみましょう。

アクセスポイントの自動選択は、NTTの「ナンバーディスプレイ（発信電話番号通知サービス）」で通知された、お客様の電話番号によって行われます。以下のような場合は、「アクセスポイントを手動選択したいとき（p.115）」の手順で、アクセスポイントを手動選択してください。

- ・NTTと、電話番号を相手に通知しない契約（「回線ごと非通知」）をしていて、そのまま電話番号を通知したくない場合
- ・電話番号を非通知にする契約をしていないが、NTTとの契約が「通話ごと非通知」になっているが、「インターネット無料体験」では自分の電話番号を通知したくない場合
- ・テレジョーズやテレチョイスなどの利用のため、特定のアクセスポイントを指定したい場合

なお、発信されたお客様の電話番号は、無料体験のアクセスポイントの自動選択のみに使用し、自動選択後、ただちに消去されます。

## 参考

インターネット無料体験→『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

## チェック!!

- ・「インターネット無料体験」はBIGLOBEとの契約を強制するものではありません。
- ・アクセスポイントを自動選択する間はフリーダイヤルで電話をかけるため、電話料金はかかりません。アクセスポイント決定後、インターネット無料体験中のアクセスポイントまでの電話料金は、お客様のご負担となります。
- ・NTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。NTTに特に指定していないときは「通話ごと非通知」になっています。
- ・NTT以外の電話会社を経由した通信では、アクセスポイントの自動選択が利用できない場合があります。その場合は、アクセスポイントの手動選択を行ってください。

インターネット無料体験の有効期間は、体験を開始した日から31日間(合計3時間)です。

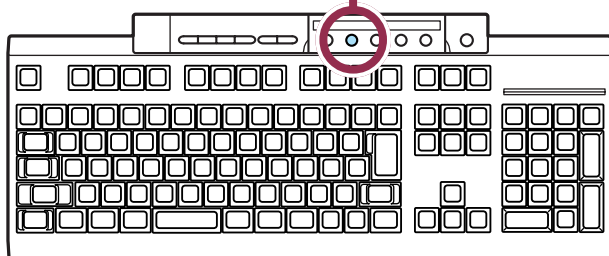
ここでインターネットに接続できることを確認すると、31日後にインターネット無料体験が利用できなくなります。すぐにインターネットを利用する予定がない場合はご注意ください。

1

電話回線の接続と、パソコンのセットアップが完了しているか確認する

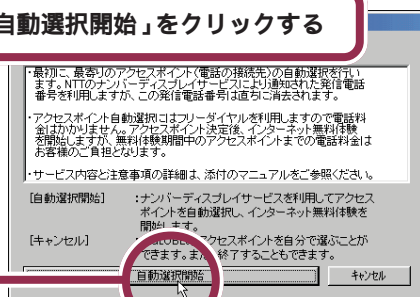
2

キーボードの【インターネット】ボタンを押す

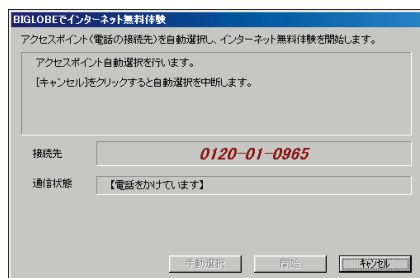


3

「自動選択開始」をクリックする



次の画面が表示され、アクセスポイントの自動選択が始まる



参照

電話回線の接続 → PART2 の「電話回線に接続する」(p.42)

デスクトップの「インターネット無料体験」をダブルクリックして「インターネット無料体験」を起動することもできます。

チェック!!

- ・インターネット無料体験を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックした後、「終了」ボタンをクリックしてください。
- ・アクセスポイントを手動で選択したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックしたあと、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.115)の手順3以降を行ってください。
- ・インターネット無料体験をまだ開始したくない場合も、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

参照

手順通りにインターネットに接続できない場合 → 付録の「こんなときは」(p.114)

それでも解決できない場合 → サポートセンタ - 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「インターネット / 通信」

4

## しばらくすると、次のいずれかの画面が表示される

- ・市内通話料金で利用できるアクセスポイントが選択された場合

市内通話料金で利用できるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。  
 暫くすると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。

アクセスポイントを変更される場合  
 →ダイヤル開始前に「手動選択」をクリックしてください。  
 アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順 5 に進んでください。

- ・市内通話料金で利用できないアクセスポイントが選択された場合

最も近所と思われるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。  
 暫くすると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。

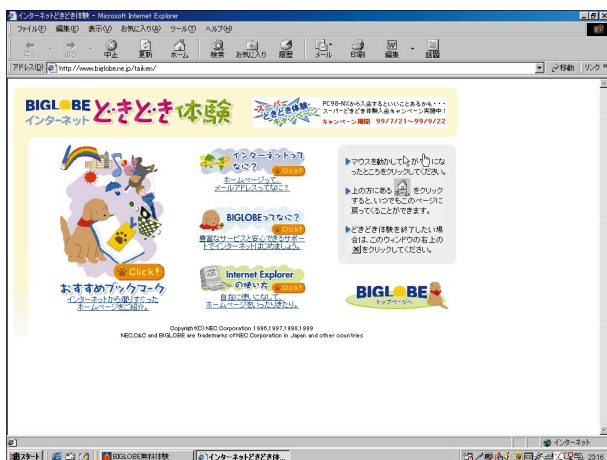
アクセスポイントを変更される場合  
 →ダイヤル開始前に「手動選択」をクリックしてください。  
 アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順 5 に進んでください。

5

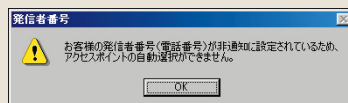
## しばらくすると、インターネットに接続される

「接続中」であることを示すウィンドウが表示された後、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。



## チェック!!

ここで次のような画面が表示されたときは、ナンバーディスプレイの契約が「回線ごと非通知」になっています。



- ・電話番号を通知しても構わないときは、「OK」をクリックして前ページの手順 3 の画面に戻り、「開始」をクリックしてください。  
 通知されるのは、アクセスポイントの自動選択時のみです。その後は非通知になります。
- ・電話番号を通知したくないときは、アクセスポイントを自動選択できません。「OK」をクリックして前ページの手順 3 の画面に戻り、「手動選択」ボタンをクリックして、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.115)の手順 4 以降を行って、アクセスポイントを手動選択してください。

## チェック!!

パソコンがホームページを表示するのに必要な情報を集めている間、画面右上のが回転( →  → )します。すべての情報を集めてそのページの表示が完了すると回転は止まります。

電話回線が混み合っている場合や、画像をたくさん使っているホームページの場合など、すべてのページを表示するまで時間がかかる場合がありますが、このが回転している間はそのまましばらく待ちましょう。それでも待ちきれないときは、をクリックすると表示を中断することができます。

## 参照

ホームページの表示を中断したい場合  
 →『たのしもう！ インターネット』PART1 の「インターネット Q&A」

6

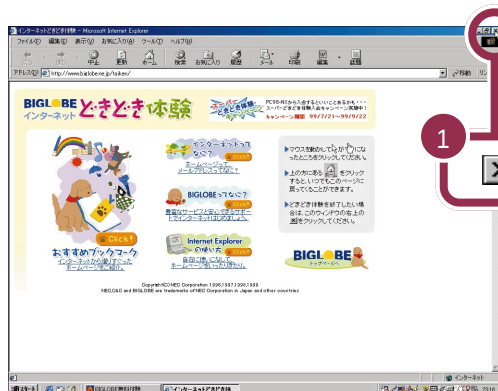
が表示されていることを確認する



画面の右下にが表示されているときには、インターネットに接続されているので電話料金がかかっています。

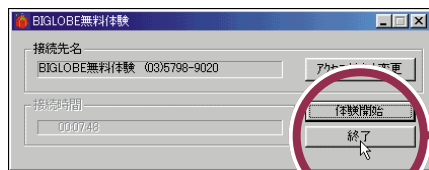
接続できることを確認したら、ここではひとまず無料体験を終了しましょう。無料体験をもっと楽しみたい人は、『たのしもう! インターネット』をご覧ください。

## インターネットを終了する



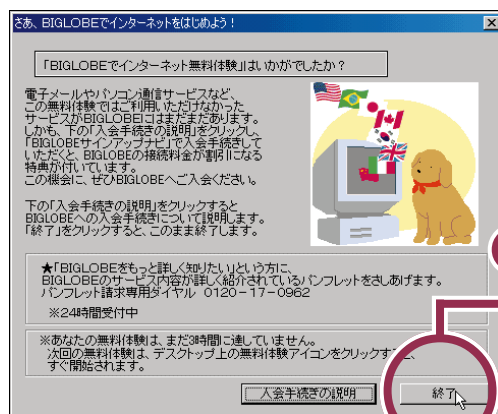
1

×(閉じる)をクリックする



2

「終了」をクリックする



3

「終了」をクリックする

✓ **チェック!!**

画面の右上に表示されているでも、インターネット接続の確認ができます。が水色に変わって回転しているときは、インターネットに接続されています。



これで電話回線が切断されました。ここから先は、電話料金はかかりません。

無料体験をもっと楽しみたい方は、『たのしもう! インターネット』をご覧ください。

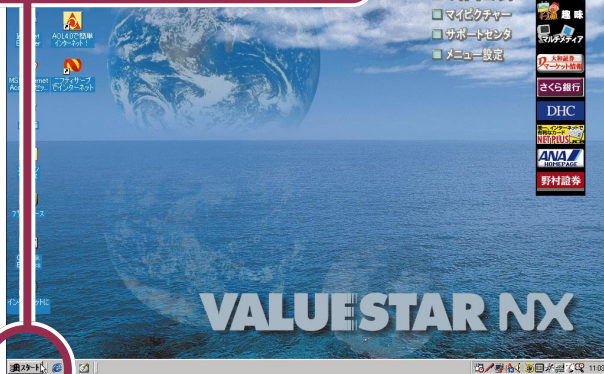


## もう一度、パソコンの電源を切る

最後に、もう一度電源を切って作業を終わりにしましょう。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする  
(マウスの左ボタンを1回押す)



### ✓チェック!!

画面の右下には、現在の時刻が表示されています。この時刻を正確に合わせることができます。

### 📖 参照

日付と時刻を合わせるには→🌐「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」



2

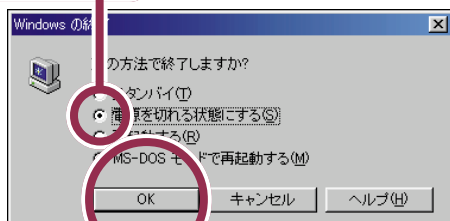
「Windows の終了」をクリックする



3

「電源を切れる状態にする」が☑になっていることを確かめる

この画面が出る



4

「OK」をクリックする

5

パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったのを確認する

CRT ディスプレイの場合は、ディスプレイの電源ランプの色が変わる  
液晶ディスプレイの場合は、ディスプレイの電源ランプが消えて、自動的に電源が切れる

6

CRT ディスプレイセットモデルの場合は、スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプが消える

一瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、CRT ディスプレイの場合は、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

#### 参照

CRT ディスプレイの電源を切る→このPARTの「CRT ディスプレイの電源を切る」(p.72)

## 最初は、パソコン内部の設定を変更できないモードになっている

このパソコンは、購入したままの状態では、誤ってパソコン内部の設定を変更してしまうことがないように「ベーシックモード」という状態で起動されます。「ベーシックモード」では、パソコン内部の細かな設定を変更することができません。これらの設定を変更する場合、CyberTrio-NXというソフトを使って「ベーシックモード」から「アドバンスモード」に変更する必要があります。

 参照

CyberTrio-NX →  「サポートセンター」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」

## 必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが入っています。CyberWarner-NXは、パソコンの動作に影響を与えるファイルが誤って削除されたり変更されないようにします。VirusScanは、フロッピーディスクやインターネットを経由してウイルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)が感染することを防ぎます。必要に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。

 参照

CyberWarner-NX →  「サポートセンター」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」  
VirusScan →  「サポートセンター」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」

## 大切なデータは、バックアップをとる

自分が作ったデータは、一度消えてしまうと元に戻すことができません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。

 用語

### バックアップ

万一、データが消えてしまっても良いように、他のドライブやメディア(フロッピーディスクなど)にデータを複製しておくこと。

 参照

バックアップ → 『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」

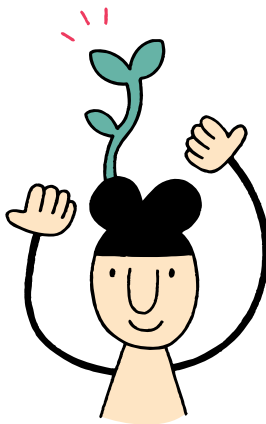


P A R T

# 4

## パソコン本体の操作を覚える

パソコンを操作するときは、決まった手順を守る必要があります。電源の入れ方、切り方やキーボードの【スリープ】ボタンの使い方、音量の調節など、まずはいちばん基本的な操作をマスターしてください。



# 各部の名称と役割を覚えよう

ここでは、本体各部の名称と働きを説明します。操作方法について詳しくは、p.86 からの手順や他のマニュアルで説明しています。



## ● パソコン本体

DVD-ROMドライブ (DVD-ROMモデルの場合)

CD-RWドライブ (CD-RWモデルの場合)

CD-ROM や DVD-ROM (DVD-ROM モデルのみ)、音楽用 CD などをセットするところです (→ 「CD-ROM などの扱い方」(p.93))

フロッピーディスクドライブ

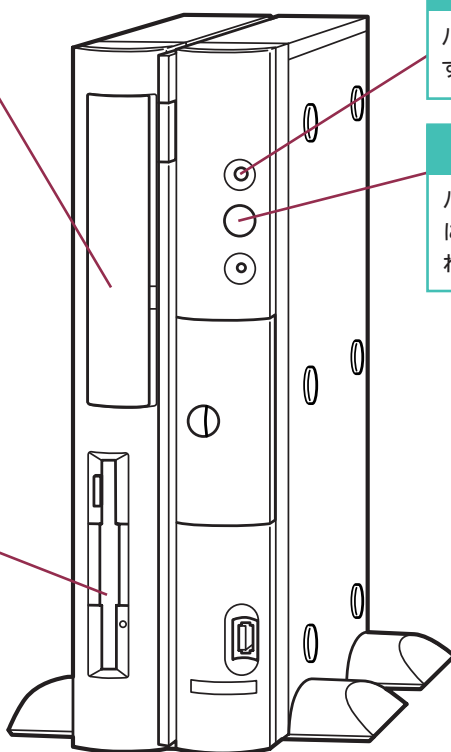
フロッピーディスクをセットするところです (→ 「フロッピーディスクの扱い方」(p.98))

電源ランプ

パソコン本体の電源の状態を表わすランプです。

電源スイッチ (パソコン本体)

パソコン本体の電源を入れるときに押すボタンです (→ 「電源の入れ方と切り方」(p.86))



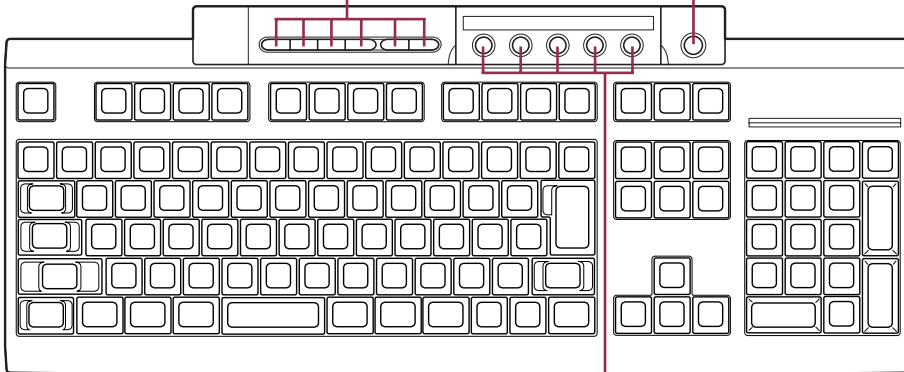
## ● キーボード

### CD/DVD 制御ボタン

音楽 CD や DVD VIDEO ディスクの操作、音量の調節ができます(→「音量を調節する」(p.92))。

### 【スリープ】ボタン

作業を一時的に中断したり、再開したりするときに使うボタンです(→「一時的に作業を中断する(スタンバイ)」(p.89))。



### ワンタッチスタートボタン

ボタンを押すだけで、アプリケーションの起動などが行えます。

【メール】ボタン→『たのしもう! インターネット』

【インターネット】ボタン→『たのしもう! インターネット』

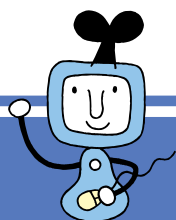
【サポートセンタ】ボタン→「サポートセンタを見てみよう」(p.104)

【ランチ-NX】ボタン→『練習! パソコンの基本』

【ソフト終了】ボタン→ ソフトを終了します。

TV モデルでは【テレビ】ボタンになります  
(→『TV モデルガイド』)。

# 電源の入れ方と切り方



正しい電源の入れ方と切り方を、もう一度復習してみましょう。大切なデータやパソコンを守るために、正しい手順で操作してください。

## 電源を入れる

1

CRT ディスプレイセットモデルの場合は、ディスプレイの電源ランプを確認する

- CRT ディスプレイの電源ランプが点灯していたら

ディスプレイの電源は入っています。  
次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。

- CRT ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら

ディスプレイの電源が入っていません。  
まずディスプレイの電源を入れてください。

2

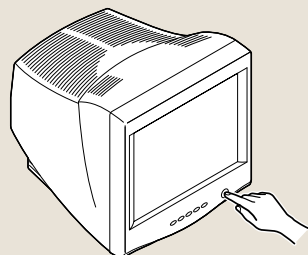
スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

3

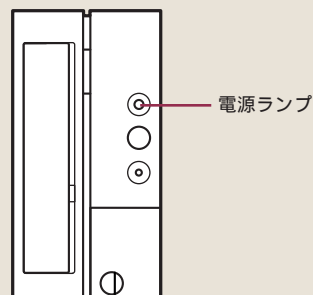
パソコン本体の電源を入れる



液晶ディスプレイセットモデルの場合は、ディスプレイの電源はパソコン本体から供給されます。パソコン本体の電源を入ると、ディスプレイの電源も入ります。



パソコン本体の電源が入っているときには、電源ランプが緑色に点灯します。



## 電源を切る

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする



スタートメニューが表示される

2

「Windows の終了」をクリックする



### チェック!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。

電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作してください。

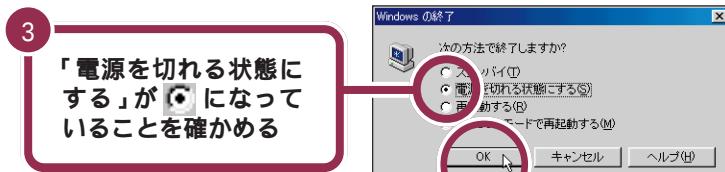
矢印を合わせ、マウスを止めたままにしておくと「このボタンから始めます」と表示されます。そのまま5秒ぐらいたつと、この表示は自動的に消えます。

### 用語

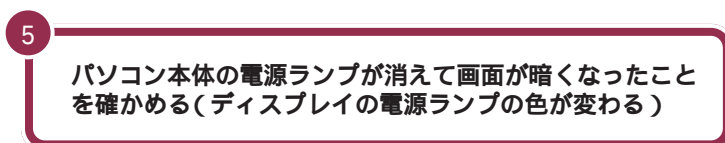
#### スタートメニュー

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを1回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windowsの終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

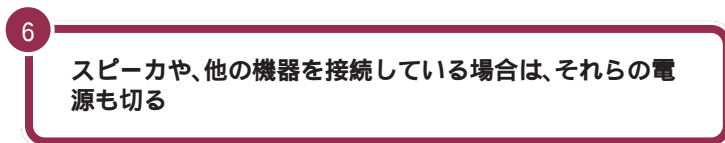
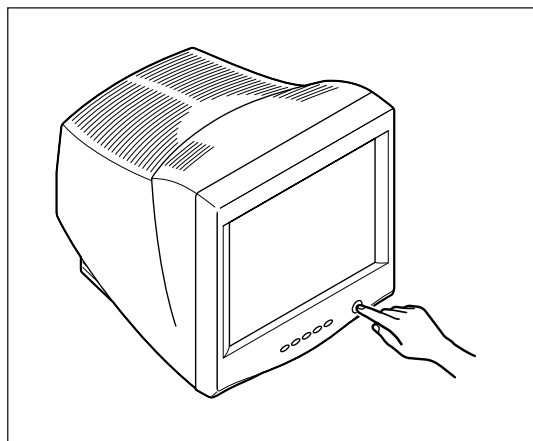
画面中央に、これが表示される



「Windowsを終了しています」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。パソコン本体の電源ランプも消えます。



パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイも真っ暗になりますが、CRTディスプレイの場合は電源が切れたわけではありません。就寝時や外出時などには、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。



### ✓ チェック!!

矢印がスタートメニューの中を上下すると、矢印の位置に青い帯が表示されます。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、マウスを動かしてください。

### ✓ チェック!!

「スタンバイ」「再起動する」や「MS-DOS モードで再起動する」の前に  が表示されているときは、「電源を切れる状態にする」の前の  に矢印を合わせてクリックしてください。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、ディスプレイの電源も自動的に切れ、ディスプレイの電源ランプが消えます。

# 一時的に作業を 中断する(スタンバイ)

休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、作業を中断して画面を消しておくことができます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。

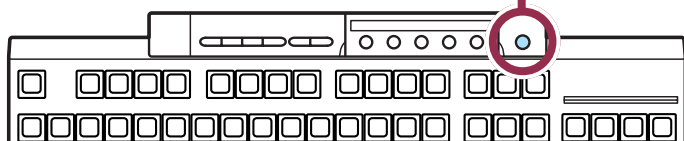
## 用語

### スタンバイ

パソコン画面の表示を一時的に中断したり、パソコン本体の消費電力を抑える機能です。スタンバイのことをサスペンドと呼ぶこともあります。同じ意味です。

## パソコンをスタンバイ状態にする

キーボードの【スリープ】ボタンを押す



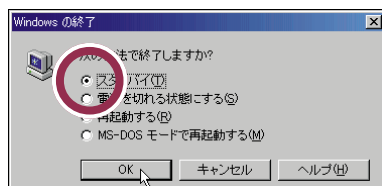
画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。パソコンがスタンバイ状態になると、消費電力が低く抑えられます。

### ●自動的にスタンバイ状態になる

購入時の設定ではキーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くとスタンバイ状態になり、自動的に画面が暗くなります。

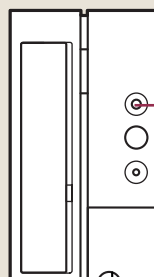
### ●「Windows の終了」の画面からスタンバイ状態にする

「Windows の終了」の画面からスタンバイを選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなり、パソコンがスタンバイ状態になります。



## ✓チェック!!

パソコンの電源が切れているとき(電源ランプが消えているとき)には、【スリープ】ボタンは働きません。【スリープ】ボタンは、パソコンの電源が入っているときに押してください。



電源ランプ

## ✓チェック!!

- ・スタンバイに対応していないアプリケーションや周辺機器を使用すると、復帰できなかったり、正常に動作しない場合があります。この場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- ・プリンタの使用、インターネットに接続中、CD-ROM の読み込みなどにスタンバイ状態にすると、正しく復帰できない場合があります。

## スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには次のいずれかの操作を行ってください。しばらくすると、スタンバイ状態にする前の画面に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か1つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す

## 📖 参照

スタンバイ状態について→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」

# デスクトップってなに？

このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。デスクトップには、次のようなものが表示されています。画面をクリックしたりしないで、まずは、どんなものがあるかを見てください。



このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows 98は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows 98の顔なのです。

## アクティブメニュー NX

デスクトレイとショットメニューに分かれています。上側のデスクトレイには、電話回線の接続状態や、電子メールの着信をひとめで確認できるアイコンがあります。下側のショットメニューは、項目をクリックするだけでアプリケーションを簡単に起動したり、写真などの画像ファイルや作成した文書を一覧表示したりできます。詳しくは、『練習！パソコンの基本』をご覧ください。



デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。



サポートセンターこのPARTの「サポートセンタ」を見てみよう (p.104)



## 「マイコンピュータ」

マイコンピュータはあなたのパソコンです。「ハードディスク」や「CD-ROM」の中身を見ることができます。



## 「マイドキュメント」

アプリケーションを使って自分が作ったファイルを保存できます。



## 「ごみ箱」

いらないファイルやフォルダは、このごみ箱に捨てます。



## 「スタート」

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、アプリケーションを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows 98を終了したりすることができます。



マイコンピュータ



マイドキュメント



ごみ箱



オンラインサービス



フォルダ



Outlook Express



インターネットに接続



インターネットに接続



インターネットに接続



インターネットに接続



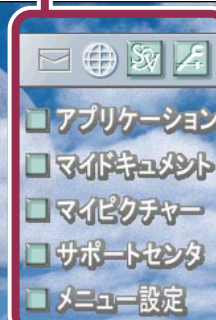
インターネットに接続



インターネットに接続

## アイコン

アプリケーションなど、よく使うファイルが、小さい絵(アイコン)で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、アプリケーションを起動したり、ファイルを開くことができます。



## PCポータル

インターネット上のさまざまな情報への入り口です。

クリックするだけで、4つのジャンル別メニューと、各企業のご紹介情報コーナーへアクセスできます。

詳しくは、「サポートセンタ」の「添付ソフトの使い方」をご覧ください。



インターネット接続の準備ができていない場合は、それぞれ次のようなページが表示されます。

- ・ジャンル別メニューをクリックしたとき→ハードディスクに保存されている、各ジャンルに応じた企業別のご紹介ページのリンク集
- ・各企業別の絵柄部分をクリックしたとき→ハードディスクに保存されている、各企業別のご紹介ページ

## クイック起動ツールバー

アイコンをクリックすると、アプリケーションが起動します。

はインターネットに接続していないと使えません。

## タスクバー

デスクトップのいちばん下には、タスクバーが表示されています。起動しているアプリケーションや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。

## インジケータ領域(タスクトレイ)

音量や日本語入力や画面の設定のためのアイコンが並んでいます。アイコンはそれぞれ、クリックで設定メニューを表示したり、アプリケーションの状態を表示したり、いろいろな働きをします。詳しくは「サポートセンタ」で、各アプリケーションの使い方をご覧ください。

# 音量を調節する



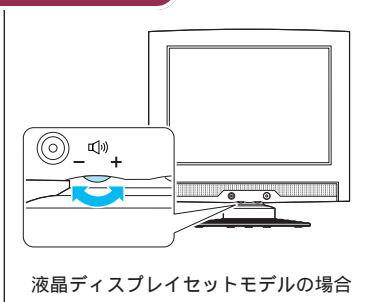
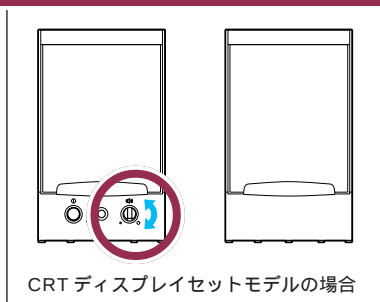
パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

## ●スピーカーで調節する

1

### スピーカのボリュームつまみを回す

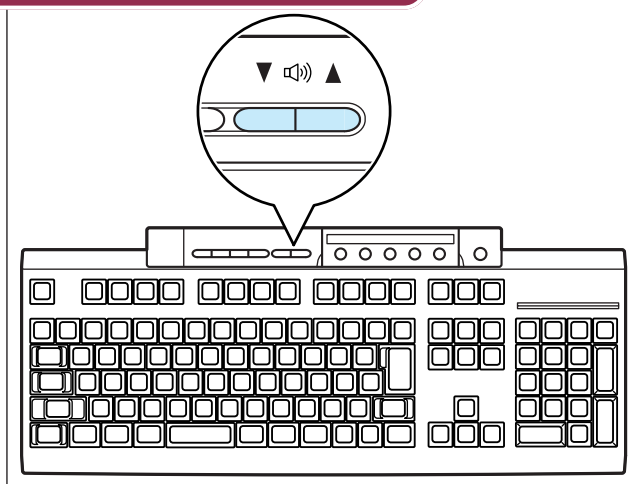
右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。



## ●キーボードで調節する

1

### 【▲】ボタンまたは【▼】ボタンを押す

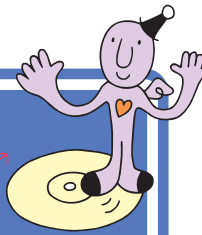


【▲】ボタンを押すと音が大きくなり、【▼】ボタンを押すと音が小さくなる

### ✓ チェック!!

スピーカのボリュームつまみが最小の位置になっていると、【▲】ボタンを押してもスピーカからの音は、大きくなりません。

## CD-ROM などの 扱い方



このパソコンのCD-ROMドライブ(またはDVD-ROMドライブ/CD-RWドライブ)で使えるディスクの種類や取り扱いの注意、CD-ROMのセットのしかたを説明します。

### このパソコンのCD-ROMドライブで使えるディスク

このパソコンのCD-ROMドライブ(またはDVD-ROMドライブ/CD-RWドライブ)では、次のようなディスクを使えます。

| 種類                | 概要                                                                                       |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| CD-ROM            | パソコンで見るための情報が入ったCD。本機で使えるのは「Windows 98」または「Windows 95」対応のCD-ROMで、「Macintosh専用」のものは使えません。 |
| CD-R/<br>CD-RW    | データ書き込みが可能なCD。CR-RWモデルでは、書き込みもできます。その他のモデルでは読み込みのみできます。                                  |
| 音楽CD              | 一般の音楽CDのことです。                                                                            |
| ビデオCD/<br>カラオケCD  | 音声と動画が記録されたCDです。                                                                         |
| フォトCD             | 写真を記録したCDです。                                                                             |
| DVD-ROM           | CD-ROMの約8倍の量のデータを記録できるディスクです。百科事典や地図が記録されているものなどがあります。DVD-ROMモデルの場合のみ使えます。               |
| DVD-Video<br>ディスク | 映画やドキュメンタリーが高画質、高音質で記録されているDVDです。DVD-ROMモデルの場合のみ使えます。                                    |

Windows 95 対応のほとんどのCD-ROMはWindows 98で使うことができます。まれに使うことのできないCD-ROMもあるので購入前に確認してください。

MacintoshでもWindowsでも使えるように作られた「ハイブリッドCD」というCDもあります。

### CD-ROM、DVD-ROM、CD-RWの取り扱い上の注意

- ・ケースから出すときは、ケースの中央部分を押しながら取り出します。
- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・表面にラベルを貼ったり、文字を書いたり、傷を付けたりしないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
- ・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

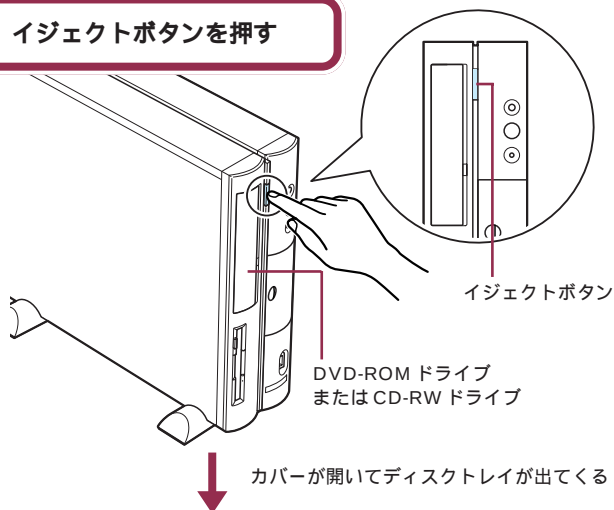
使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。

## CD-ROMの入れ方と出し方

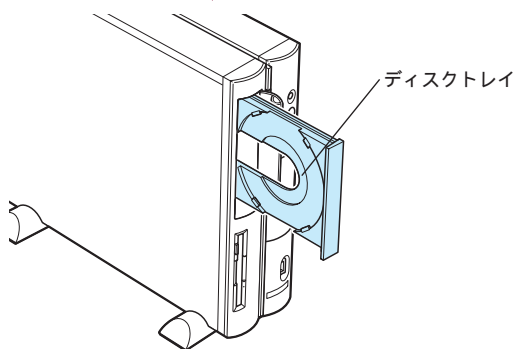
### ● CD-ROM、DVD-ROM、CD-RWを入れる方法

1

イジェクトボタンを押す

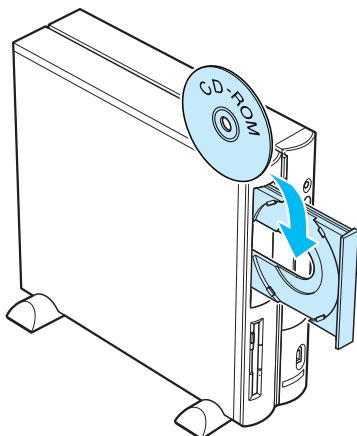


カバーが開いてディスクトレイが出てくる



2

CD-ROMのラベル面(文字などが印刷されている面)を左にしてディスクトレイの下にあるツメにひっかかるように収める



DVD-ROMモデルには、DVD-ROMドライブが搭載されています。CD-RWモデルにはCD-RWドライブが搭載されています。DVD-ROM、CD-RWも基本的な取り扱い方はCD-ROMと同じです。

#### ✓チェック!!

- ・ ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。
- ・ DVD-ROMドライブまたはCD-RWドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れる場合があります。

#### 📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『困ったときのQ&A』PART1の「その他...」

#### ✓チェック!!

- ・ CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。次ページを見て、あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。
- ・ パソコン本体を縦置きにするとCDシングル(直径8cmのCD)は使えません。また故障の原因になりますので市販のCDシングル用アダプタは使わないでください。CDシングルを再生したいときは、スタビライザを外して、本体のゴム足が下になるよう(横置き)に置いてください。

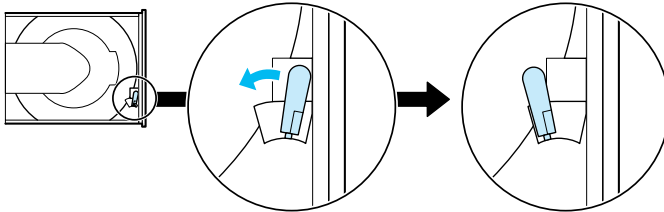
#### 📖 参照

スタビライザの外し方→『拡張!活用!バリュースター』PART2の「本体の開け方と閉め方」

CD-ROMをセットするときは、CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。

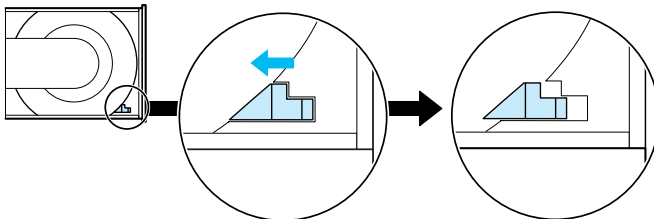
#### ● A タイプの場合

ツメを出します。



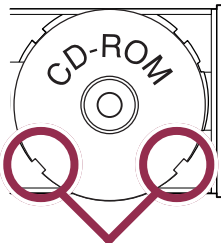
#### ● B タイプの場合

ツメを出します。



#### ● C タイプの場合

ツメを出す必要はありません。そのままの状態でお使いください。



ここのツメで押さえる

#### ● D タイプの場合

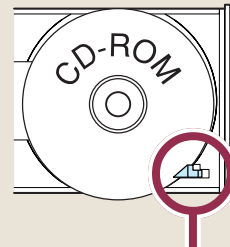
ツメを出す必要はありません。そのままの状態でお使いください。



ここのツメで押さえる



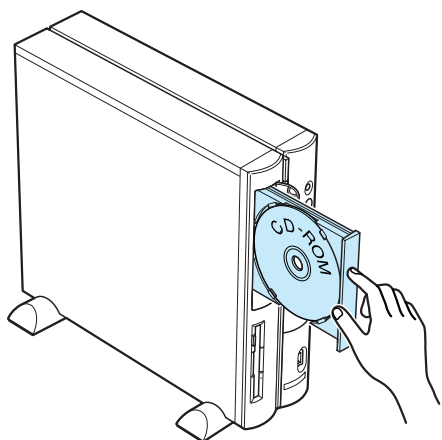
ここのツメで押さえる



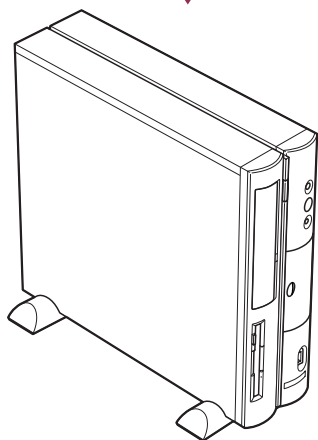
ここのツメで押さえる

3

ディスクトレイを軽く押す



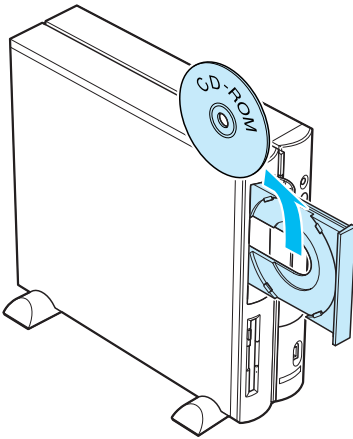
ディスクトレイが収納されて  
カバーも閉じる



● CD-ROMを取り出す方法

1 イジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイから CD-ROM を取り出す



3 ディスクトレイを軽く押す

ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

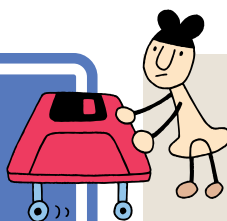
✓ チェック!!

- ・ ディスクトレイから取り出すときに、CD-ROM を落としたり、キズつけたりしないように注意してください。
- ・ CD-ROMを取り出した後、ディスクトレイのツメを元に戻す必要はありません。

📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『困ったときのQ&A』PART1の「その他...」

# フロッピーディスクの扱い方



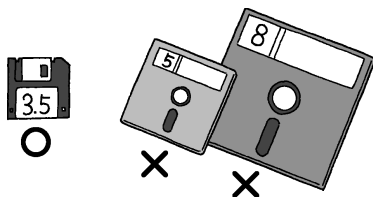
フロッピーディスクにもいろいろな種類があります。このパソコンで使えるフロッピーディスクの種類と取り扱いの注意、フロッピーディスクのセットのしかたを説明します。

## このパソコンで使えるフロッピーディスク

フロッピーディスクを買うときには、「大きさ」「容量」「フォーマット」という3つのポイントを確認します。

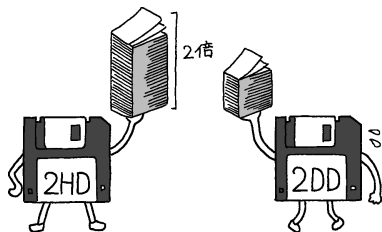
### • 大きさ

このパソコンで使えるのは、3.5 インチのフロッピーディスクだけです。



### • 容量

3.5 インチのフロッピーディスクには、「2HD」と「2DD」という2種類のタイプがあり両方のタイプを使うことができます。「2HD」タイプのフロッピーディスクには、「2DD」タイプのフロッピーディスクの約2倍の情報を入れることができます。それほど価格も変わらないので、「2HD」タイプをお使いになることをおすすめします。



### • フォーマット

「フォーマット」とは、「フロッピーディスクで使えるようにする」作業のことです。

お店で売られている「フォーマット済みのフロッピーディスク」にもいくつかの種類があります。未フォーマットのフロッピーディスクを含めて整理すると、次のように分類されます。

### ✓ チェック!!

2DD には、容量が 720KB (キロバイト) のものと 640KB のものがあります。640KB のものはこのパソコンでは使えません。

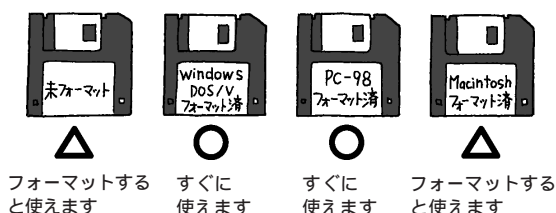
2HD には容量が 1.44MB のものと 1.25MB のものがあります。このパソコンでは、1.25MB のものを読み書きすることはできますが、1.25MB でフォーマットすることはできません。

### 用語

#### フォーマット

フロッピーディスクやハードディスクなどをパソコンで使える状態にする作業。「初期化」ともいいます。フォーマットされていないディスクには、なにも保存できません。

- ・未フォーマットのフロッピーディスク
- ・Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスク
- ・PC-98 用フォーマット済みのフロッピーディスク
- ・Macintosh 用フォーマット済みのフロッピーディスク



ポイント

フロッピーディスクは、「3.5 インチ 2HD タイプ Windowsフォーマット済みフロッピーディスク」または「3.5 インチ 2HD タイプ DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」がおすすめ。

## フロッピーディスクの取り扱い上の注意

### ●磁石に注意

フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。特に注意していただきたいのは磁石です。フロッピーディスクは、磁力で情報を記録しているので、磁石を近づけると、簡単に内容が消えてしまいます。

磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。また、ホワイトボードの磁石なども要注意です。

### ●その他の注意

- ・シャッターを開けて、中のディスクには触れないでください。
- ・ラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
- ・ラベルは正しい位置に貼ってください。
- ・飲食、喫煙しながら使わないでください。
- ・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- ・ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。
- ・汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。

Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスクと PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスクは容量(ディスクの中に保存できる情報量)が異なります。前者の容量は約 1.44 MB(メガバイト)、後者の容量は約 1.25 MB です。

フォーマットについては、「パソコン大学一年生 for Windows98」-「第二章 ファイルを管理しよう」の「第 10 節 フォーマット」で勉強できます(一太郎モデル、Office2000 モデルのみ)。

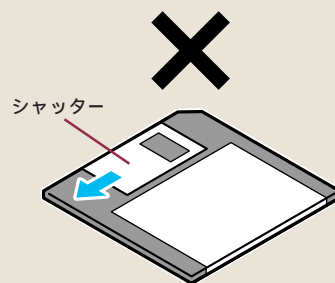
参考

パソコン大学の使い方 → サポートセンタ → 「パソコンを使いこなそう」-「練習! パソコンの基本」

フロッピーディスクの取り扱いに関する一般的な注意については、フロッピーディスクのケースに入っている説明書をご覧ください。

参考

フロッピーディスクの扱い方 → 『拡張!活用! バリユースター』PART 10 の「フロッピーディスク」



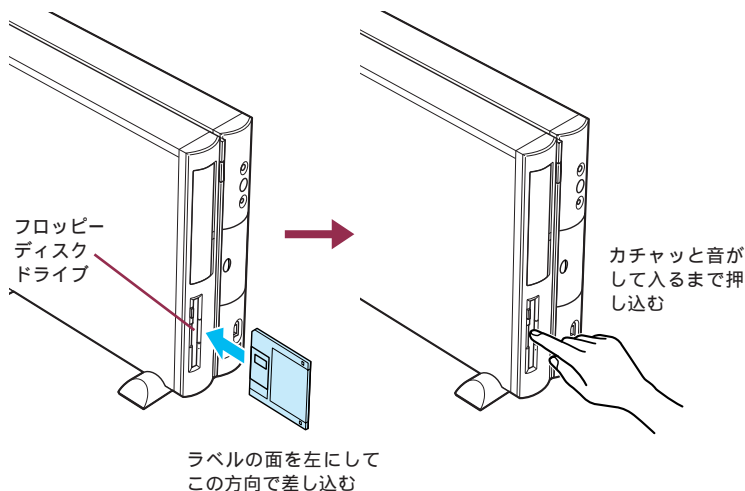
## フロッピーディスクの入れ方と出し方

フロッピーディスクを用意して、次の図のように本体のフロッピーディスクドライブに差し込みます。

### • フロッピーディスクを入れる方法

1

フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを入れる

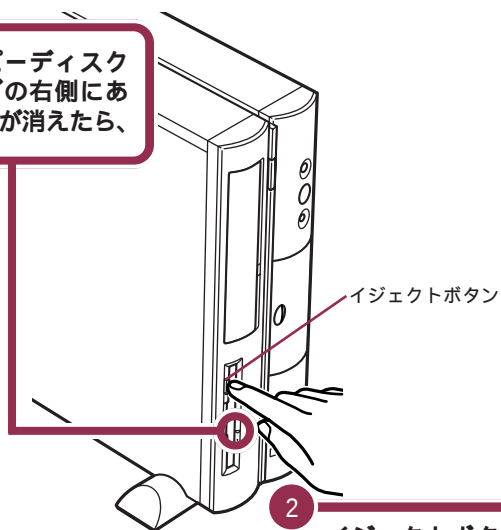


### • フロッピーディスクを取り出す方法

フロッピーディスクドライブのランプが消えていることを確認して、フロッピーディスクを取り出します。

1

フロッピーディスクドライブの右側にあるランプが消えたら、



2

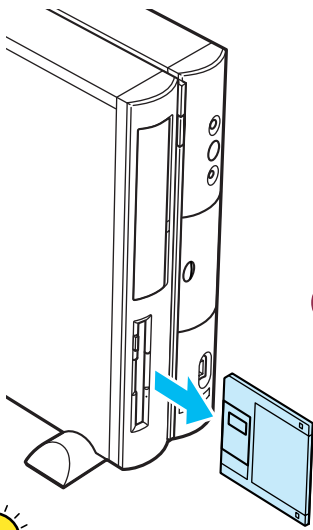
イジェクトボタンを押し込んで、

### ✓ チェック!!

- ・ フロッピーディスクは、パソコンの電源を入れてWindows 98が起動したあとでセットしてください。
- ・ このパソコンに添付されているフロッピーディスクは練習には使わないでください。

### ✓ チェック!!

フロッピーディスクドライブの右には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。



3  
フロッピーディスク  
を引き出す

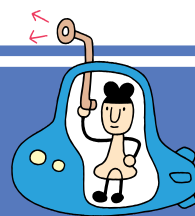


ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの右のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

# 他のマニュアルに進んでみる

ここでは、他のマニュアルの紹介をします。パソコンの接続と準備が  
終わったら、次は自分の目的に合ったマニュアルに進みましょう。



## とにかく、インターネットを楽しみたい！



### たのしもう! インターネット

さっそくインターネットを利用をしたい、いちばん興味があるのはインターネットだ、という方は、このマニュアルをご覧ください。

- ・ホームページ紹介などが満載! インターネットの魅力がわかる巻頭特集
- ・面倒な手続きなしですぐに接続できるインターネット無料体験
- ・オススメのプロバイダ BIGLOBE への入会手続き
- ・ネットサーフィンのコツ
- ・電子メールの出し方と受けとり方、自動受信のしかた

## パソコンの使い方がよく分からない、覚えたい！



### 練習! パソコンの基本

パソコンを使った経験がなくても大丈夫。このマニュアルで、パソコンの基本的な使い方や知識を勉強できます。本当にパソコンが使えるかどうか不安に思ったら、このマニュアルから始めてみましょう。

- ・マウスやキーボードの操作、文字入力のしかた
- ・アプリケーションの紹介
- ・パソコンやソフトについての豆知識
- ・パソコン利用の心得、お手入れ方法

## パソコンがおかしい! 壊れてしまった!?



### 困ったときのQ&A

なにか困ったことが起きたら、まずは落ち着いて、とにかくこのマニュアルを読んでみてください。さまざまなトラブルの対処法が詳しく書かれています。

- ・トラブルの状況別 Q&A
- ・買った直後の状態に戻す(再セットアップ)
- ・修理、交換、譲渡などに関する情報

次のページで紹介している「サポートセンタ」にも、トラブルの状況別のQ&Aやお客様サポート窓口一覧があります。

## パソコンに機器をつなぎたい！ もっとパソコンを使いこなしたい！



### 拡張!活用! パリユースター

プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器についてと、ハードウェアの設定方法について詳しく書かれています。さらにパソコンを使いこなしたい、という方に役立つマニュアルです。

- ・このパソコンで使える周辺機器の紹介
- ・機器の取り付け方、設定方法、使い方
- ・うまく動かないときの対処法
- ・マウス、キーボード、ディスプレイなどの設定方法
- ・パソコン本体の機能の詳しい説明

## アプリケーションの使い方や、本機の機能について知りたい！



### サポートセンタ

サポートセンタは、パソコンの画面で見るマニュアルです。使い方については、次ページの「サポートセンタを見てみよう」で説明しています。

- ・目的に合わせたアプリケーションの操作方法
- ・トラブルの予防法
- ・アプリケーションの追加と削除のしかた
- ・困ったときの対処方法
- ・サービスやサポートについて

## 他にもこんなマニュアルがあります



### Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド

Windows の基本的な使い方が書かれています。



### NEC PC あんしんサポートガイド

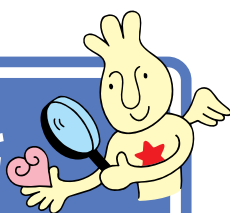
問い合わせ先を探すときなどに使う「サポートのためのご案内」です。

## アプリケーションのマニュアルなど

このパソコンにインストールされているアプリケーションのマニュアルもあります。

なお、各アプリケーションの紹介や基本的な使い方については、「サポートセンタ」の「パソコンを使いこなそう」で説明しています。

# サポートセンタを 見てみよう



「サポートセンタ」では、このパソコンに入っているアプリケーションの紹介や操作手順の説明をしています。また、サポート窓口一覧や困ったときのQ&Aもあります。

## サポートセンタを始める

1

「サポートセンタ」をクリックする



「サポートセンタ」の画面が表示されます。サポートセンタには、大きく分けて3つの項目があります。各項目をクリックすると、内容が表示されます。

このパソコンのハードウェア情報やアプリケーションの紹介、アプリケーションの操作方法などを説明しています(→ p.106)。

サポートセンタを操作するボタンです  
(→次ページ)

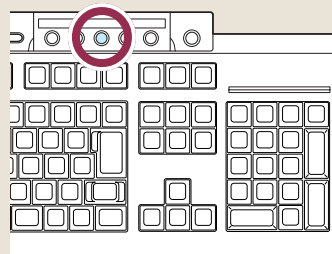
インターネットの接続  
状況を表しています。



トラブル解決のためのQ&Aや、アプリケーションの追加と削除のしかたなどを説明しています(→ p.109)。

このパソコンやアプリケーションの問い合わせ先の一覧です。

キーボードの【サポートセンタ】ボタンをクリックしても、サポートセンタを起動できます。



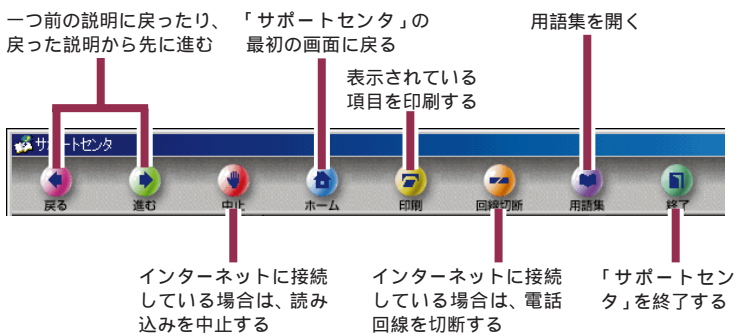
### 参照

詳しい使い方は→「サポートセンタ」「パソコンを使いこなそう」「ヘルプ」

### チェック!!

サポートセンタの項目の中には、クリックすると、「ダイヤルアップ接続」のウィンドウが表示されるものがあります。これは、インターネットへ接続しようとしていることを表します。インターネットへ接続すると、プロバイダへの接続料金や電話料金(どちらもお客様のご負担)がかかります。説明を見終わったら、必ず「回線切断」ボタン(→次ページ)をクリックして、回線を切断してください。一度インターネットに接続されると、自分で回線を切断しない限り、サポートセンタを終了するまで、回線が接続されたままになり料金がかかります。ご注意ください。

## ●「サポートセンタ」の各ボタンの機能



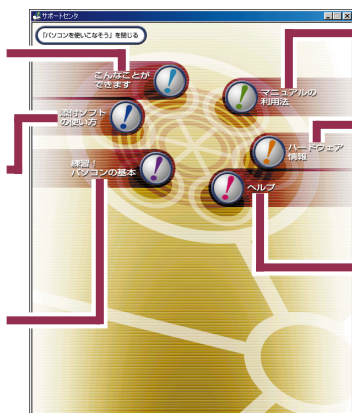
## 「パソコンを使いこなそう」を見る

「パソコンを使いこなそう」には、6つの項目があります。

どんなときにどのアプリケーションを使えばいいのかわかり、目的別に紹介しています。

このパソコンに入っているアプリケーションの操作方法を説明しています(→次ページ)。

パソコンの練習ができるアプリケーションの起動ができます。



添付されているマニュアルを紹介しています。

このパソコンのATコマンド一覧があります。

「パソコンを使いこなそう」の詳しい使い方を説明しています。

ここでは、そのうちの2つを紹介します。

### ●「こんなことができます」

ここでは、このパソコンで、どんなことができるのか、添付されているほとんどのアプリケーションを紹介しています。



1 「こんなことができます」をクリックする

項目の一覧が表示されます。

アプリケーションは13の項目に分かれています。



2 見たい項目をクリックする

### 「こんなことができます」の13の項目

各項目ではこのパソコンに添付されているアプリケーションの紹介をしています。

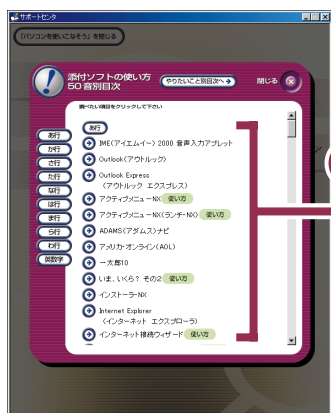
- ・案内状や手紙などを作る
- ・表やグラフを作る、家計簿をつける
- ・インターネットをはじめる
- ・インターネットを使いこなす
- ・インターネットの設定を変更する
- ・ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ
- ・音楽CDやDVD、テレビを楽しむ
- ・写真や絵、ビデオを加工する
- ・FAXを送る、電話番号を調べる
- ・パソコンの使い方を学ぶ、パソコンで学ぶ
- ・パソコンを守る
- ・パソコンの設定をする
- ・ちょっとした小道具

## ●「添付ソフトの使い方」



1  
「添付ソフトの  
使い方」をク  
リックする

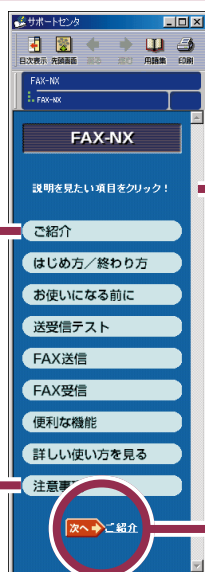
↓  
五十音別一覧が表示される



2  
説明を見たいアプリケー  
ション名をクリックする

「やりたいこと別目次へ」をク  
リックすると、やりたいこと別  
にアプリケーションをまとめた  
一覧に切り替わります。

3  
見たい項目をクリックする



ここにグレーの棒(スクロー  
ルバー)が表示されたときは、  
スクロールして画面の最後ま  
で表示させる

4  
「次へ」または「続き」を  
クリックする  
次の説明項目が表示されます

## 「添付ソフトの使い方」で詳しい使 い方を説明しているアプリケー ション

- ・アクティブメニュー NX
- ・いま、いくら? その2
- ・インターネット接続ウィザード
- ・インターネット接続のバックアップ
- ・VirusScan
- ・英語モードフォント
- ・駅すばあと
- ・AngelLine
- ・CyberCoach-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberWarner-NX
- ・ThumbsStudio
- ・CD ランチ
- ・システムファイルチェッカー
- ・スキャンディスク
- ・大自然の驚異～南米・パタゴニア～
- ・Timer-NX
- ・ダイヤルアップネットワーク
- ・DVD プレーヤ
- ・ディスククリーンアップ
- ・てきぱき家計簿mam 2Plus
- ・デフラグ
- ・テレフォニー
- ・Hatch inside
- ・バックアップ-NX
- ・ハローキティのハッピーメール
- ・PC ポータル
- ・BIGLOBE かんたん設定ナビ
- ・FAX-NX
- ・筆王
- ・プレーヤ-NX
- ・PostPet
- ・ホームページスクラップブックEX
- ・翻訳アダプタ CROSSROAD
- ・MapPlayer-NX
- ・メンテナンスウィザード
- ・ランチ-NX
- ・ワンタッチスタートボタンの設定

## 参照

スクロールのしかた → PART 3 の  
「セットアップを完了させる」(p.65)

5

## アプリケーションを起動する

「パソコンを使いこなそう」の「添付ソフトの使い方」では、アプリケーションを使いながら操作の説明を読むことができます。



アプリケーションの画面      ここに操作の説明が表示される

### ●「添付ソフトの使い方」のその他の機能

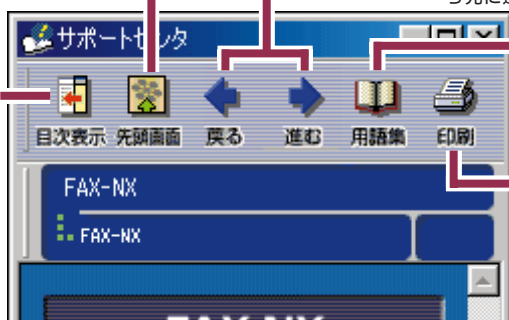
先頭の目次の画面に戻る

一つ前の説明に戻ったり、戻った説明から先に進む

目次の画面を開く

用語集を開く

表示されている項目を印刷する



### ●「用語集」を使う

「添付ソフトの使い方」の中に「用語集」ボタンがあります。マニュアルや「サポートセンタ」の中でわからない言葉を調べることができます。

右側にアプリケーションの使い方のウィンドウが表示されます。アプリケーションのウィンドウが隠れて見えないときは、重ならないようにウィンドウを動かしてください。

#### 参照

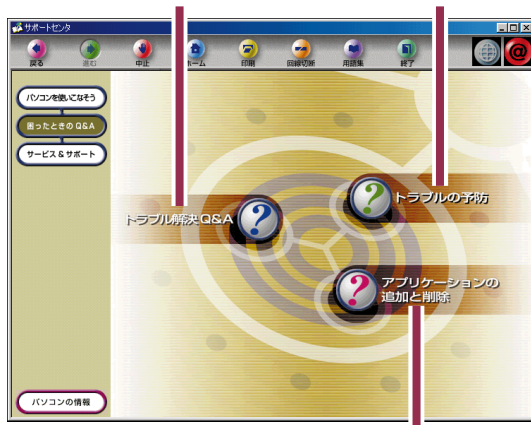
ウィンドウの動かし方→『練習! パソコンの基本』「PART2 ウィンドウの扱いをマスターしよう」

## 「困ったときのQ&A」を見る

「困ったときのQ&A」には、大きく分けて3つの項目があります。

さまざまなトラブルの解決方法を説明しています。

トラブルを予防するアプリケーションの説明です。ここから起動することもできます。



添付されているアプリケーションの追加と削除のしかたです。

### ●「トラブル解決Q&A」

1

「トラブル解決Q&A」をクリックする



2

見たい項目を選んでクリックする



スクロールさせると、項目の続きが表示されます。

項目をスクロールしていくと、下のほうに「解決のしかた」が表示されます。ここをクリックすると、トラブルが起こったときの対処のしかた、手順について確認できます。項目のいちばん下にある「追加情報」をクリックすると、より詳細なQ&A情報や最新情報をご覧になれます。

### 参考

スクロールのしかた → PART 3 の「セットアップを完了させる」(p.65)

3

表示された内容を選んでクリックする

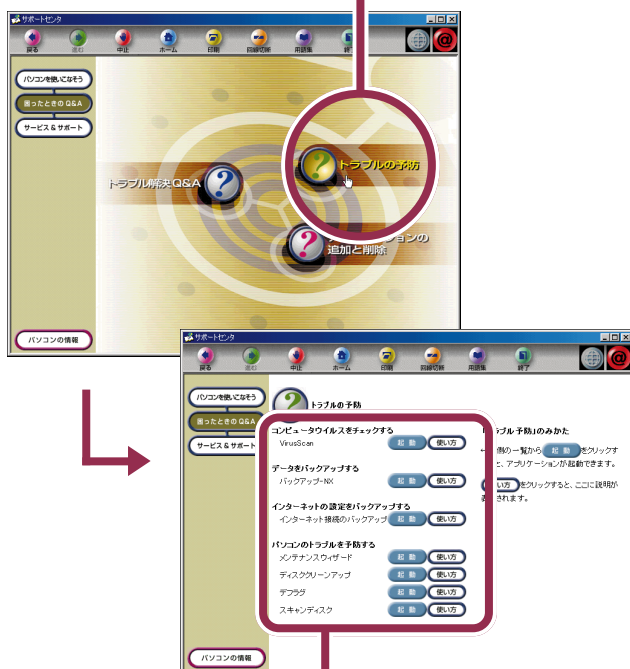


選んだ内容についての解答が表示されます。

## ●「トラブルの予防」

1

「トラブルの予防」をクリックする



2

見たい項目を選んでクリックする

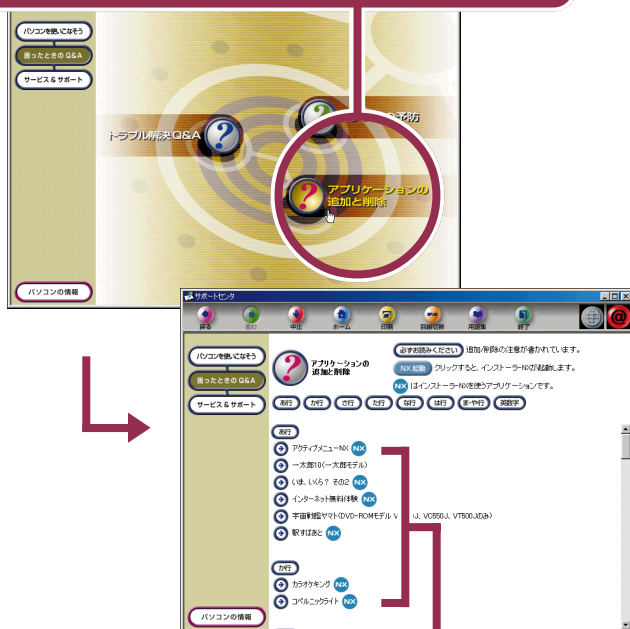
選んだ内容についての情報が表示されます。

各項目で、**起動** をクリックするとそのアプリケーションが起動され、**使い方** をクリックすると説明が表示されます。

## ●「アプリケーションの追加と削除」

1

「アプリケーションの追加と削除」をクリックする



2

追加または削除したいアプリケーション名を選んでクリックする

選んだアプリケーションの追加と削除の方法が表示されます。

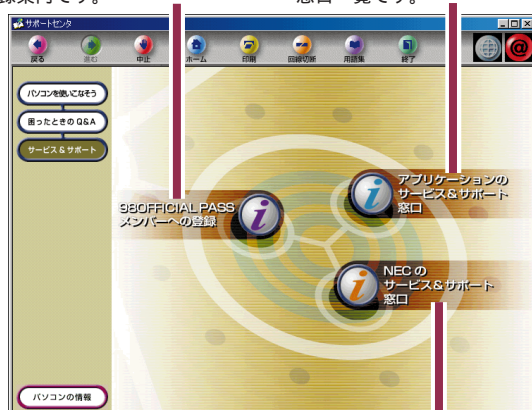
**必ずお読みください** をクリックすると、アプリケーションを追加または削除するときの注意事項が表示されます。追加、削除をする前に必ずお読みください。

## 「サービス & サポート」を見る

「サービス & サポート」には、3つの項目があります。内容を見るには、各項目をクリックしてください。

98OFFICIAL PASSメンバーの登録案内です。

このパソコンに添付されているアプリケーションの、製造元各社のサポート窓口一覧です。

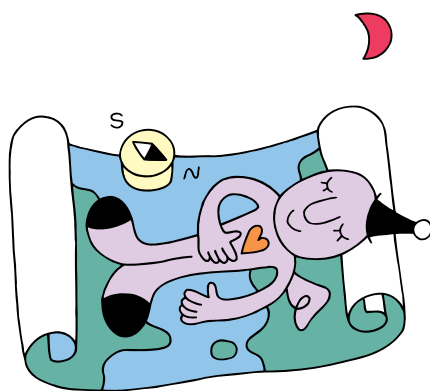


NECが行っている、パソコンに関するさまざまなサービスやサポートの案内です。

98OFFICIAL PASSメンバーへの登録は、このマニュアルの「正規ユーザーの登録を行う」(p.82)でも説明しています。



# 付 録



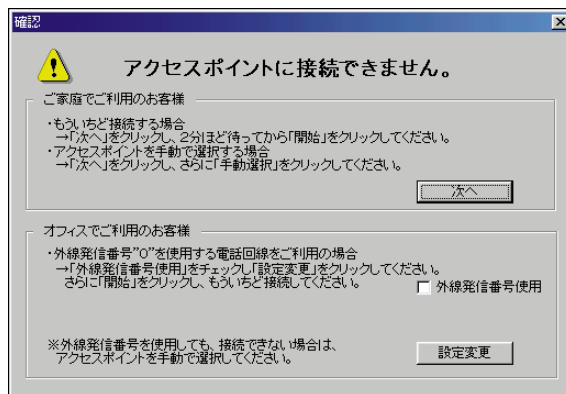
## こんなときは

本書の「PART 3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で、電源を入れたあと、困ったことが起きたときは、次の説明を参考に対処してください。

### インターネット無料体験で、アクセスポイントに接続できなかったときは



「アクセスポイントに接続できません。」と表示された



メッセージの内容は場合によって異なります。

- ご家庭など、外線発信番号「0」を使用しない電話回線をご利用の場合

回線が混雑しているなどの原因が考えられます。次の手順で、もう一度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。

- 1 「次へ」ボタンをクリックする。
- 2 2分ほど待ってから「開始」ボタンをクリックする。  
アクセスポイントの自動選択が始まります。

- 会社など、外線発信番号「0」を使用する電話回線をご利用の場合

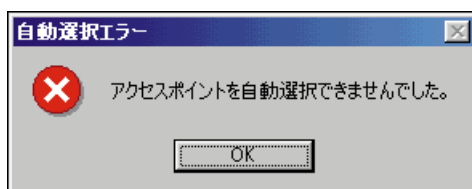
外線発信番号「0」の設定が正しくないことが考えられます。次の手順で外線発信番号の設定をし、再度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。

- 1 「外線発信番号使用」をチェックする。
- 2 「設定変更」ボタンをクリックする。
- 3 「開始」ボタンをクリックする。  
フリーダイヤルに接続され、アクセスポイントが自動選択されます。  
その後、アクセスポイントに接続され、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。

- ✓ **チェック!!** アクセスポイントの自動選択で、どうしてもアクセスポイントが選択できない場合は、前ページの画面で「次へ」をクリックし、次の「アクセスポイントを手動選択したいとき」の手順3以降を行い、アクセスポイントを手動選択してください。



「アクセスポイントを自動選択できませんでした。」と表示された



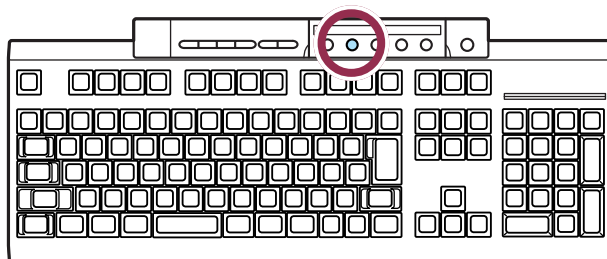
何らかの理由でアクセスポイントの自動選択ができませんでした。「OK」ボタンをクリックし、次の「アクセスポイントを手動選択したいとき」でアクセスポイントを手動選択してください。

- ✓ **チェック!!** その他、どうしてもインターネットに接続できない場合は、サポートセンター・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「インターネット/通信」をご覧になって、トラブルを解決してください。

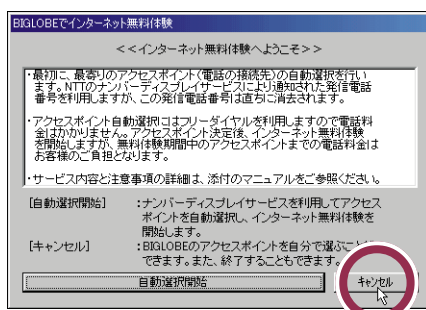
## アクセスポイントを手動選択したいとき

- ✓ **チェック!!** 「ナンバーディスプレイ(発信電話番号通知サービス)」についてNTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。

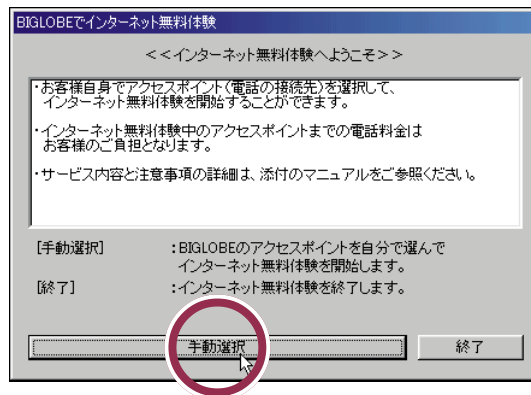
1 キーボードの【インターネット】ボタンを押す。



2 「キャンセル」をクリックする。



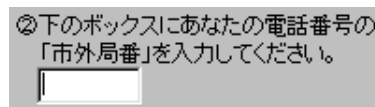
### 3 「手動選択」をクリックする。



✓ **チェック!!** インターネット無料体験を中止する場合は、「終了」ボタンをクリックしてください。

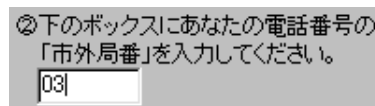
### 4 「市外局番」の入力欄に「|」が点滅していることを確認する。

「|」が点滅していない場合は、入力欄に矢印(マウス)を合わせて、「I」の形に変わったらクリックしてください。



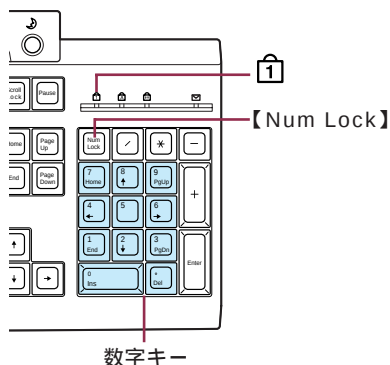
### 5 市外局番を入力する。

このパソコンに接続した電話回線の市外局番を入力します。



東京都 23 区内(市外局番は 03)の場合の入力例

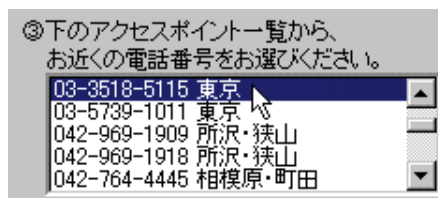
市外局番を入れるには、数字キーを使います。



✓ **チェック!!** キーボード右上の①の下ランプが消えているときは数字キーが使えません。【Num Lock】を押してランプを点灯させてください。

## 6 アクセスポイント一覧の中からひとつ選んでクリックする。

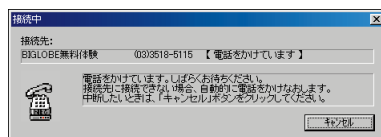
手順5で入力した「市外局番」から判断して、近くにあるアクセスポイントが自動的に表示されます。その中から選んでください。



- ・ 同じ都市名で2つ以上の電話番号がならんでいる場合は、どれかひとつを選んでクリックしてください。これは1カ所のアクセスポイントに電話が集中するのを避け分散させるために用意されたものなので、どれを選んでも構いません。
- ・ インターネット無料体験では、インターネット接続料金はかかりませんが、アクセスポイントまでの電話料金がかかります。電話料金を少しでも安くするために、なるべく近くにあるアクセスポイントを選んでください。
- ・ 市外局番の変更があった場合は、古い市外局番が使われているアクセスポイントを手動選択しても、電話がつかないことがあります。この場合は、アクセスポイントの自動選択を行うか、他のアクセスポイントを選択してください。

## 7 「体験開始」をクリックする。

次の画面が表示されます。



上のような画面が出て、パソコンがアクセスポイントに、自動的に電話をかけます。そのまま、しばらく(数十秒)何も操作せずに、待っててください。

接続先が話し中の場合、自動的に電話をかけ直します。つながるまで、しばらくお待ちください。

インターネットに接続されると、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBEインターネットときどき体験」のホームページが表示されます。以降は p.77 の手順 5 からの説明にしたがって操作してください。



## ローマ字つづり一覧

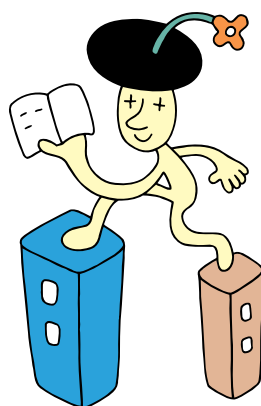
|         |                  |                  |          |         |                    |           |                    |                    |                    |
|---------|------------------|------------------|----------|---------|--------------------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|
| あ<br>a  | い<br>i<br>(yi)   | う<br>u<br>(wu)   | え<br>e   | お<br>o  | だ<br>da            | ぢ<br>di   | づ<br>du            | で<br>de            | ど<br>do            |
| か<br>ka | き<br>ki          | く<br>ku          | け<br>ke  | こ<br>ko | ば<br>ba            | び<br>bi   | ぶ<br>bu            | べ<br>be            | ぼ<br>bo            |
| さ<br>sa | し<br>si<br>(shi) | す<br>su          | せ<br>se  | そ<br>so | ぱ<br>pa            | ぴ<br>pi   | ぷ<br>pu            | ぺ<br>pe            | ぽ<br>po            |
| た<br>ta | ち<br>ti<br>(chi) | つ<br>tu<br>(tsu) | て<br>te  | と<br>to | きゃ<br>kya          | きい<br>kyi | きゅ<br>kyu          | きえ<br>kye          | きょ<br>kyo          |
| な<br>na | に<br>ni          | ぬ<br>nu          | ね<br>ne  | の<br>no | しゃ<br>sya<br>(sha) | しい<br>syi | しゅ<br>syu<br>(shu) | しえ<br>sye<br>(she) | しょ<br>syo<br>(sho) |
| は<br>ha | ひ<br>hi          | ふ<br>hu<br>(fu)  | へ<br>he  | ほ<br>ho | ちゃ<br>tya<br>(cha) | ちい<br>tyi | ちゅ<br>tyu<br>(chu) | ちえ<br>tye<br>(che) | ちょ<br>tyo<br>(cho) |
| ま<br>ma | み<br>mi          | む<br>mu          | め<br>me  | も<br>mo | (cya)              | (cyi)     | (cyu)              | (cye)              | (cyo)              |
| や<br>ya | い<br>yi          | ゆ<br>yu          | いえ<br>ye | よ<br>yo | にゃ<br>nya          | にい<br>nyi | にゅ<br>nyu          | にえ<br>nye          | にょ<br>nyo          |
| ら<br>ra | り<br>ri          | る<br>ru          | れ<br>re  | ろ<br>ro | ひゃ<br>hya          | ひい<br>hyi | ひゅ<br>hyu          | ひえ<br>hye          | ひょ<br>hyo          |
| わ<br>wa | うい<br>wi         | う<br>wu          | うえ<br>we | を<br>wo | みゃ<br>mya          | みい<br>myi | みゅ<br>myu          | みえ<br>mye          | みょ<br>myo          |
| ん<br>nn |                  |                  |          |         | りゃ<br>rya          | りい<br>ryi | りゅ<br>ryu          | りえ<br>rye          | りょ<br>ryo          |
| が<br>ga | ぎ<br>gi          | ぐ<br>gu          | げ<br>ge  | ご<br>go | ぎゃ<br>gya          | ぎい<br>gyi | ぎゅ<br>gyu          | ぎえ<br>gye          | ぎょ<br>gyo          |
| ざ<br>za | じ<br>zi<br>(ji)  | ず<br>zu          | ぜ<br>ze  | ぞ<br>zo | じゃ<br>zya          | じい<br>zyi | じゅ<br>zyu          | じえ<br>zye          | じょ<br>zyo          |
|         |                  |                  |          |         | (ja)               |           | (ju)               | (je)               | (jo)               |
|         |                  |                  |          |         | (jya)              | (jyi)     | (jyu)              | (Jye)              | (jyo)              |

|     |     |     |     |      |
|-----|-----|-----|-----|------|
| ぢや  | ぢい  | ぢゅ  | ぢえ  | ぢよ   |
| dya | dyi | dyu | dye | dyo  |
| でや  | でい  | でゅ  | でえ  | でよ   |
| dha | dhi | dhu | dhe | dho  |
| びや  | びい  | びゅ  | びえ  | びよ   |
| bya | byi | byu | bye | byo  |
| ぴや  | ぴい  | ぴゅ  | ぴえ  | ぴよ   |
| pya | pyi | pyu | pye | pyo  |
| てや  | てい  | てゅ  | てえ  | てよ   |
| tha | thi | thu | the | tho  |
| ふや  | ふい  | ふゅ  | ふえ  | ふよ   |
| fya | fyi | fyu | fye | fyo  |
| ふぁ  | ふぃ  | ふぅ  | ふぇ  | ふぉ   |
| fa  | fi  | fu  | fe  | fo   |
| うゝあ | うゝい | うゝ  | うゝえ | うゝお* |
| ヴぁ  | ヴぃ  | ヴ   | ヴぇ  | ヴぉ** |
| va  | vi  | vu  | ve  | vo   |
| ぁ   | ぃ   | ぅ   | ぇ   | ぉ    |
| la  | li  | lu  | le  | lo   |
| や   | い   | ゅ   | え   | よ    |
| lya | lyi | lyu | lye | lyo  |

\*ATOK12、ATOK13の場合

\*\*Microsoft IME 2000、Microsoft IME 98の場合

# 索引



## 英字

|                     |          |
|---------------------|----------|
| ACアダプタの接続 .....     | 49       |
| 【BackSpace】キー ..... | 62       |
| CD/DVD制御ボタン .....   | 85       |
| CD-ROMドライブ .....    | 84,93    |
| CD-RWドライブ .....     | 84,93    |
| CRTディスプレイの接続 .....  | 31,33    |
| DVD-ROMドライブ .....   | 84,93    |
| 【Enter】キー .....     | 59       |
| PCポータル .....        | 91       |
| Windowsの終了 .....    | 70,79,87 |

## あ行

|                   |      |
|-------------------|------|
| アース線 .....        | 8,45 |
| アース線の接続 .....     | 45   |
| アイコン .....        | 90   |
| アクティブメニューNX ..... | 91   |
| アンテナ線 .....       | 5    |
| インジケータ領域 .....    | 91   |
| インターネット .....     | 75   |
| インターネット無料体験 ..... | 75   |
| 液晶ディスプレイの接続 ..... | 29   |
| 音量の調節 .....       | 92   |

## か行

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 回転台 .....         | 33,34   |
| キーボードの接続 .....    | 22      |
| クイック起動ツールバー ..... | 90      |
| クリック .....        | 63      |
| 結露 .....          | 2       |
| ごみ箱 .....         | 90      |
| コンセント .....       | 8,47,50 |

## さ行

|                   |         |
|-------------------|---------|
| サポートセンタ .....     | 103,104 |
| 使用許諾契約 .....      | 65      |
| ショットメニュー .....    | 91      |
| スクロール .....       | 65      |
| スタート .....        | 70,90   |
| スタートメニュー .....    | 87,90   |
| スタビライザの取り付け ..... | 18      |
| スタンバイ .....       | 89      |
| スピーカの接続 .....     | 37      |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 【スリープ】ボタン ..... | 85,89 |
| セットアップ .....    | 58    |

## た行

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| タスクトレイ .....    | 91          |
| タスクバー .....     | 91          |
| ディスプレイ .....    | 9,10,29     |
| ディスプレイの接続 ..... | 29          |
| デスクトレイ .....    | 91          |
| 電源ケーブルの接続 ..... | 47,50       |
| 電源スイッチ .....    | 56,57,72,84 |
| 電源の取り方 .....    | 8           |
| 電源を入れる .....    | 56,73,86    |
| 電源を切る .....     | 70,79,87    |
| 電話回線の接続 .....   | 42          |

## な行

|             |    |
|-------------|----|
| 名前の入力 ..... | 61 |
|-------------|----|

## は行

|                     |        |
|---------------------|--------|
| パソコンの置き方 .....      | 9      |
| パソコンの置き場所 .....     | 2~7    |
| パソコンの接続 .....       | 15~53  |
| パソコンのセットアップ .....   | 55~73  |
| 【半角/全角】キー .....     | 62     |
| フロッピーディスクドライブ ..... | 84,100 |
| ヘッドセットマイクの接続 .....  | 40     |
| 保証書 .....           | 14     |
| ボリュームつまみ .....      | 57,92  |

## ま行

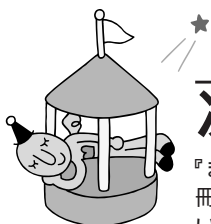
|                  |      |
|------------------|------|
| マイコンピュータ .....   | 90   |
| マイドキュメント .....   | 90   |
| マウスの動かし方 .....   | 60   |
| マウスの接続 .....     | 28   |
| モジュラーケーブル .....  | 4,42 |
| 文字を打ち間違えたら ..... | 62   |

## ら行

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ローマ字のつづり方 ..... | 119 |
|-----------------|-----|

## わ行

|                    |    |
|--------------------|----|
| ワンタッチスタートボタン ..... | 85 |
|--------------------|----|



## 次に読むのは、このマニュアル!

『まずこれ! 接続と準備』で、パソコンの接続とセットアップをすべて完了させたら、次はこの2冊をおすすめします。インターネットを利用したことがない方や、パソコンの操作に慣れていない方にも分かりやすいように、ていねいに説明しているマニュアルです。思いきって、新しいパソコンの世界に挑戦してみましょう。

### とにかく、インターネットを楽しみたい!

わかる、できる、役に立つ!! ②



#### 『たのしもう! インターネット』

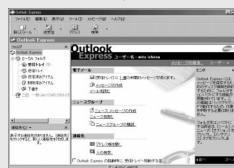
さっそくインターネットを利用したい、いちばん興味があるのはインターネットだ、という方は、このマニュアルをご覧ください。

- ・ホームページ紹介などが満載! インターネットの魅力がわかる巻頭特集
- ・面倒な手続きなしですぐに接続できるインターネット無料体験
- ・オススメのプロバイダBIGLOBEへの入会手続き
- ・ネットサーフィンのコツ
- ・電子メールの出し方と受け取り方、自動受信のしかた

パソコンを買ったその日から、無料体験ですぐにインターネットの世界へ!



電子メール用のアプリケーション「Outlook Express」の使い方もバッチリ!



### パソコンの使い方がよく分からない、覚えたい!

わかる、できる、役に立つ!! ③



#### 『練習! パソコンの基本』

パソコンを使った経験がなくても大丈夫。このマニュアルで、パソコンの基本的な使い方や知識を勉強できます。本当にパソコンが使えるかどうか不安に思ったら、このマニュアルから始めてみましょう。

- ・マウスの操作、ワープロを使った文字入力のかた
- ・アプリケーションの起動のかた、ウィンドウの扱い方
- ・パソコンやソフトについての豆知識
- ・パソコン利用の心得、お手入れ方法

パソコンの画面でマウスの練習ができる「CyberCoach-NX」を紹介!



画面に表示されるウィンドウの扱い方も、このマニュアルでマスター!



わかる、できる、役に立つ!! ①

先ずこれ! 接続の準備



PC98-**NX** SERIES

**VALUESTAR NX**

初版 2000年1月

NEC

P

808-884575-003-A

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙  
(古紙率:表紙 50%、本文 100%)を使用しています。

